



新たなミュージムに関する WEBアンケート -報告書-

令和6年1月

川崎市



目次

1. 調査結果概要	01
2. 調査概要と回答者属性	07
3. 集計結果	22
質問別傾向分析	23
問11 重要だと思ふ機能	24
問12 あるとよいと思ふプログラム	39
問13 あるとよいと思ふ交流の機会	54
問14 活動に力を入れるべき対象年齢層	69
問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象	84
問16 取り組むべき地域・社会貢献	99
問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること	114
属性別傾向分析	131
居住区別傾向分析（参考）	135
4. 設問項目一覧	148

1. 調查結果概要

回答者の属性（回答者数 1,635）

- 10歳代～70歳代以上までを含む。居住区（地）は川崎市内7区98.3%、市外1.7%
- 「子どもはいない」人は、「大学生以下の子どもはいない」回答者を含めると74.4%
- 博物館・美術館・文化芸術に対して57.3%が興味・関心があると回答。26.4%が博物館・美術館を数か月に1回以上利用している。
- 文化芸術に関係する活動を普段から行っていることが「ある」人は13.6%、「ない」が86.4%


質問別傾向分析

【問11】重要だと思う機能について

- 「収集保存」(38.8%)と「教育普及」(35.8%)の回答比率が高く、次いで「調査研究」「展示公開」「交流創出」「人材育成」が25%前後で並ぶ。「資料修復」と「地域貢献」は20%弱でやや低い。
- 「収集保存」は「50歳代以上」「男性」の回答比率が高く、「教育普及」は「40歳以下」「女性」「子どものいる」人で高い。
- 「収集保存」は、博物館・美術館や文化芸術に関心のない層の回答比率も高い。

【問12】あるとよいと思うプログラムについて

- 「自分のペースで鑑賞できるプログラム」(42.6%)「体験型のプログラム」(39.1%) ※の回答比率が最も高い。※「展示物に触れたり、体感的な鑑賞ができる体験型のプログラム」
- 「体験型のプログラム」の回答比率は年齢・性別を問わず高く、子どもの有無では子どものいる人が高い。
- 博物館・美術館・文化芸術に対する関心の有無等により違いがある。



調査結果概要

【問13】あるとよいと思う交流の機会について

- 「体験の共有や世代を超えた交流」※の回答比率が、年齢や博物館・美術館・文化芸術に対する関心の有無、博物館・美術館の利用頻度、普段から行っている活動の有無に関わらず高い。
- 「子育て世代同士の交流」や「制作体験」は女性、「体験の共有や世代を超えた交流」は男性の回答比率が高い。また、子どもの有無や子どもの年齢により回答傾向に違いが見られる。

※「展示物に触れるなど、様々な体験・体感の機会を他の鑑賞者と共有できる機会」42.8%、「地域の郷土史や生活習慣等を地域の人や研究会の方々から子供をはじめとした様々な世代に伝え、ともに学ぶことができる機会」35.4%

【問14】活動に力を入れるべき対象年齢層

- 「中高生」(50.8%) が最も高く、次いで「小学生」(45.0%)。「若者」(38.9%) や「大人」(40.9%) も比較的高い。「高齢者」(27.6%) や「未就学児」(15.5%) はやや低い。
- 回答者自身や回答者の子どもの年齢層と、回答の年齢層が近い傾向にある。
- 男女で回答比率に大きな違いはないが、女性は「未就学児」の回答比率が高い。
- 「小学生」「中高生」の回答比率は、博物館・美術館・文化芸術に対する関心や普段から行っている活動の有無に関わらず高く、また、博物館・美術館の利用頻度の高い人で高い。

【問15】活動や育成支援に力を入れるべき対象

- 「文化財やその継承に関心がある人たち」(44.8%) や「地域や社会に貢献してみたいと考える人たち」(42.1%) 「若手アーティストやアーティストを目指す人たち」(39.0%) といった、意欲や関心のある市民の育成や活動支援をすべきという回答が多い。
- 修復作業に携わる人(22.6%)、ミュージアム活動に参加するボランティア(22.1%)、学芸員や運営スタッフ(14.9%) は比較的低い。
- 回答者の年齢や子どもの有無や年齢により力を入れるべきと考える対象に違いがある。
- 性別や博物館・美術館・文化芸術に対する関心の有無等による大きな違いは見られない。

【問16】取組むべき地域・社会貢献について

- 「歴史や文化を活用したまちづくり」（43.1％）の回答比率が最も高く、次いで「地域の魅力の発信」（39.3％）。
- 回答者の属性、博物館・美術館・文化芸術に対する関心の有無等により違いがある。
 - ・ 「地域の魅力の発信」「地域の自然や環境保全活動」「歴史文化を活用したまちづくり」は年齢が高くなるほど回答比率が高い。
 - ・ 「地域のにぎわいづくり」「アートを活用したまちづくり」「社会問題や地域課題の解決」「地域経済への貢献」は、年齢の若い人の回答比率が高い。
 - ・ 「歴史や文化のまちづくり」は男性、「アートを活用したまちづくり」は女性の回答比率が高い。
 - ・ 「地域のにぎわいづくり」「アートを活用したまちづくり」は子どもがいる人の回答比率が高い。
 - ・ 「地域のにぎわいづくり」は、博物館・美術館・文化芸術に対する関心や利用頻度の低い人、文化芸術について普段から行っていない人の回答比率が高い。

【問17】「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている「新たなミュージアム」について 期待することについて

- 生田緑地内の施設連携や回遊性向上（28.4%）や利用における快適性、利便性※についての回答比率が高い。「駅からのアクセス性の向上」（25.7%）「カフェやレストラン等の併設」（22.1%）「居心地のよい空間の充実」（21.6%）
- 年齢・子どもの有無、居住区により回答比率に違いがある。
 - ・ 「生田緑地内の施設の連携や回遊性の向上」は年齢が高くなるほど高く、「駅からのアクセス性の向上」は高年齢層と30歳代が高い。「カフェやレストラン等の併設」は年齢による違いが見られない。
 - ・ 「かわさきの歴史を学ぶ展示」や「収蔵品の展示や鑑賞機会の提供」は高年齢層の回答比率が高く、「体験・対話型の展示」「創作・体験機会の充実」は若い世代が高い。
 - ・ 小学生以下の子どもがいる人は「子どもと過ごせる施設」の回答比率が高い
 - ・ 生田緑地のある多摩区、宮前区や近接する麻生区で「施設連携・回遊性向上」が高い。
- 利便性、快適性に関する選択肢は、博物館・美術館・文化芸術に対する関心の有無に関わらず回答比率が高く、特に博物館・美術館の利用頻度の高い層で高い。
- 「かわさきの歴史」や「収蔵品の積極的な展示と鑑賞機会」「調査研究の充実」は、普段から文化芸術について活動していることがある人の回答比率が高い。

（WEBアンケートとオープンハウス型説明会におけるシール投票の比較）

- シール投票は、「小さな子ども連れのファミリー層」という投票者の特性が反映され、「子どもと過ごせる施設」の回答比率が最も高く、次いで「カフェやレストランの充実」「駅からのアクセス性の向上」。「体験・対話しながら鑑賞できる仕掛けづくり」「創作・体験機会の充実」も高い。

属性別傾向分析

【年齢別】

若年層は交流・体験・次世代育成、高齢者は歴史・文化の継承・学習・活用重視

- 若年層（10歳代、20歳代）は交流や体験、次世代人材の育成や地域の未来に向けた取組を重視し、歴史・文化の継承や学習に対する評価が比較的低い。一方、高齢者（60歳代、70歳代以上）は歴史・文化の継承・学習・活用を重視。
- 30歳代は小さな子どもを対象としたプログラムや取組を重視する傾向に特徴

【子どもの有無別】

子どものいる人は、子どもや次世代のための機能、子どもと利用できることを重視

- 子どものいる人は、教育普及や人材育成を重視。子育て世代の交流や制作体験、子どもと利用できるプログラムや施設にニーズ、歴史・文化に継承や学習に関する評価が低い。

【関心・行動の有無別】

関心・行動層※は、これまでの博物館・美術館が果たしてきた役割の充実を重視

- 関心・行動層※は、コレクションを通じた対話や学びの共有、歴史・文化を活かしたまちづくりなど、これまでの博物館・美術館が果たしてきた、博物館・美術館ならではの役割の充実に対する期待が高い。

※博物館・美術館や文化芸術に関心がある人（どちらかと言えばあるを含む）、博物館・美術館を数か月に1回以上利用する人、博物館・美術館・文化芸術全般に関して普段から行っている活動がある人

2. 調査概要と回答者属性



調査概要

新たなミュージアムを考える「ミュージアム・市民アンケート」

1. 調査方法：インターネットによるアンケート

(QRコードまたはHPから回答する方法と、アンケート会社に登録中のモニターの方が回答する方法の併用)

1. 実施期間：2023年11月1日(水)～11月14日(火)

2. 回答者数：1,635人 (QRコードまたはHPからの回答：235人、モニター回答：1,400人)

3. 設問項目 計17問

問1：年齢を教えてください。(SA)

問2：性別をお知らせください。(SA)

問3：お住まいの区をお知らせください。(SA)

問4：あなたには子どもがいますか？(MA)

問5：普段から博物館、美術館や、歴史や文化、アートといった文化芸術に興味・関心がありますか？(SA)

問6：普段、博物館や美術館をどのくらいの頻度で利用していますか？(SA)

問7：博物館、美術館や文化芸術全般に関係する活動について、普段から行っていることはありますか？(SA)

問8：(問7で「ある」と回答された方にお伺いします。)それはどのようなことですか？(MA)

問9：(問7で「ある」と回答された方にお伺いします。)それはどのような分野ですか？(MA)

問10：(問7で「ない」と回答された方にお伺いします。)それはどのような理由ですか？(MA)

問11：「新たなミュージアム」では次のような機能を備えることを検討しています。あなたはどの機能が重要だと思いますか？(MA)

問12：「新たなミュージアム」には、どのようなプログラムがあるとよいと思いますか？(MA)

問13：「新たなミュージアム」には、どのような交流の機会があるとよいと思いますか？(MA)

問14：「新たなミュージアム」では、どのような年齢層を対象とした活動に力を入れて取り組むべきだと思いますか？(MA)

問15：「新たなミュージアム」は、どのような人たちを対象にして育成や活動支援に取り組むべきだと思いますか？(MA)

問16：「新たなミュージアム」は、どのような地域・社会貢献に取り組むべきだと思いますか？(MA)

問17：「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている「新たなミュージアム」について、あなたが特に期待することは何ですか？(MA)

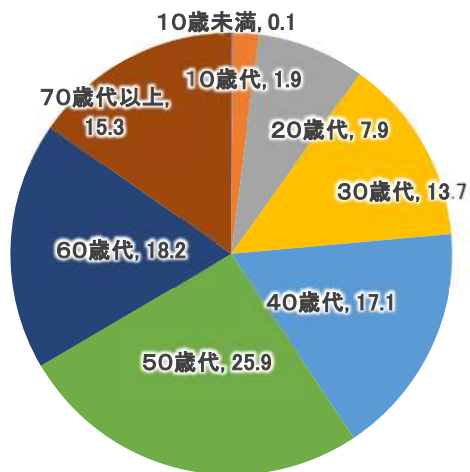
※SA (Single Answer) …回答選択肢のうち一つを選んで回答するもの。

※MA (Multi Answer) …回答選択肢のうちから複数を選んで回答することができるもの。

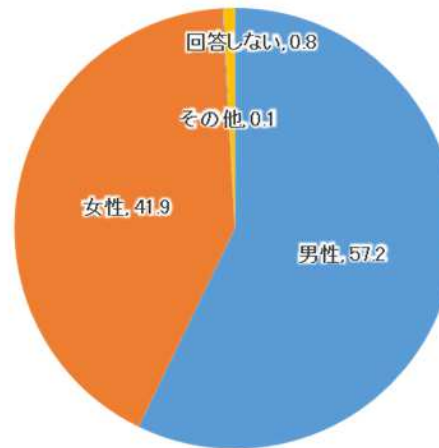
回答者属性 1 年齢・性別・居住地

- 回答者には10歳代～70歳代以上が含まれており、50歳代がやや多く、10歳代がやや少ない。
- 男女別では、男性がやや多い構成となっている。
- 居住区では、川崎市内7区のうち中原区、多摩区がやや多い。また、市外が1.7%含まれている。

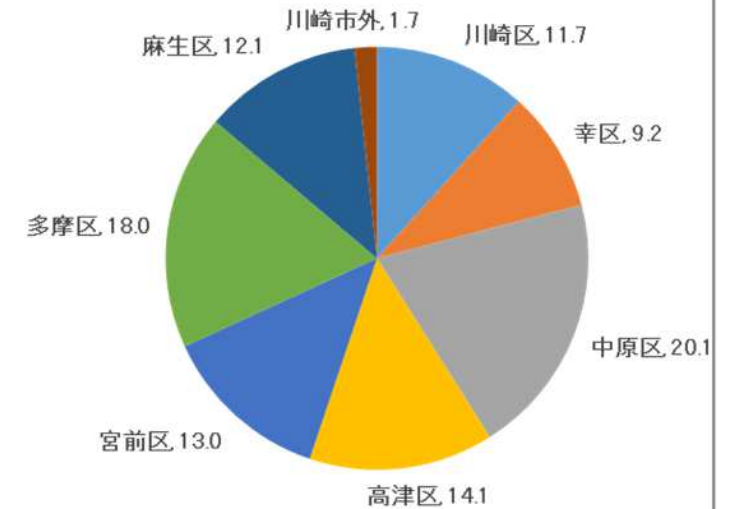
問1 年齢別 回答比率 (%)



問2 性別 回答比率 (%)



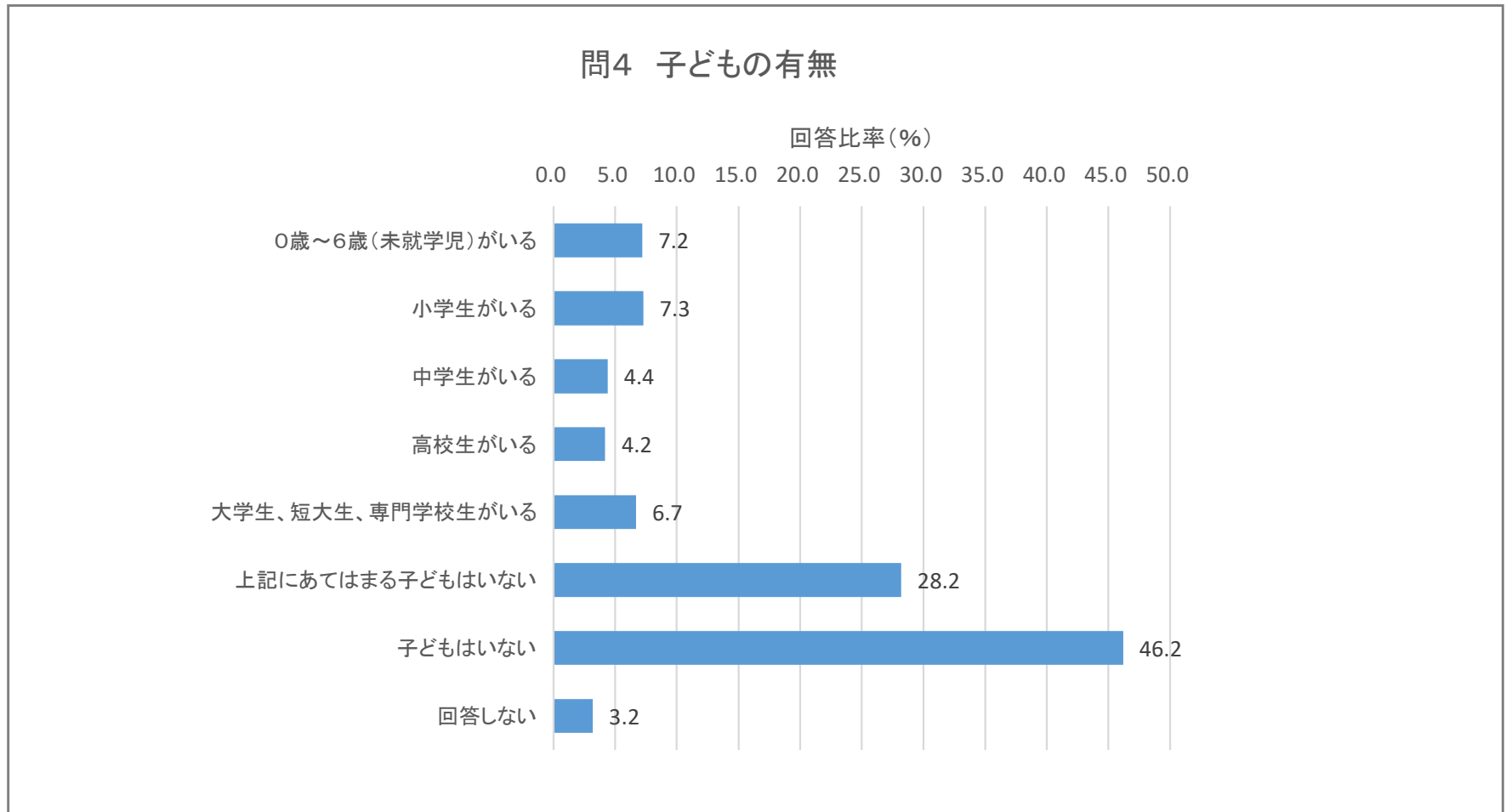
問3 居住区別 回答比率 (%)



- 年齢別の「10歳未満」は回答者数が1であり、回答比率が特異値（100%）となるため年齢別クロス集計からは除外している
- 男女別の「その他」「回答しない」も回答者数が極めて少ないため男女別クロス集計からは除外している

回答者属性 2 子どもの有無

- 「子どもはいない」人がおよそ半数（46.2%）であった。
- 大学生以下の子どもはいない人（「上記に当てはまる子どもはいない」28.2%）を含めると、74.4%が「子どもはいない」と回答していたことになる。
- 未就学児がいる人は7.2%、小学生がいる人は7.3%であった。

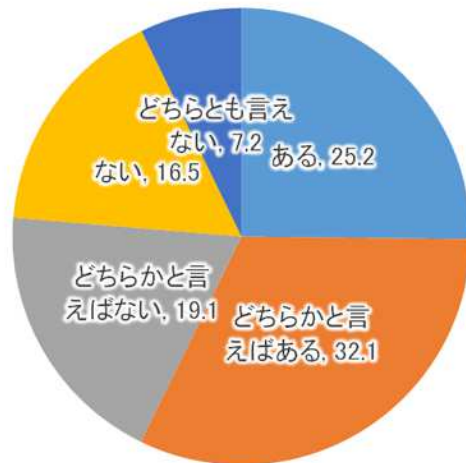


回答者属性 3 博物館・美術館に対する興味関心・利用頻度

- 半数以上（57.3%）が興味関心があると回答
（「ある」25.2%、「どちらかと言えばある」32.1%、合計57.3%）
- およそ4分の1が博物館・美術館を数か月に1回以上利用
（「毎月1回以上」5.2%、「数か月に1回」21.2%、合計26.4%）
- およそ3分の1が博物館・美術館を「行っていない」と回答（36.1%）

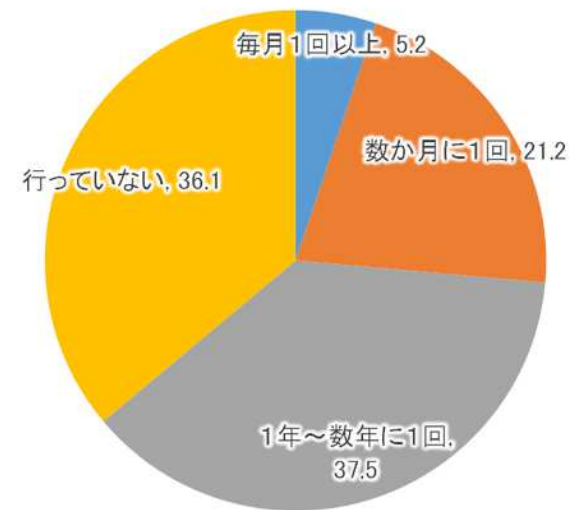
問5 普段から博物館、美術館や、歴史や文化、アートといった文化芸術に興味・関心がありますか？（S A）

問5 博物館・美術館に対する興味の有無
回答比率（%）



問6 普段、博物館や美術館をどのくらいの頻度で利用していますか？（S A）

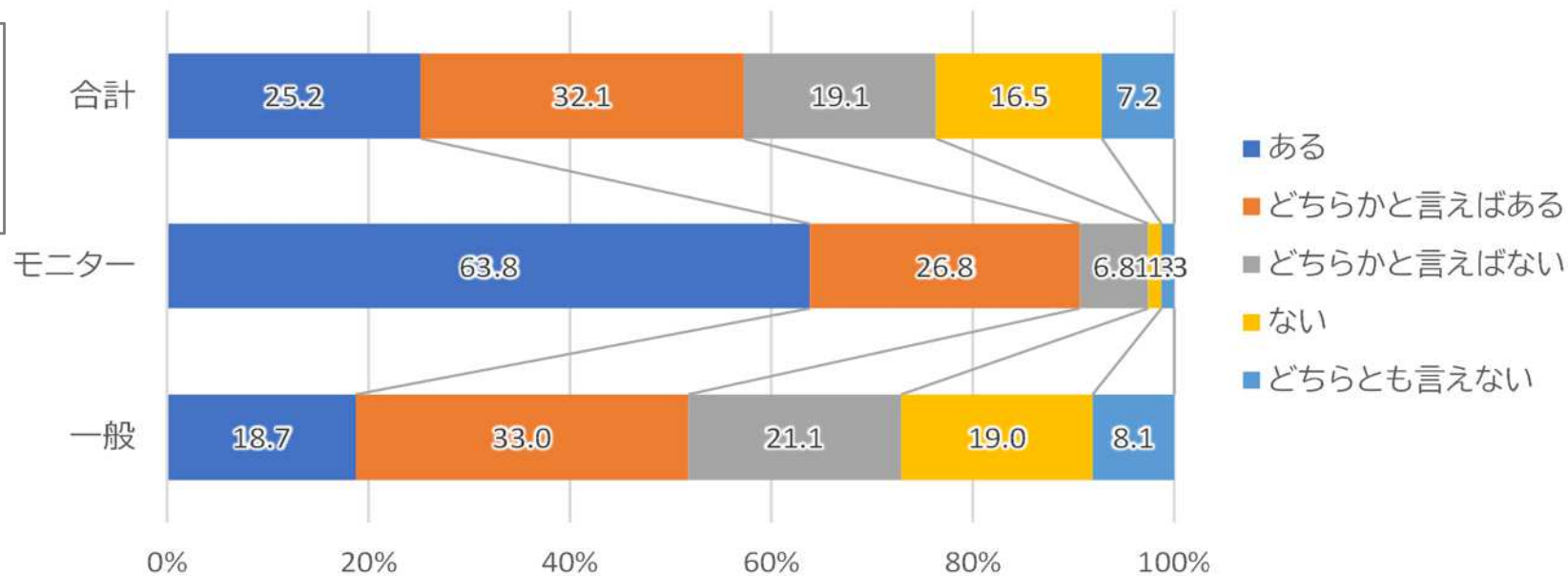
問6 博物館・美術館の利用頻度 回答比率（%）



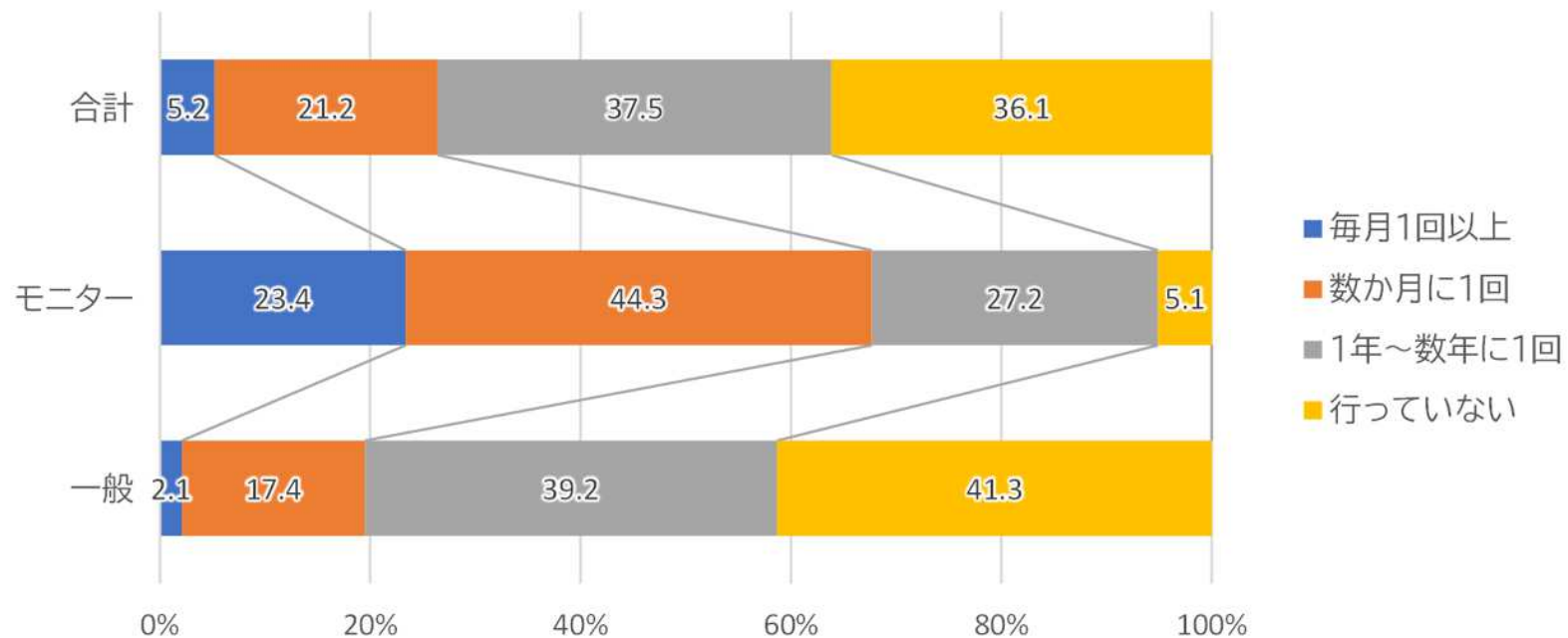
回答者属性 3 博物館・美術館に対する興味関心・利用頻度

【回答方法別】

問5 普段から博物館、美術館や、歴史や文化、アートといった文化芸術に興味・関心がありますか？
(S A)



問6 普段、博物館や美術館をどのくらいの頻度で利用していますか？ (S A)

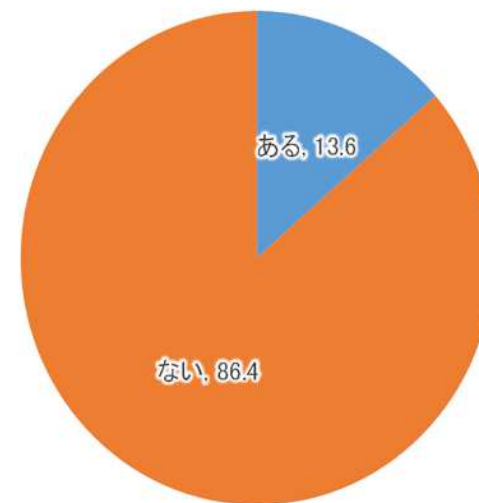


回答者属性 4 文化芸術で普段から行っていることの有無と内容

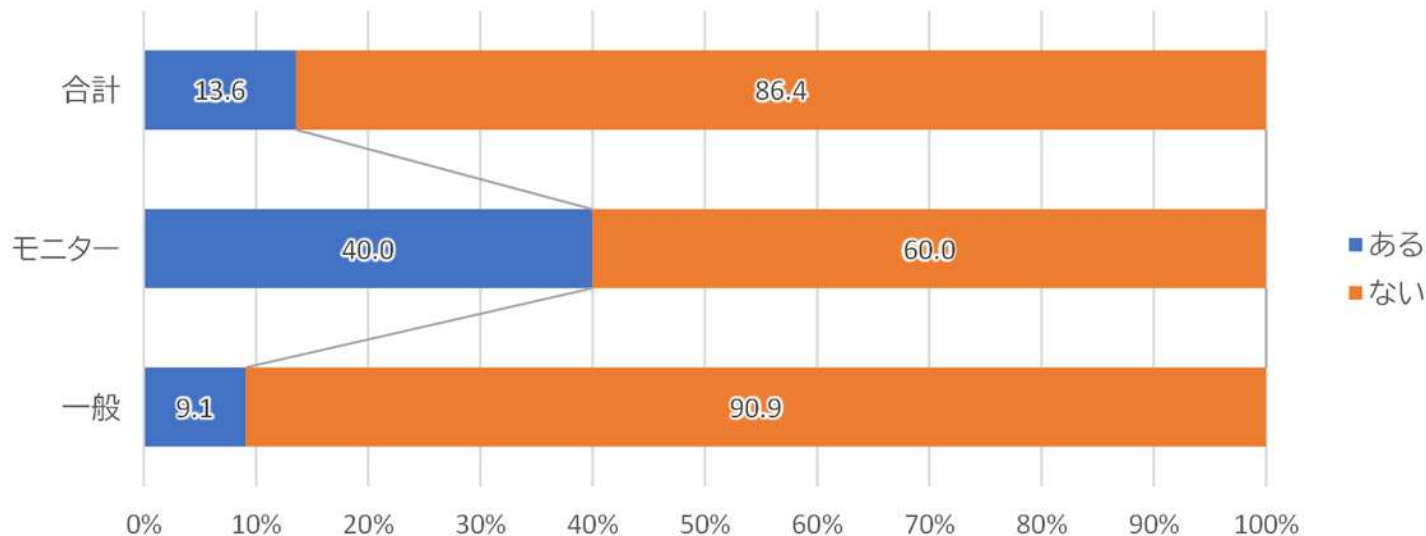
問7 博物館、美術館や文化芸術全般に関する活動について、普段から行っていることはありますか？（S A）

問7 普段から行っていることの有無 回答比率(%)

- 文化芸術に関する活動を普段から行っていることが「ある」とした人は13.6%、「ない」とした人は86.4%であった。



【回答方法別】

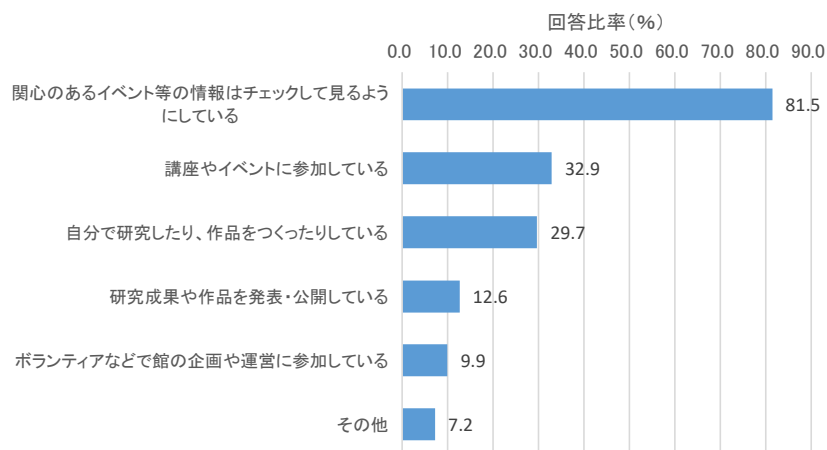


回答者属性 5 文化芸術で普段から行っていることの内容と分野

- 文化芸術について普段から行っていることがある人（13.6%）のうち、講座やイベントに参加している人は32.9%、自分で研究したり、作品をつくったりしている人は29.7%である。
- ボランティアなどでミュージアムの運営に参加している人は9.9%であった。
（アンケート回答者全体に対する比率は13.6%×9.9%=1.3% 100人に1～2人）
- 活動の分野では絵画、彫刻、陶芸などの美術分野が56.8%で最も多いが、民俗、歴史、グラフィック、写真、映像が30～35%でほぼ同じ比率となっている。

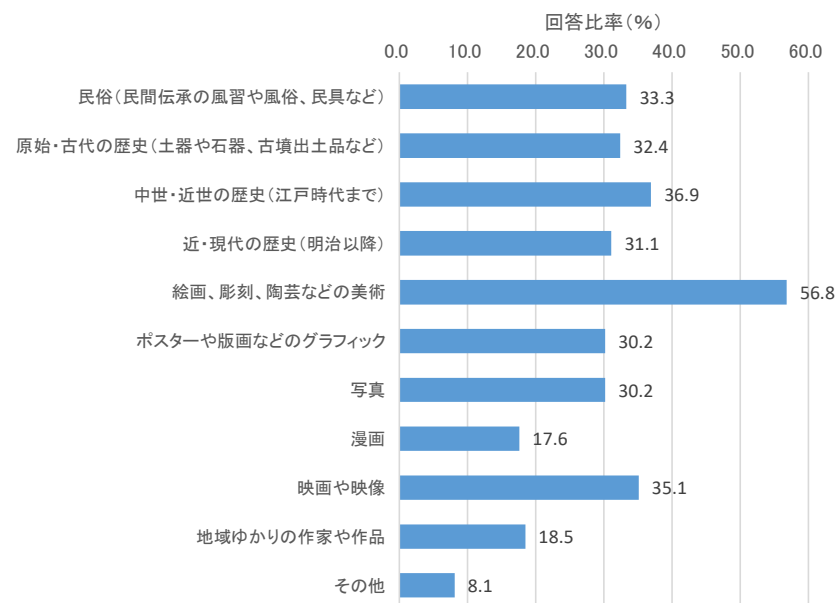
問8 （問7で「ある」と回答された方にお伺いします。）それほど
のようなことですか？（M A）

問8 普段から行っていることの内容



問9 （問7で「ある」と回答された方にお伺いします。）それほど
のような分野ですか？（M A）

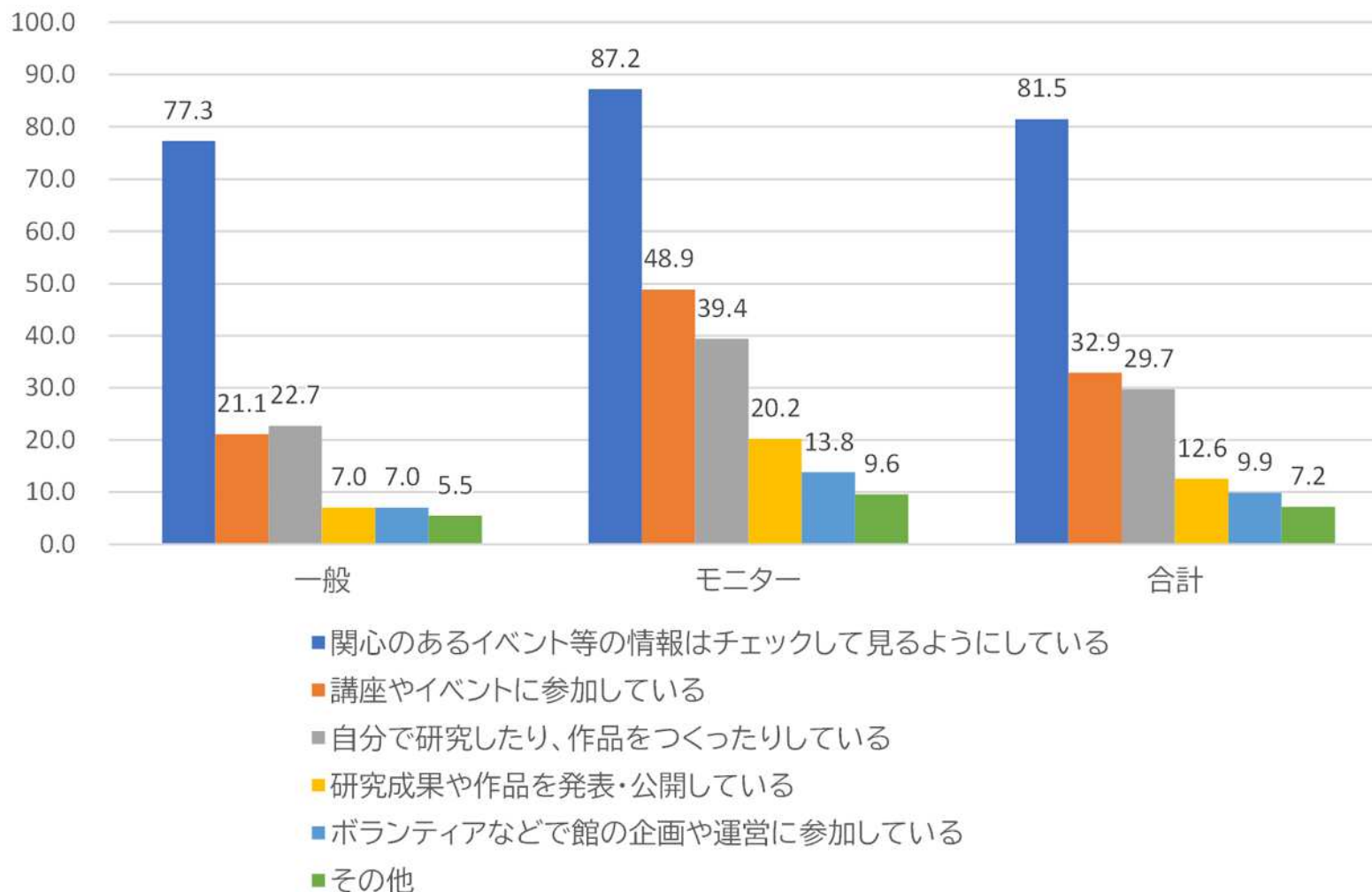
問9 普段から行っている活動の分野



回答者属性 5 文化芸術で普段から行っていることの内容と分野

【回答方法別】

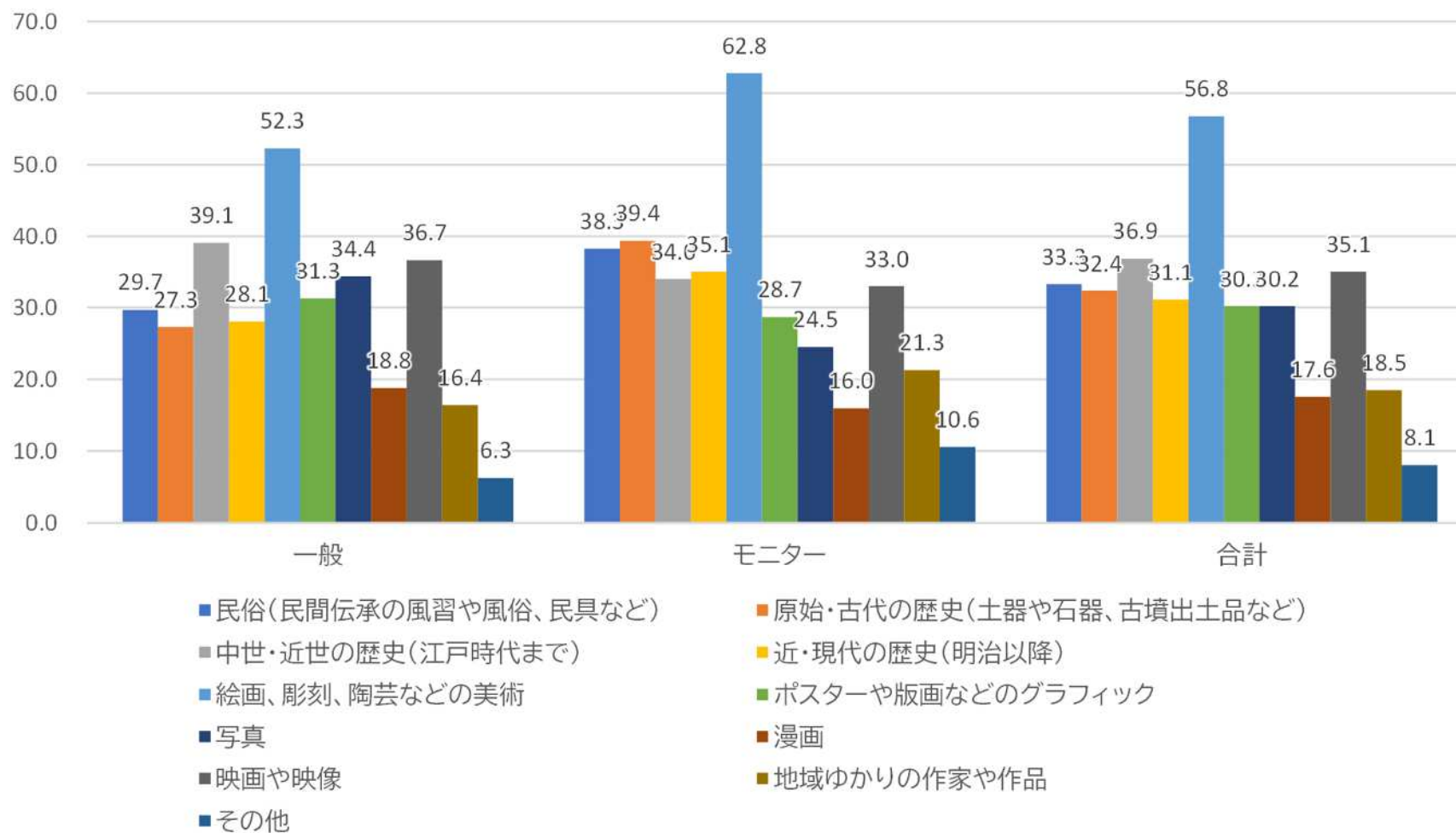
問8 (問7で「ある」と回答された方にお伺いします。) それはどのようなことですか? (MA)



回答者属性 5 文化芸術で普段から行っていることの内容と分野

【回答方法別】

問9 (問7で「ある」と回答された方にお伺いします。) それほどのような分野ですか？ (M A)



回答者属性 5 文化芸術で普段から行っていることの内容と分野

【その他自由回答一覧】

問8 (問7で「ある」と回答された方にお伺いします。) それほどのようなことですか? (M A)

- 和楽器演奏によるイベント参加
- 旅先でその地域の博物館に行くようにしている
- 美術館運営に関与
- 東洋国立博物館でミュージアムシアターの支配人をしていた
- 設置している地域が分かる。
- 子供にわかりやすく説明できる資料を作っている
- 合唱活動
- 寄付
- 館から委託されてプログラム等の事業を行っている
- 学芸員として勤務している
- 絵画を寄付した
- 画廊ツアーをしています!
- ミューザ川崎の友の会員です。
- フリーランス演奏家なので演奏
- ある民間美術館のサポートメンバーになっている
- TV番組を見ている

問9 (問7で「ある」と回答された方にお伺いします。) それほどのような分野ですか? (M A)

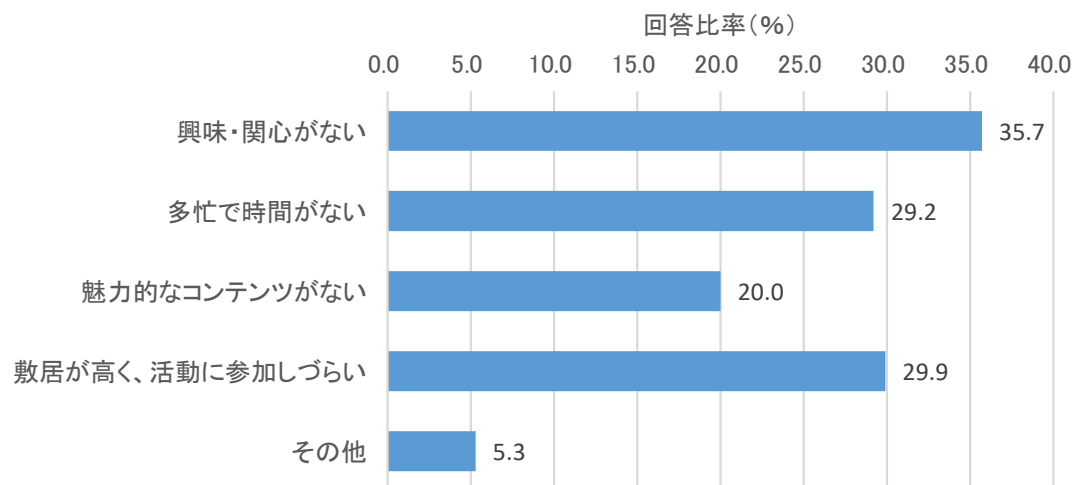
- 音楽 (3件)
- 仏像
- 舞台芸術
- 伝統音楽
- 地学、古生物学
- 書道
- 自然科学分野の成果 (論文) 公表
- 寺宝、文化財
- 仕事で
- 昆虫の標本作成など
- 合唱
- 現代美術
- 芸術祭等
- 郷土玩具、世界のおもちゃ等
- 科学分野
- 演奏

回答者属性 5 文化芸術に関して普段から行っていない理由

- 文化芸術について普段から行っていない人（86.4%）のうち、興味・関心がないことを理由に挙げた人が最も多く、35.7%であった。
- 活動を行うにあたって障害となっている事柄（「敷居が高く、活動に参加しづらい」「多忙で時間がない」）を理由として挙げた人が、それぞれ30%程度であった。

問10 （問7で「ない」と回答された方にお伺いします。）それはどのような理由ですか？（MA）

問10 普段から行っていない理由



回答者属性 5 文化芸術に関して普段から行っていない理由

【その他自由回答一覧】

問10 (問7で「ない」と回答された方にお伺いします。) それほどのような理由ですか？

- 情報がない、知らない (11件)
- 設問の意味が不明、わからない (7件)
- コロナ禍 (7件)
- 近くにない、遠い (6件)
- 特になし (4件)
- 足が悪い(身体的理由) (4件)
- わからない (3件)
- 予約するのが手間
- 文化芸術自体には興味があるが、供給する側になる気は無い
- 文化・芸術活動と無縁である。
- 年齢的に電車の乗り換えなどの行動が難しくなっている。
- 入館料が高い
- 知識が必要だから
- 他の趣味もあるので
- 川崎市には歴史は無い
- 心身の都合
- 自分の趣味を優先してしまう。
- 子供を連れて行けるものが少ない
- 子供が楽しめるかがわからない
- 仕事と子育て中で遠出できない。
- 才能が無い
- 高齢者なので
- 行ける状態でない。
- 見つからない
- 犬が同伴できないため行くことができない。
- 興味の持てるもの
- 興味のあるコンテンツであれば関心がある
- 機会があれば
- 鑑賞が好きなため
- 介護をしている為に、柔軟な行動が難しいから。
- 何をして良いかわからない
- 何から始めればいいのかかわからないので
- マナーの悪い客が多くて行く気になれない
- その時間がない
- コスパが悪い
- きっかけがない
- お金と時間があればー

回答者属性 数値一覧

Q1 年齢を教えてください。(SA)

		回答数	%
全体		1635	100.0
1	10歳未満	1	0.1
2	10歳代	31	1.9
3	20歳代	129	7.9
4	30歳代	224	13.7
5	40歳代	279	17.1
6	50歳代	423	25.9
7	60歳代	298	18.2
8	70歳代以上	250	15.3

Q2 性別をお知らせください。(SA)

		回答数	%
全体		1635	100.0
1	男性	935	57.2
2	女性	685	41.9
3	その他	2	0.1
4	回答しない	13	0.8

Q3 お住まいの区をお知らせください。(SA)

		回答数	%
全体		1,635	100.0
1	川崎区	191	11.7
2	幸区	151	9.2
3	中原区	329	20.1
4	高津区	231	14.1
5	宮前区	213	13.0
6	多摩区	294	18.0
7	麻生区	198	12.1
8	川崎市外	28	1.7

Q4 あなたには子どもがいますか？(MA)

		回答数	%
全体		1634	100.0
1	0歳～6歳(未就学児)がいる	118	7.2
2	小学生がいる	120	7.3
3	中学生がいる	72	4.4
4	高校生がいる	69	4.2
5	大学生、短大生、専門学校生がいる	110	6.7
6	上記にあてはまる子どもはいない	460	28.2
7	子どもはいない	755	46.2
8	回答しない	52	3.2

Q5 普段から博物館、美術館や、歴史や文化、アートといった文化芸術に興味・関心がありますか？(SA)

		回答数	%
全体		1635	100.0
1	ある	412	25.2
2	どちらかと言えばある	525	32.1
3	どちらかと言えない	312	19.1
4	ない	269	16.5
5	どちらとも言えない	117	7.2

Q6 普段、博物館や美術館をどのくらいの頻度で利用していますか？(SA)

		回答数	%
全体		1635	100.0
1	毎月1回以上	85	5.2
2	数か月に1回	347	21.2
3	1年～数年に1回	613	37.5
4	行っていない	590	36.1

回答者属性 数値一覧

Q7 博物館、美術館や文化芸術全般に関係する活動について、普段から行っていることはありますか？(SA)

		回答数	%
全体		1635	100.0
1	ある	222	13.6
2	ない	1413	86.4

Q8 (Q7で「ある」と回答された方にお伺いします。)それはどのようなことですか？(MA)

		回答数	%
全体		222	100.0
1	関心のあるイベント等の情報はチェックして見るようにし	181	81.5
2	講座やイベントに参加している	73	32.9
3	自分で研究したり、作品をつくりしている	66	29.7
4	研究成果や作品を発表・公開している	28	12.6
5	ボランティアなどで館の企画や運営に参加している	22	9.9
6	その他	16	7.2

Q9 (Q7で「ある」と回答された方にお伺いします。)それはどのような分野ですか？(MA)

		回答数	%
全体		222	100.0
1	民俗(民間伝承の風習や風俗、民具など)	74	33.3
2	原始・古代の歴史(土器や石器、古墳出土品など)	72	32.4
3	中世・近世の歴史(江戸時代まで)	82	36.9
4	近・現代の歴史(明治以降)	69	31.1
5	絵画、彫刻、陶芸などの美術	126	56.8
6	ポスターや版画などのグラフィック	67	30.2
7	写真	67	30.2
8	漫画	39	17.6
9	映画や映像	78	35.1
10	地域ゆかりの作家や作品	41	18.5
11	その他	18	8.1

Q10 (Q7で「ない」と回答された方にお伺いします。)それはどのような理由ですか？(MA)

		回答数	%
全体		1413	100.0
1	興味・関心がない	505	35.7
2	多忙で時間がない	412	29.2
3	魅力的なコンテンツがない	283	20.0
4	敷居が高く、活動に参加しづらい	423	29.9
5	その他	75	5.3

3. 集計結果

質問別傾向分析

重要だと思ふ機能

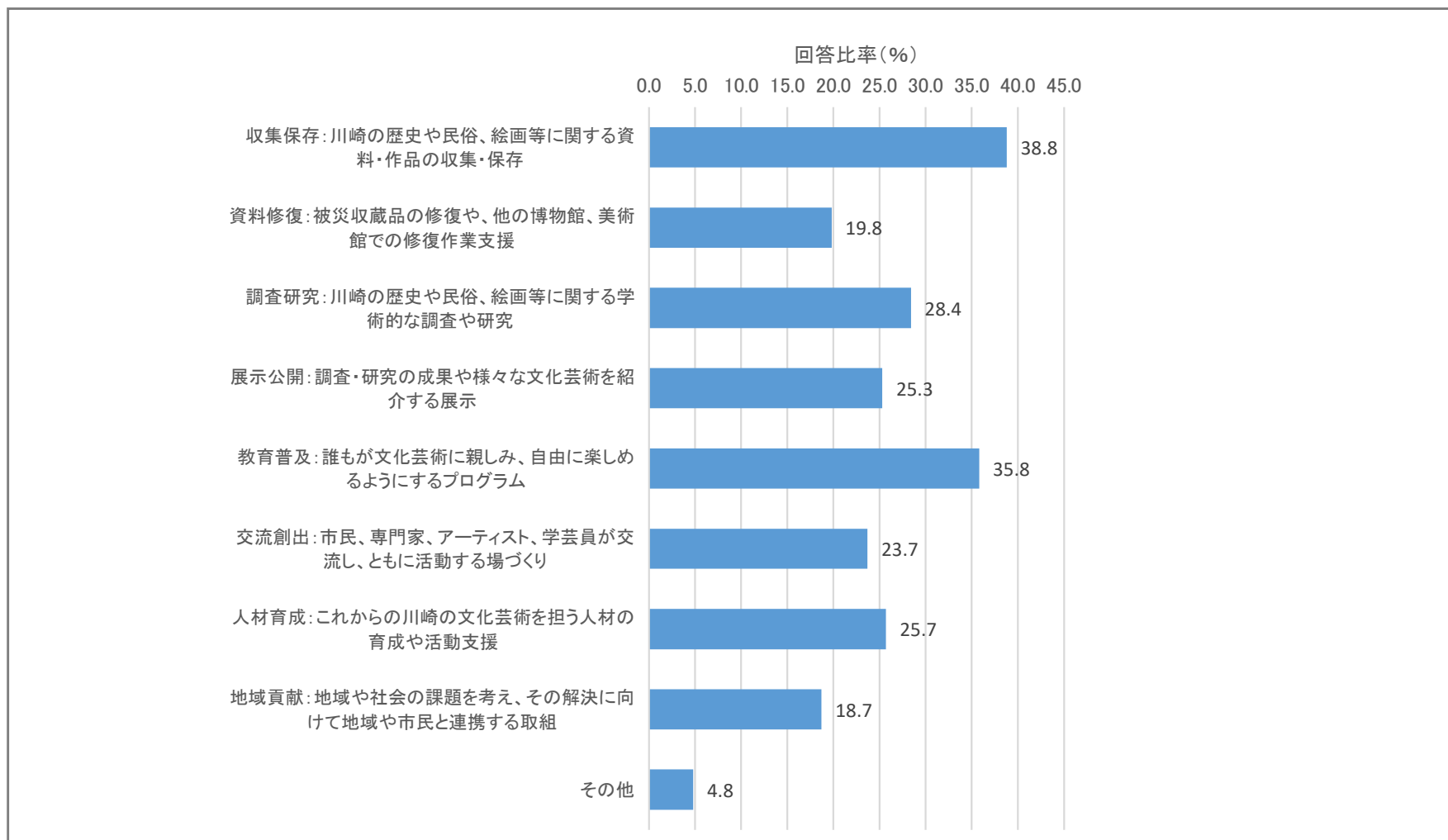
問11

「新たなミュージアム」では次のような機能を備えることを検討しています。あなたはどの機能が重要だと思えますか？（M A）

問11 重要だと思う機能（全体）

収集保存と教育普及の比率が高く、資料修復と地域貢献がやや低い

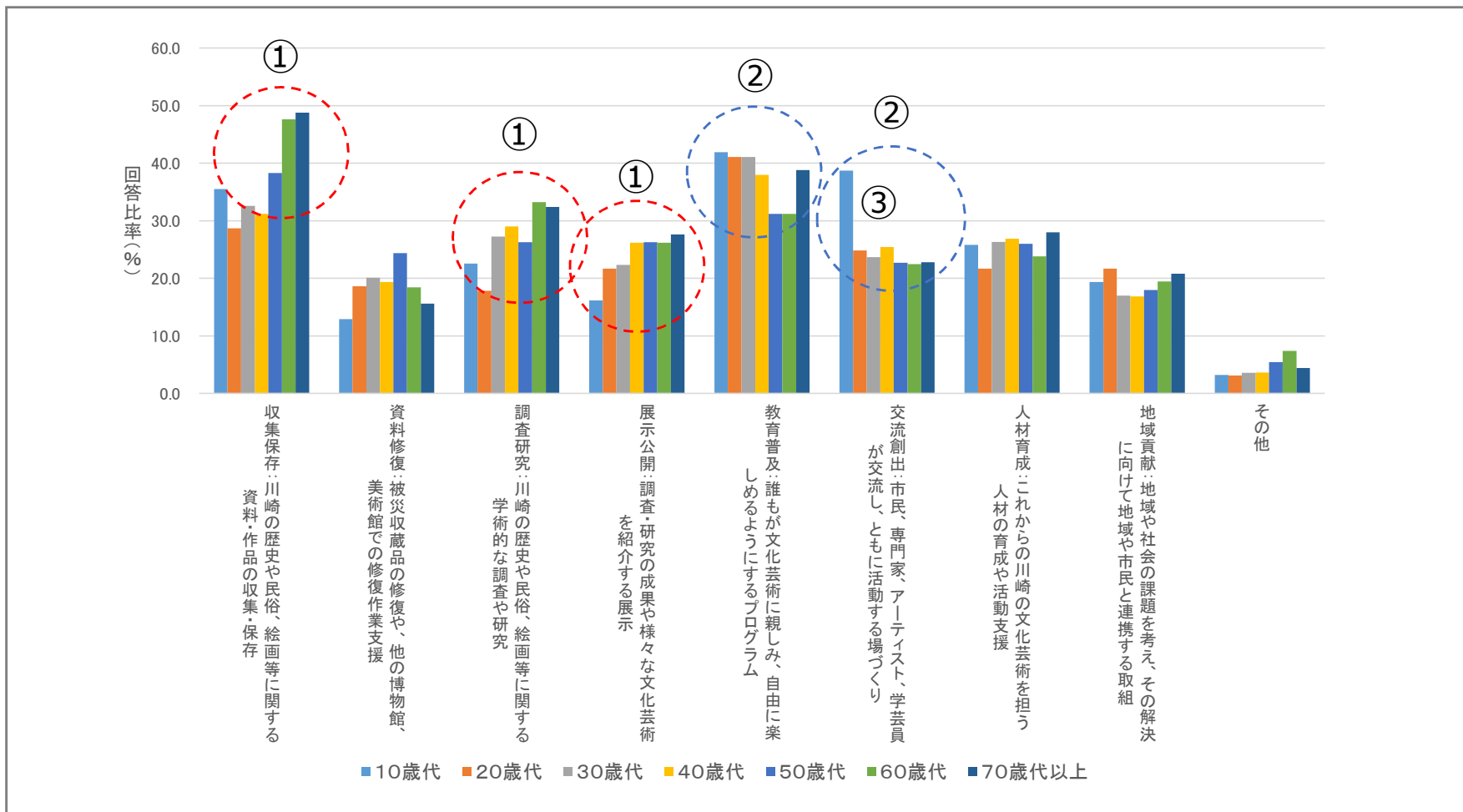
- 収集保存38.9%、教育普及35.8%で高く、一方で資料修復19.8%、地域貢献18.7%と他に比べて低い。
- 調査研究、展示公開、交流創出、人材育成は、概ね25%前後で大きな差がない。



問11 重要だと思う機能（年齢別）

収集保存は50歳代以上、教育普及は40歳以下の回答比率が高い

- ① 収集保存、調査研究、展示公開は年齢の高い層が必要と回答する傾向がみられた。
- ② 教育普及、交流創出は年齢の低い層が必要と回答する傾向がみられた。
- ③ 交流創出で10歳代の回答比率が突出して高い。



問11 重要だと思う機能（年齢別）

		該当数	回答	品の収集・保存	収集・保存に関する資料・作品	修復作業支援	資料の修復	調査・研究	調査・研究	調査・研究	展示	展示	展示	親しみやすいプログラム	教育普及	交流・共同活動	文化交流	文化支援	人材育成	地域貢献	その他	
全体		1635	N	635	324	464	414	586	388	421	305	79										
			%	38.8	19.8	28.4	25.3	35.8	23.7	25.7	18.7	4.8										
1 Q	10歳未満	1	N	1	0	1	0	0	0	0	0	0										
			%	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
	10歳代	31	N	11	4	7	5	13	12	8	6	1										
			%	35.5	12.9	22.6	16.1	41.9	38.7	25.8	19.4	3.2										
	20歳代	129	N	37	24	23	28	53	32	28	28	4										
			%	28.7	18.6	17.8	21.7	41.1	24.8	21.7	21.7	3.1										
	30歳代	224	N	73	45	61	50	92	53	59	38	8										
			%	32.6	20.1	27.2	22.3	41.1	23.7	26.3	17.0	3.6										
	40歳代	279	N	87	54	81	73	106	71	75	47	10										
			%	31.2	19.4	29.0	26.2	38.0	25.4	26.9	16.8	3.6										
	50歳代	423	N	162	103	111	111	132	96	110	76	23										
			%	38.3	24.3	26.2	26.2	31.2	22.7	26.0	18.0	5.4										
	60歳代	298	N	142	55	99	78	93	67	71	58	22										
			%	47.7	18.5	33.2	26.2	31.2	22.5	23.8	19.5	7.4										
	70歳代以上	250	N	122	39	81	69	97	57	70	52	11										
			%	48.8	15.6	32.4	27.6	38.8	22.8	28.0	20.8	4.4										

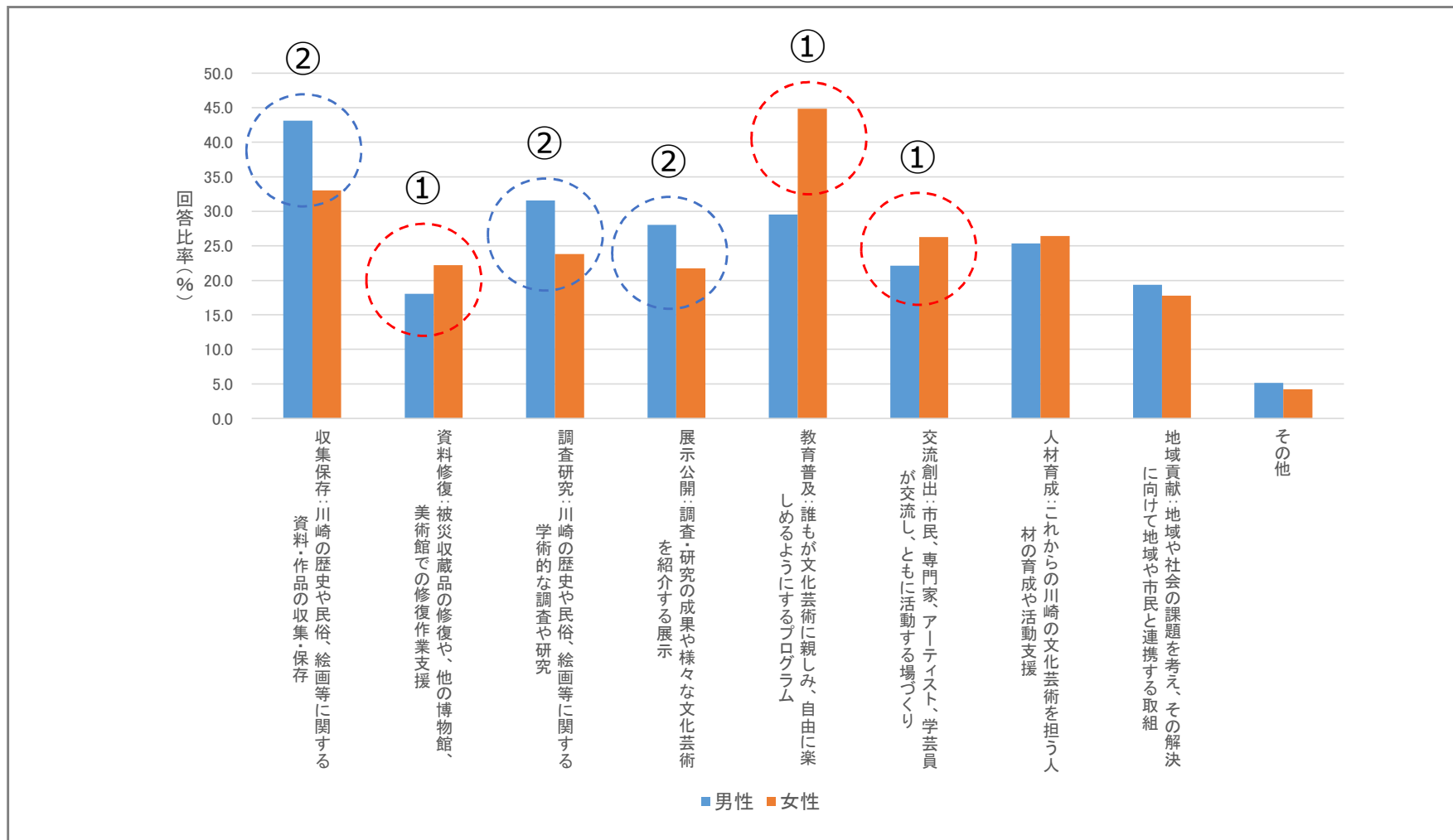
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問11 重要だと思う機能（男女別）

収集保存は男性、教育普及は女性の回答比率が高い

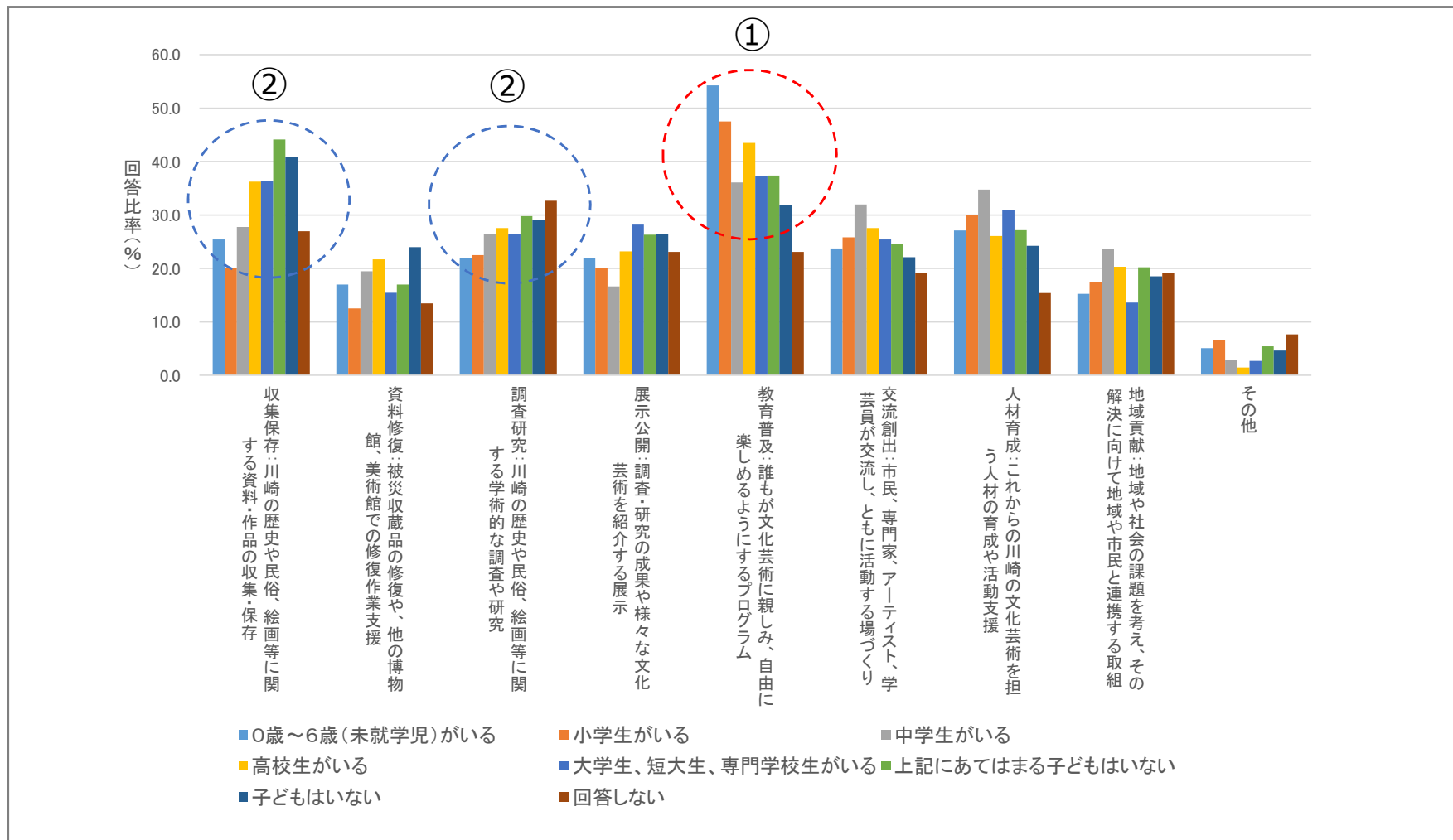
- ① 資料修復、教育普及、交流創出で女性の回答比率が高い。
- ② 収集保存、調査研究、展示公開は男性の回答比率が高い。



問11 重要だと思う機能（子どもの有無別）

子どもがいる層は教育普及の回答比率が高い

- ① 子どもがいる層の回答比率は教育普及が高く、特に小学生以下の子どもがいる層で高い。
- ② 収集保存、調査研究については、子どもがいる層の回答比率が他と比べて低い。



問11 重要だと思う機能（子どもの有無別）

		該当数	回答	品の収集・保存	俗の絵画等に関する資料・民作	修復作業支援	や他の博物館、美術館での復	資料修復：被災収蔵品の修復	調査研究：川崎の歴史や民俗	調査研究：川崎の歴史や民俗	展示：文化芸術を紹介する	展示：調査・研究の成果	に親しみ、自由が文化芸術に	教育普及：誰もが文化芸術に	し、ともに活動する場づくり	交流創造：市民、専門家が	活動支援	人材育成：これからの川崎の	域や市民と連携する取組	を考へ、その解決に向けて	地域貢献：地域や社会の課題	その他	
全体		1635	N	635	324	464	414	586	388	421	305	79											
			%	38.8	19.8	28.4	25.3	35.8	23.7	25.7	18.7	4.8											
4 Q	0歳～6歳(未就学児)がいる	118	N	30	20	26	26	64	28	32	18	6											
			%	25.4	16.9	22.0	22.0	54.2	23.7	27.1	15.3	5.1											
	小学生がいる	120	N	24	15	27	24	57	31	36	21	8											
			%	20.0	12.5	22.5	20.0	47.5	25.8	30.0	17.5	6.7											
	中学生がいる	72	N	20	14	19	12	26	23	25	17	2											
			%	27.8	19.4	26.4	16.7	36.1	31.9	34.7	23.6	2.8											
	高校生がいる	69	N	25	15	19	16	30	19	18	14	1											
			%	36.2	21.7	27.5	23.2	43.5	27.5	26.1	20.3	1.4											
	大学生、短大生、専門学校生がいる	110	N	40	17	29	31	41	28	34	15	3											
			%	36.4	15.5	26.4	28.2	37.3	25.5	30.9	13.6	2.7											
	上記にあてはまる子どもはいない	460	N	203	78	137	121	172	113	125	93	25											
			%	44.1	17.0	29.8	26.3	37.4	24.6	27.2	20.2	5.4											
	子どもはいない	755	N	308	181	220	199	241	167	183	140	35											
			%	40.8	24.0	29.1	26.4	31.9	22.1	24.2	18.5	4.6											
回答しない	52	N	14	7	17	12	12	10	8	10	4												
		%	26.9	13.5	32.7	23.1	23.1	19.2	15.4	19.2	7.7												

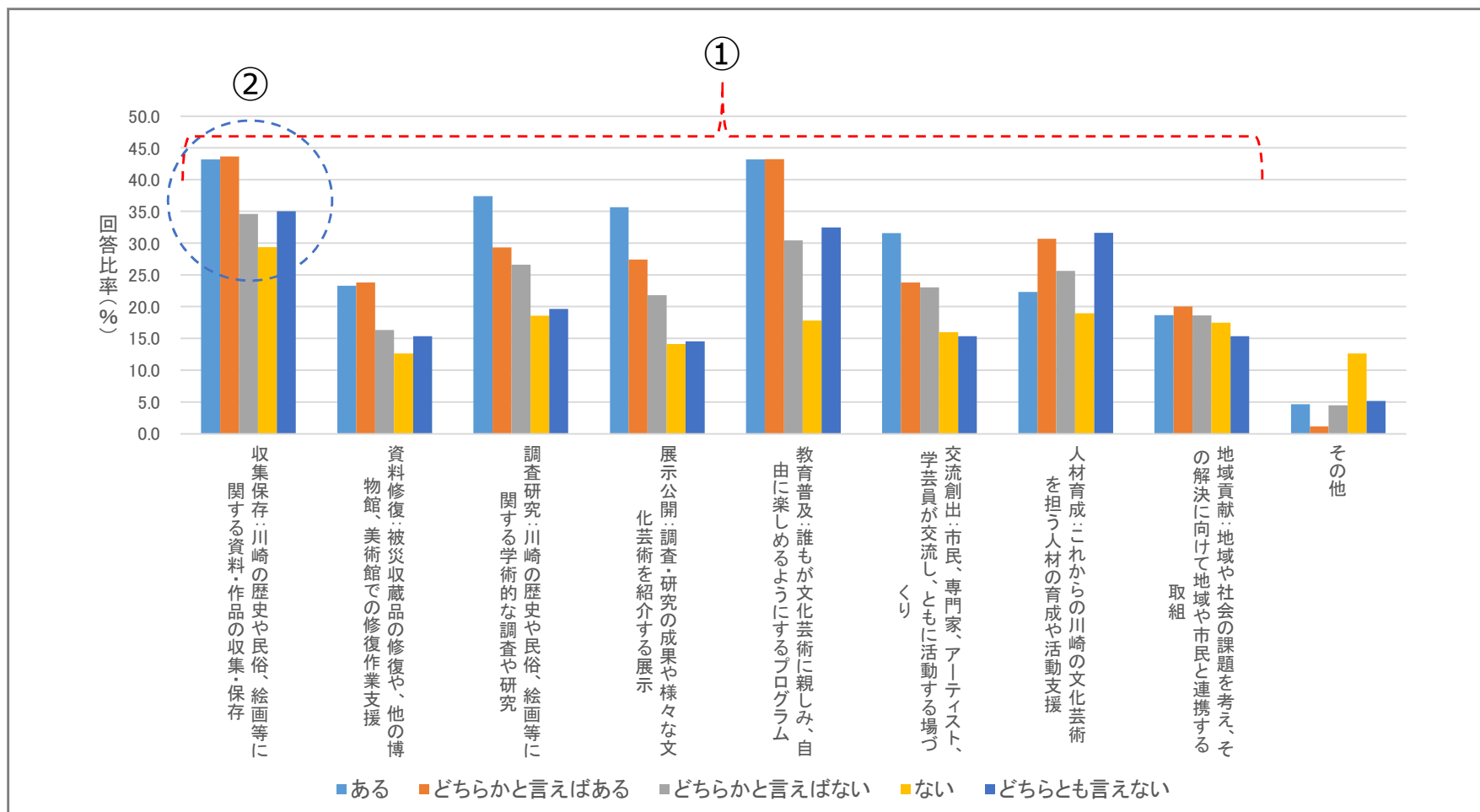
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問11 重要だと思う機能（関心の有無別）

全体的に関心のある人の回答比率が高く、 収集保存は関心のない人も高い

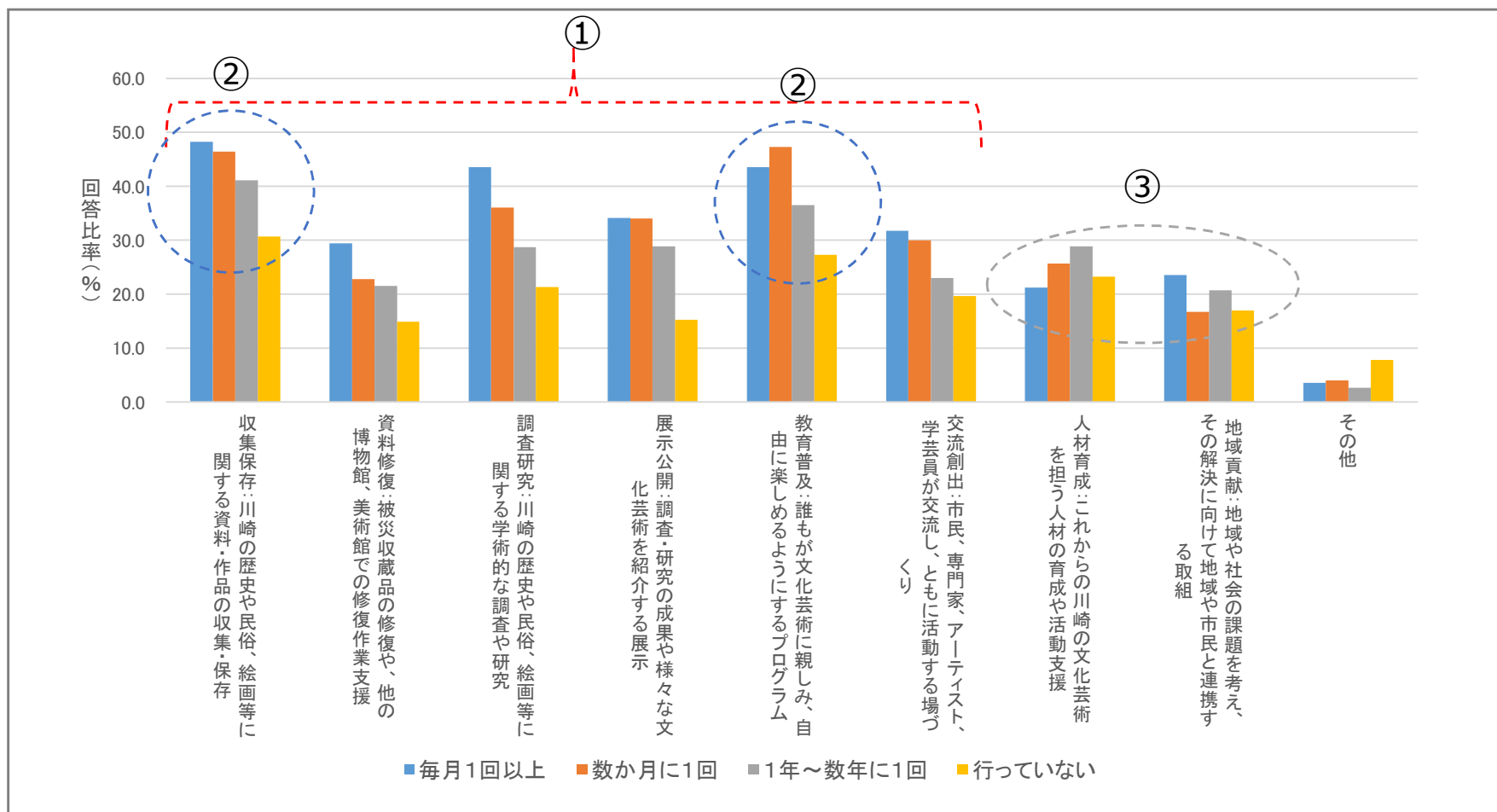
- ① 「その他」を除き、すべての選択肢で関心のある人の回答比率が高い。
- ② 収集保存は、関心が「どちらかといえばない」「ない」人の回答比率が比較的高い。



問11 重要だと思う機能（博物館・美術館の利用頻度別）

収集保存、教育普及は普段「行っていない」人の回答比率も比較的高い

- ① 全体的に普段から利用する人ほど、各選択肢の回答比率が高い。
- ② 収集保存、教育普及は「行っていない」人の回答比率も比較的高い。
- ③ 人材育成、地域貢献は利用頻度による差があまり見られない。



問11 重要だと思う機能（博物館・美術館の利用頻度別）

		該当数	回答	品の収集・保存	収集・保存：川崎の歴史や民俗の絵画等に関する資料・作品の修復作業支援	資料の修復：被災博物館、美術館の修復	調査や研究：川崎の歴史や民俗の絵画等に関する学術的な調査や研究	調査研究：川崎の歴史や民俗の絵画等に関する学術的な調査や研究	展示公開：調査・研究の成果や様々な文化芸術を紹介する	展示公開：調査・研究の成果や様々な文化芸術を紹介する	親しみやすいプログラムを楽しむ文化芸術に	教育普及：誰もが文化芸術に	交流・共同活動：市民、専門家、アーティスト、学生、芸員が交流・共同活動を行う	文化交流：市民、専門家、アーティスト、学生、芸員が交流・共同活動を行う	活動支援：人材の育成や活動の支援	人材育成：これからの育成や	地域貢献：その地域や社会の課題を考えた連携の取組	その他
全体		1635	N	635	324	464	414	586	388	421	305	79						
			%	38.8	19.8	28.4	25.3	35.8	23.7	25.7	18.7	4.8						
6 Q	毎月1回以上	85	N	41	25	37	29	37	27	18	20	3						
			%	48.2	29.4	43.5	34.1	43.5	31.8	21.2	23.5	3.5						
	数か月に1回	347	N	161	79	125	118	164	104	89	58	14						
			%	46.4	22.8	36.0	34.0	47.3	30.0	25.6	16.7	4.0						
	1年～数年に1回	613	N	252	132	176	177	224	141	177	127	16						
			%	41.1	21.5	28.7	28.9	36.5	23.0	28.9	20.7	2.6						
	行っていない	590	N	181	88	126	90	161	116	137	100	46						
			%	30.7	14.9	21.4	15.3	27.3	19.7	23.2	16.9	7.8						

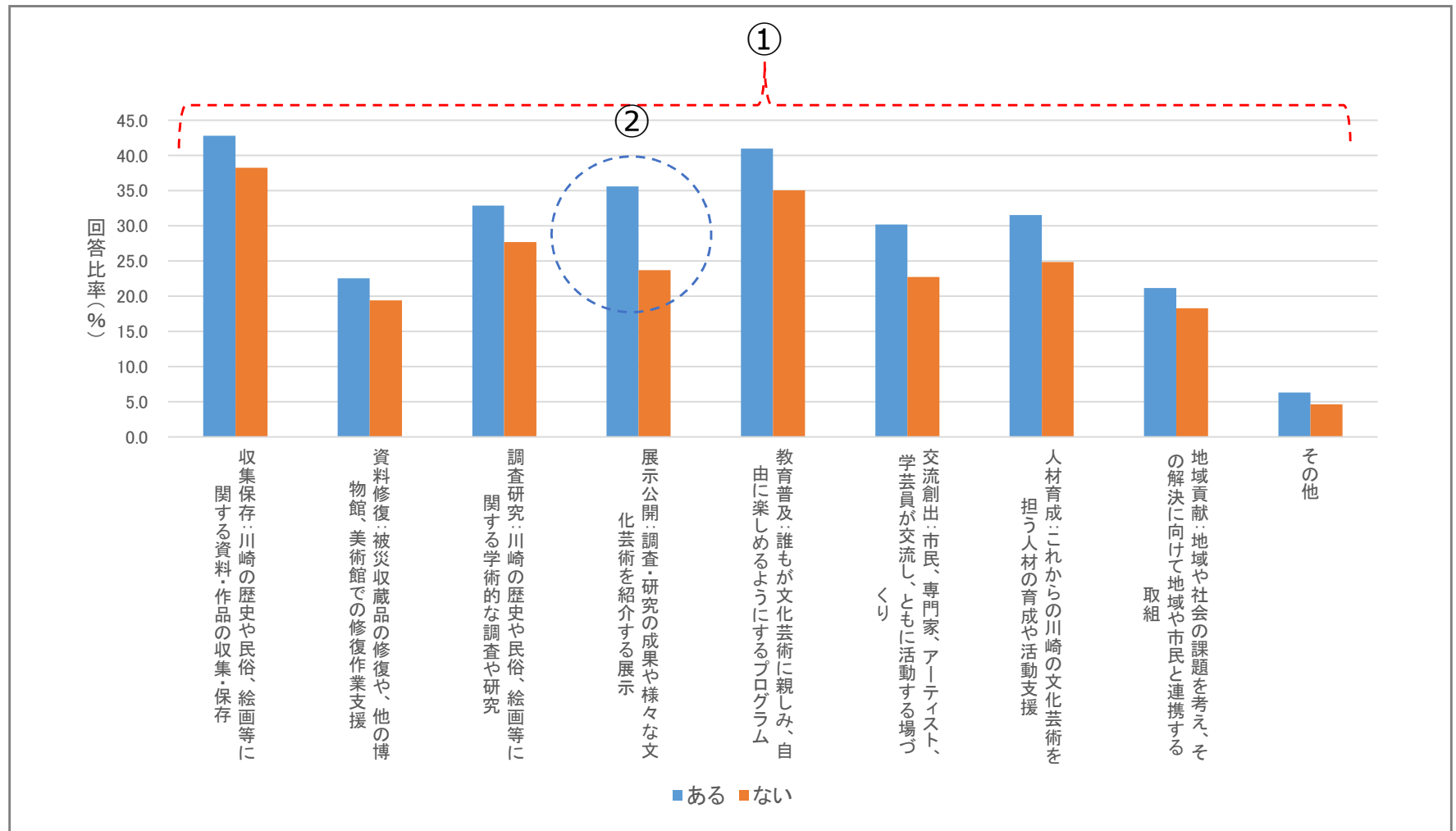
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問11 重要だと思う機能（活動の有無別）

活動している人の回答比率が全体的に高い

- ① 全体的に活動している人の回答比率が高い。
- ② 展示において活動している人としてない人の回答比率の差が最も大きい。



問11 重要だと思う機能（活動の有無別）

		該当数	回答	品の収集・保存	俗の絵画等に関する資料・民作	修復作業支援	資料修復：被災収蔵品の修復	調査研究：川崎の歴史や民	調査研究：川崎の歴史や民	展示公開：調査・研究の成果	展示公開：調査・研究の成果	親しみやすいプログラム	教育普及：誰もが文化芸術に	アート・イベント活動する場づくり	交流創作：市民、専門家が	文化芸術を担う人材の育成	人材育成：これからの川崎の	地域貢献：地域の課題	その他
全体		1635	N	635	324	464	414	586	388	421	305	79							
			%	38.8	19.8	28.4	25.3	35.8	23.7	25.7	18.7	4.8							
7 Q	ある	222	N	95	50	73	79	91	67	70	47	14							
			%	42.8	22.5	32.9	35.6	41.0	30.2	31.5	21.2	6.3							
	ない	1413	N	540	274	391	335	495	321	351	258	65							
			%	38.2	19.4	27.7	23.7	35.0	22.7	24.8	18.3	4.6							

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問11 重要だと思う機能（その他自由回答一覧）

問11「新たなミュージアム」では次のような機能を備えることを検討しています。あなたはどの機能が重要だと思いますか？

- 分からない（11件）
- 必要ない（3件）
- 特になし（22件）
- 興味なし（5件）
- 訪れた個人や小集団が各々体験して楽しめる施設
- 避難所になるようにすること
- 独自性のある企画、学芸員の方の専門知識が活かされ、来場者に還元される取り組み。
- 調査研究に市民参加
- 中原のミュージアムにあった映画館が欲しいです。
- 地元の音楽団体（中学校の吹奏楽部など）の発表の場
- 知らない
- 誰のためにミュージアムが必要なのでしょうか 市民が望んでいるのでしょうか 憩いの場市民プールを潰しておいてまた新たに何をするつもりなのでしょうか
- 体制不十分
- 体験学習
- 多摩川が氾濫しても被害を受けないように収集品を保護する
- 足立美術館のように特徴があるもの
- 川崎市には、横浜よりも、歴史的に重要な施設があるが、全く宣伝していない。もったいない。橘樹郡遺跡
- 税金を投入して、たいした展示物も無いような施設は、必要ない。すでに国立や県立のものがあるので、それを利用すればいい。
- 税金を使わない筋立て
- 生田緑地とのコラボレーションを望みます。
- 生田にはいくつかの施設がすでにあるので、うまく連携して欲しい。新しい施設には、修復、保存、収集、調査を基本方針として、多くを求めすぎない方がいいように思う。
- 水没しない収蔵品保管庫
- 色々あるが、上記にはない、もっとマニアックなテーマの展示
- 上記すべて(3つに絞れませんでした)
- 参加型のものだと子供が興味を持つきっかけになりやすいと思う。川崎市は工業面でも盛んなので、工業デザインの美しさ、音楽等も、クリエイティブな子供たちの才能を開花させる足掛かりとなるような博物館が良い
- 財形・老後・子育て・相続などに関する講演
- 最初に美術館を災害に遭いやすい土地に建てたのが間違いだった。こういう頓珍漢な事をする委員会なり部署なりの構造改革が必須
- 広域から集客できる話題性の高い魅力的な展覧会の企画実施
- 交通の利便性
- 個性的でやる気のある優れた学芸員を集めること。今までが悪すぎた。
- 建設の必要がない。住民税を下げて欲しい。
- 演劇等の公演ができる舞台
- 一人でゆっくり絵画を何時までも見ていられる空間
- ミュージアムは不要。経費を削減すべき。
- また漫画を読めるコーナーを作ってください。
- どれもよい
- サッカーチームとのコラボ
- VRなどの映像技術

あるとよいと思うプログラム

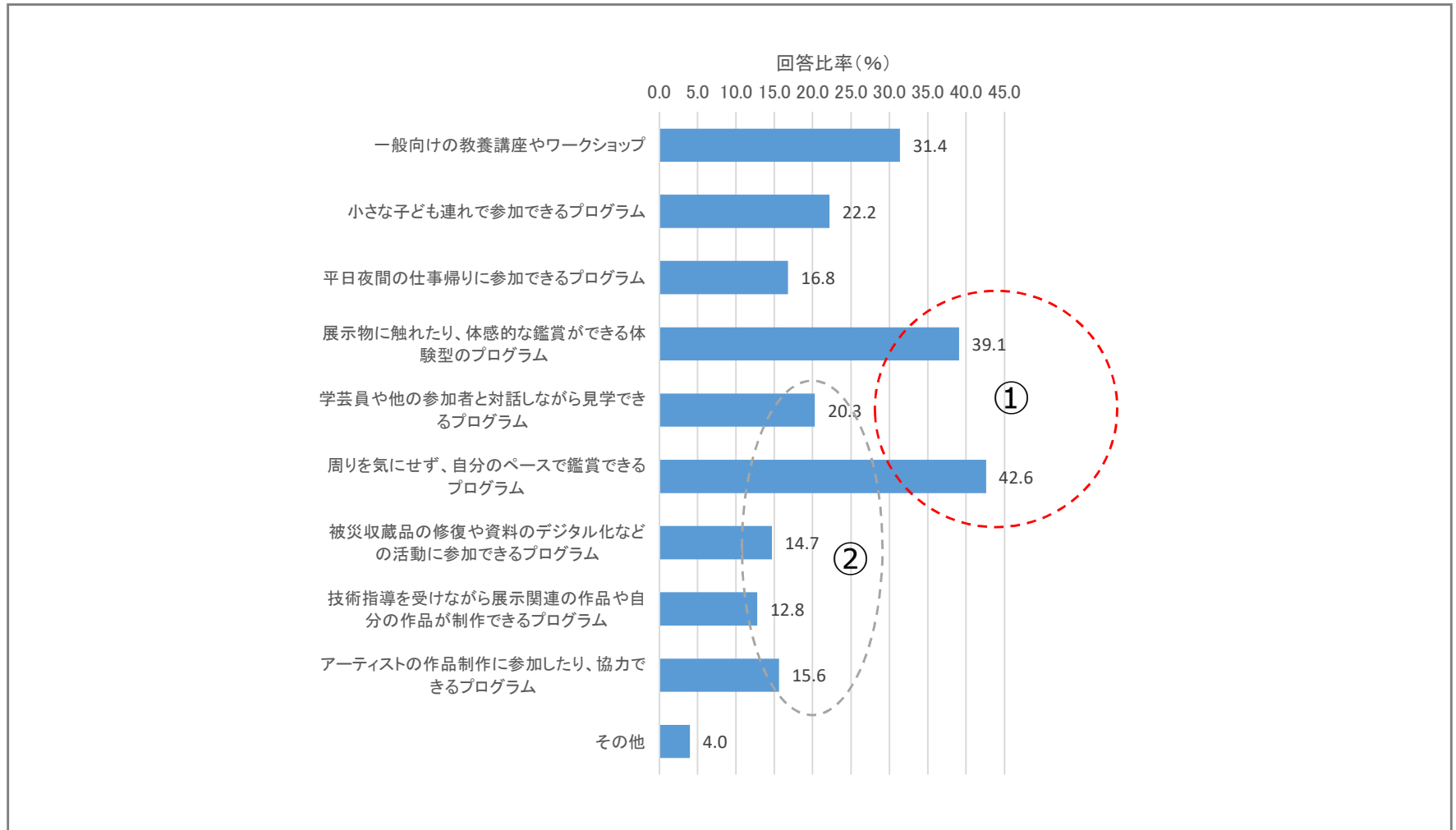
問12

「新たなミュージアム」には、どのようなプログラムがあるとよいと思いますか？（MA）

問12 あるとよいと思うプログラム（全体）

自分のペースで鑑賞できるプログラム、体験型のプログラムの回答比率が高い

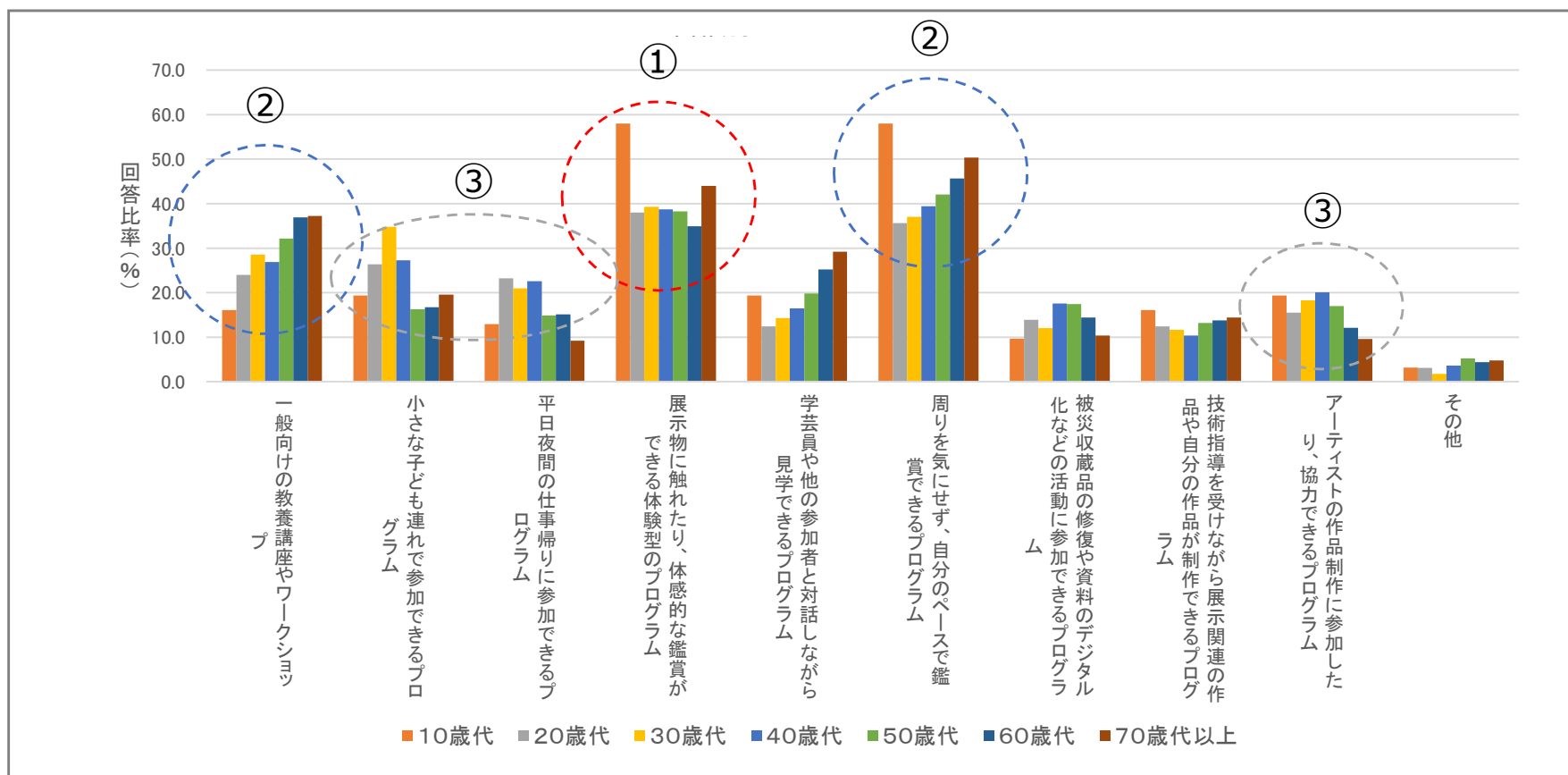
- ① 自分のペースで鑑賞できるプログラムが42.6%で最も高く、次いで体験型のプログラムで39.1%が高い。
- ② 対話型や参加型のプログラムの回答比率は、概ね15～20%程度であった。



問12 あるとよいと思うプログラム（年齢別）

体験型プログラムの回答比率が全世代で高い

- ① 体験型のプログラムは全世代で回答比率が高く、特に10歳代が突出して高い。
- ② 自分のペースで鑑賞できるプログラム、一般向けの教養講座やワークショップは、10歳代を除き年齢が高くなるほど回答比率が高い傾向にある。
- ③ 小さな子ども連れで参加できるプログラムや仕事帰りに参加できるプログラム、作品制作に参加できるプログラムは、20～40歳代の回答比率が高い。



問12 あるとよと思うプログラム（年齢別）

		該当数	回答	一般向けの教養講座やワークショップ	小さな子ども連れで参加できるプログラム	平日夜の仕事帰りに参加できるプログラム	展示物に触れたり、体験型のプログラムの鑑賞ができる	学芸員や他の参加者と対話しながら見学できるプログラム	周りを気にせず、自分のペースで鑑賞できるプログラム	被災収蔵品の修復や資料のデジタル化などの活動に参加できるプログラム	技術指導を受けながら展示関連の作品や自分の作品が制作できるプログラム	加したり、協力できる作品制作にアーティストの参加	その他
全体		1635	N	514	363	275	639	332	697	240	209	255	66
			%	31.4	22.2	16.8	39.1	20.3	42.6	14.7	12.8	15.6	4.0
1 Q	10歳未満	1	N	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
			%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10歳代	31	N	5	6	4	18	6	18	3	5	6	1
			%	16.1	19.4	12.9	58.1	19.4	58.1	9.7	16.1	19.4	3.2
	20歳代	129	N	31	34	30	49	16	46	18	16	20	4
			%	24.0	26.4	23.3	38.0	12.4	35.7	14.0	12.4	15.5	3.1
	30歳代	224	N	64	78	47	88	32	83	27	26	41	4
			%	28.6	34.8	21.0	39.3	14.3	37.1	12.1	11.6	18.3	1.8
	40歳代	279	N	75	76	63	108	46	110	49	29	56	10
			%	26.9	27.2	22.6	38.7	16.5	39.4	17.6	10.4	20.1	3.6
	50歳代	423	N	136	69	63	162	84	178	74	56	72	22
			%	32.2	16.3	14.9	38.3	19.9	42.1	17.5	13.2	17.0	5.2
	60歳代	298	N	110	50	45	104	75	136	43	41	36	13
			%	36.9	16.8	15.1	34.9	25.2	45.6	14.4	13.8	12.1	4.4
	70歳代以上	250	N	93	49	23	110	73	126	26	36	24	12
			%	37.2	19.6	9.2	44.0	29.2	50.4	10.4	14.4	9.6	4.8

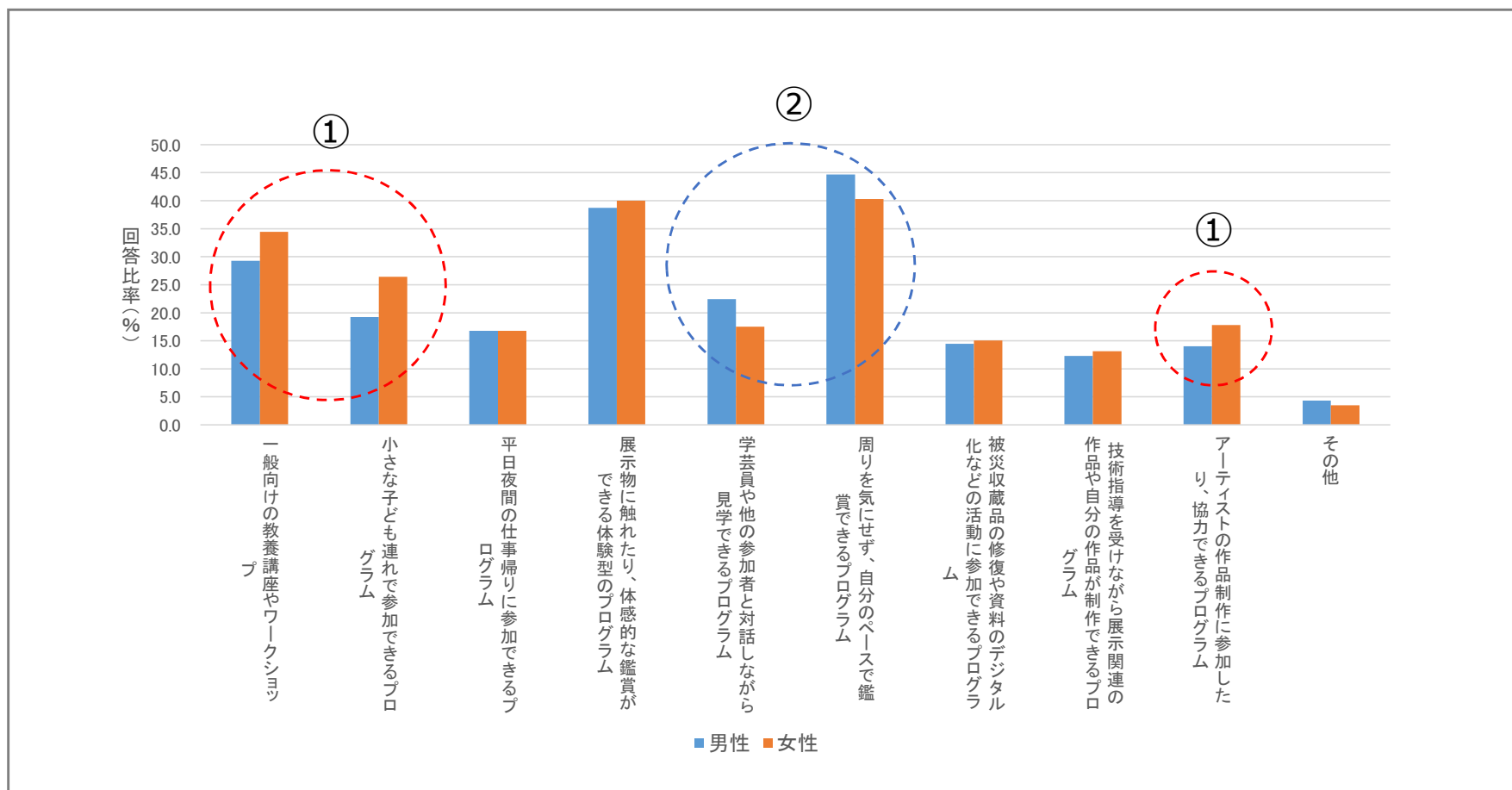
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問12 あるとよいと思うプログラム（男女別）

男女ともに自分のペースで鑑賞できるプログラム、体験型プログラムが高い

- ① 小さな子ども連れで参加できるプログラム、教養講座やワークショップ、アーティストの作品制作に参加できるプログラムで女性の回答比率が高い
- ② 男性は、自分のペースで鑑賞できるプログラム、学芸員など対話できるプログラムで女性よりも回答比率が高い



問12 あるとよと思うプログラム（男女別）

		該当数	回答	一般向けの教養講座やワークショップ	小さな子ども連れで参加できるプログラム	平日夜間の仕事帰りに参加できるプログラム	展示物に触れたり、体験型のプログラムの鑑賞ができる	学芸員や他の参加者と対話しながら見学できるプログラム	周りを気にせず、自分のペースで鑑賞できるプログラム	被災収蔵品の修復や資料のデジタル化などの活動に参加できるプログラム	技術指導を受けながら展示関連の作品や自分の作品が制作できるプログラム	アーティストの作品制作に参加したり、協力できるプログラム	その他	
全体		1635	N	514	363	275	639	332	697	240	209	255	66	
			%	31.4	22.2	16.8	39.1	20.3	42.6	14.7	12.8	15.6	4.0	
2 Q	男性	935	N	274	180	157	362	210	418	135	115	131	40	
			%	29.3	19.3	16.8	38.7	22.5	44.7	14.4	12.3	14.0	4.3	
	女性	685	N	236	181	115	274	120	276	103	90	122	24	
			%	34.5	26.4	16.8	40.0	17.5	40.3	15.0	13.1	17.8	3.5	
	その他	2	N	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
			%	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	回答しない	13	N	3	1	3	2	2	2	3	2	3	2	2
			%	23.1	7.7	23.1	15.4	15.4	23.1	15.4	23.1	15.4	15.4	15.4

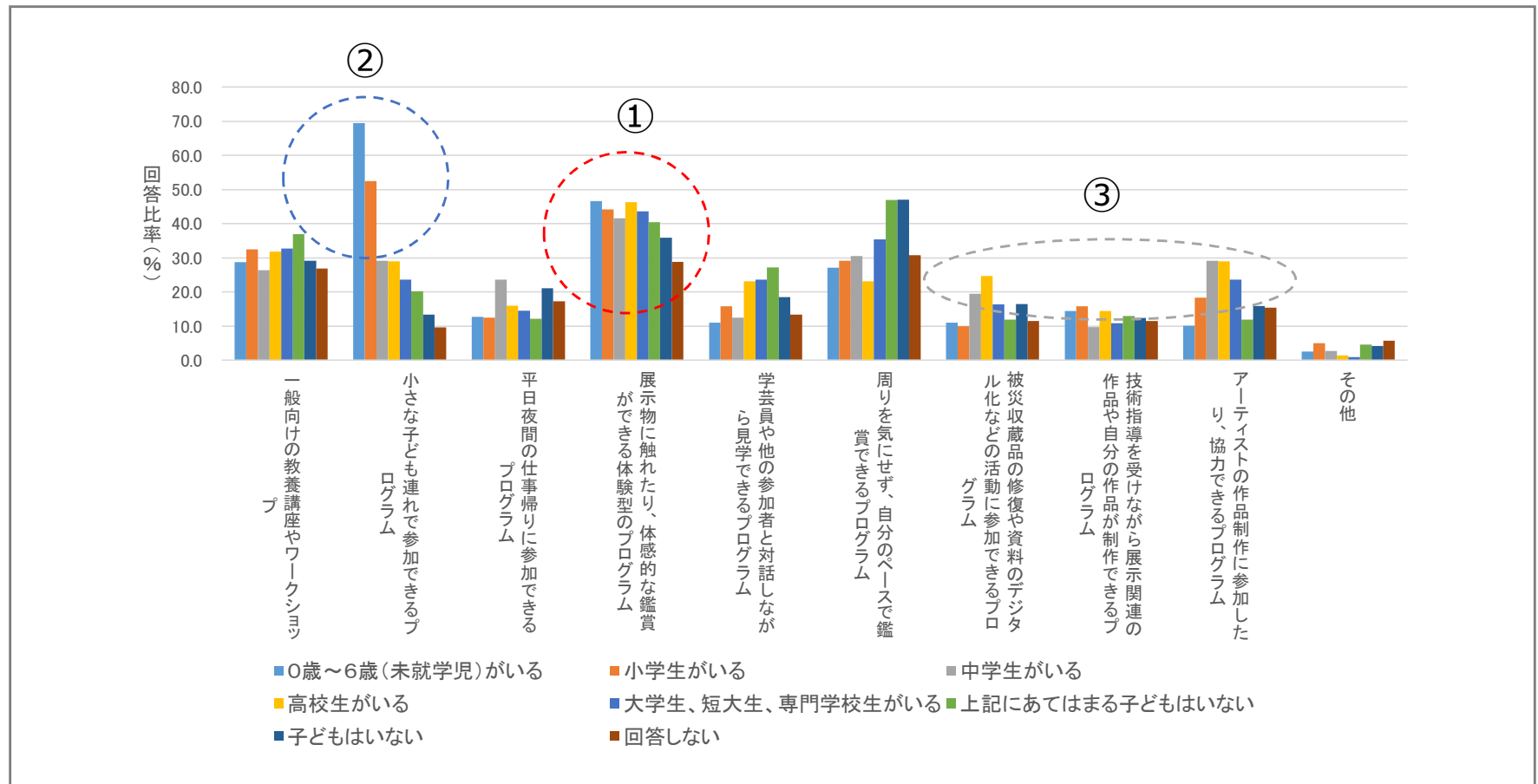
選択肢別の全体%値(平均値)との差

15ポイント以上
10ポイント以上15ポイント未満
5ポイント以上10ポイント未満
▲5ポイント以上▲10ポイント未満
▲10ポイント以上▲15ポイント未満
▲15ポイント以上

問12 あるとよいと思うプログラム（子どもの有無別）

子どもがいる人の体験型プログラムに対する回答比率が高い

- ① 子どもがいる人は体験型のプログラムに対する回答比率が子どもがいない人に比べて高い
- ② 小さな子ども連れで参加できるプログラムは小学生以下の子どもがいる人の回答比率が突出して高い
- ③ 参加型のプログラムは、中学生・高校生の子どものいる人の回答比率が他と比べて高い



問12 あるとよいと思うプログラム（子どもの有無別）

	該当数	回答	一般向けの教養講座やワークショップ	小さな子ども連れで参加できるプログラム	平日夜間の仕事帰りに参加できるプログラム	展示物に触れたり、体験型のプログラムの鑑賞ができる	学芸員や他の参加者と対話しながら見学できるプログラム	周りを気にせず、自分のペースで鑑賞できるプログラム	被災収蔵品の修復や資料のデジタル化などの活動に参加できるプログラム	技術指導を受けながら展示関連の作品や制作ができるプログラム	加したり、協力の作品制作に参加したり、ストの作品制作に参加	その他
			N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
全体	1635		514	363	275	639	332	697	240	209	255	66
			31.4	22.2	16.8	39.1	20.3	42.6	14.7	12.8	15.6	4.0
4 Q	0歳～6歳(未就学児)がいる	N	34	82	15	55	13	32	13	17	12	3
		%	28.8	69.5	12.7	46.6	11.0	27.1	11.0	14.4	10.2	2.5
	小学生がいる	N	39	63	15	53	19	35	12	19	22	6
		%	32.5	52.5	12.5	44.2	15.8	29.2	10.0	15.8	18.3	5.0
	中学生がいる	N	19	21	17	30	9	22	14	7	21	2
		%	26.4	29.2	23.6	41.7	12.5	30.6	19.4	9.7	29.2	2.8
	高校生がいる	N	22	20	11	32	16	16	17	10	20	1
		%	31.9	29.0	15.9	46.4	23.2	23.2	24.6	14.5	29.0	1.4
	大学生、短大生、専門学校生がいる	N	36	26	16	48	26	39	18	12	26	1
		%	32.7	23.6	14.5	43.6	23.6	35.5	16.4	10.9	23.6	0.9
	上記にあてはまる子どもはいない	N	170	93	56	186	125	216	55	60	55	21
		%	37.0	20.2	12.2	40.4	27.2	47.0	12.0	13.0	12.0	4.6
	子どもはいない	N	220	101	159	271	140	355	124	94	120	32
		%	29.1	13.4	21.1	35.9	18.5	47.0	16.4	12.5	15.9	4.2
	回答しない	N	14	5	9	15	7	16	6	6	8	3
		%	26.9	9.6	17.3	28.8	13.5	30.8	11.5	11.5	15.4	5.8

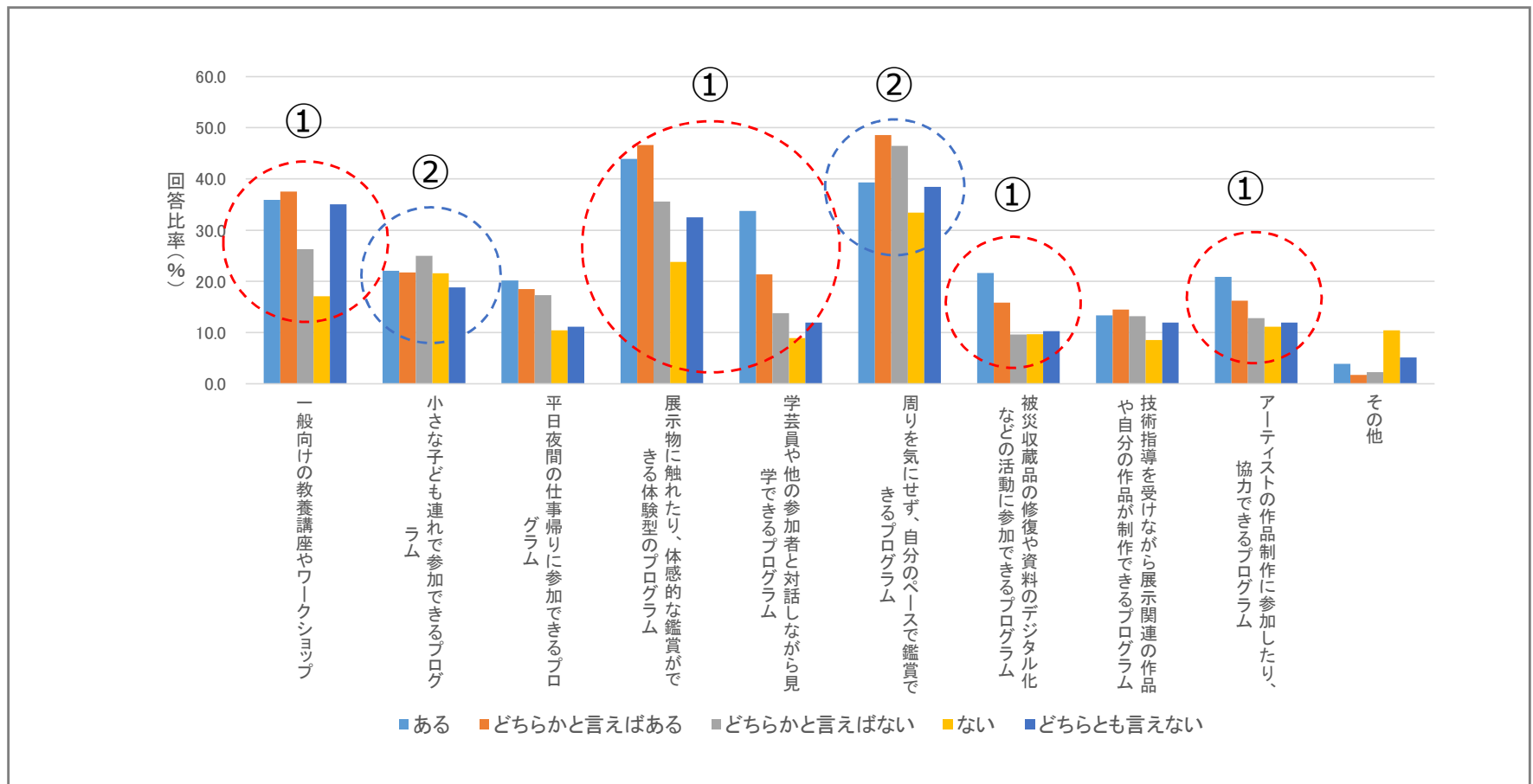
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問12 あるとよいと思うプログラム（関心の有無別）

関心がある層は、ない層に比べて体験型・参加型プログラムの回答比率が高い

- ① 特に教養講座やワークショップ、体験型・対話型・参加型のプログラムでは、関心のある人の回答比率が関心のない人に比べて高い
- ② 自分のペースで鑑賞できるプログラム、小さな子ども連れで参加できるプログラムは、関心のある人とない人で大きな差がない



問12 あるとよいと思うプログラム（関心の有無別）

		該当数	回答	一般向けの シヨップ	小さな子ども 連れで参加 できる プログラム	平日夜間の 仕事帰りに 参加でき るプログラム	展示物に 触れたり、 体験型の プログラ ム	学芸員や 他の参加 者と対話 しながら 見学でき るプログ ラム	周りを 鑑賞でき るプログ ラム	被災収 蔵品の 修復や 資料の デジタル 化など の活動 に参加 できる プログ ラム	技術指 導を受 けなが ら展 示作 品が 制作 できる プログ ラム	加した り、協 力の 作品 制作 に参 加する プログ ラム	その他
全体		1635	N	514	363	275	639	332	697	240	209	255	66
			%	31.4	22.2	16.8	39.1	20.3	42.6	14.7	12.8	15.6	4.0
5 Q	ある	412	N	148	91	83	181	139	162	89	55	86	16
			%	35.9	22.1	20.1	43.9	33.7	39.3	21.6	13.3	20.9	3.9
	どちらかと言えばある	525	N	197	114	97	245	112	255	83	76	85	9
			%	37.5	21.7	18.5	46.7	21.3	48.6	15.8	14.5	16.2	1.7
	どちらかと言えない	312	N	82	78	54	111	43	145	30	41	40	7
			%	26.3	25.0	17.3	35.6	13.8	46.5	9.6	13.1	12.8	2.2
	ない	269	N	46	58	28	64	24	90	26	23	30	28
			%	17.1	21.6	10.4	23.8	8.9	33.5	9.7	8.6	11.2	10.4
	どちらとも言えない	117	N	41	22	13	38	14	45	12	14	14	6
			%	35.0	18.8	11.1	32.5	12.0	38.5	10.3	12.0	12.0	5.1

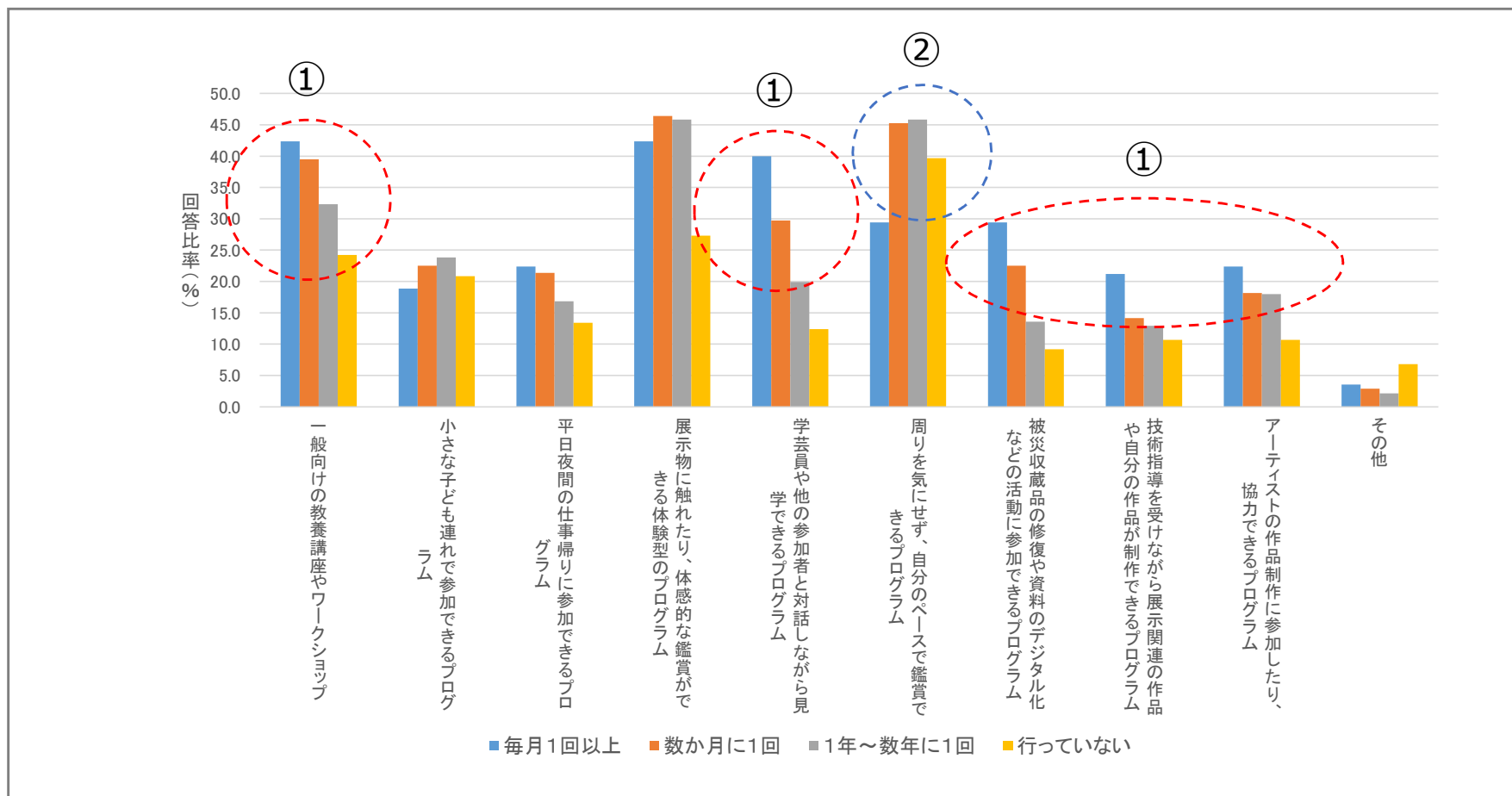
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問12 あるとよいと思うプログラム（博物館・美術館の利用頻度別）

対話型・参加型プログラムの回答比率は利用頻度により差

- ① 利用頻度の多い人は、体験型プログラムの他、一般向け教養講座やワークショップ、対話型・参加型のプログラムに対する回答比率が高い
- ② 利用頻度の少ない人は、自分のペースで鑑賞できるプログラムと体験型プログラムの回答比率が高く、対話型や参加型のプログラムは低い



問12 あるとよいと思うプログラム（博物館・美術館の利用頻度別）

		該当数	回答	一般向けの教養講座やワークショップ	小さな子ども連れで参加できるプログラム	平日夜間の仕事帰りに参加できるプログラム	展示物に触れたり、体験型のプログラム	学芸員や他の参加者と対話しながら見学できるプログラム	周りを気にせず、自分のペースで鑑賞できるプログラム	被災収蔵品の修復や資料のデジタル化などの活動に参加できるプログラム	技術指導を受けながら展示関連の作品や自分の作品が制作できるプログラム	加したり、協力を作品制作にプログラム	アーティストの作品制作に参加	その他
全体		1635	N	514	363	275	639	332	697	240	209	255	66	
			%	31.4	22.2	16.8	39.1	20.3	42.6	14.7	12.8	15.6	4.0	
6 Q	毎月1回以上	85	N	36	16	19	36	34	25	25	18	19	3	
			%	42.4	18.8	22.4	42.4	40.0	29.4	29.4	21.2	22.4	3.5	
	数か月に1回	347	N	137	78	74	161	103	157	78	49	63	10	
			%	39.5	22.5	21.3	46.4	29.7	45.2	22.5	14.1	18.2	2.9	
	1年～数年に1回	613	N	198	146	103	281	122	281	83	79	110	13	
			%	32.3	23.8	16.8	45.8	19.9	45.8	13.5	12.9	17.9	2.1	
	行っていない	590	N	143	123	79	161	73	234	54	63	63	40	
			%	24.2	20.8	13.4	27.3	12.4	39.7	9.2	10.7	10.7	6.8	

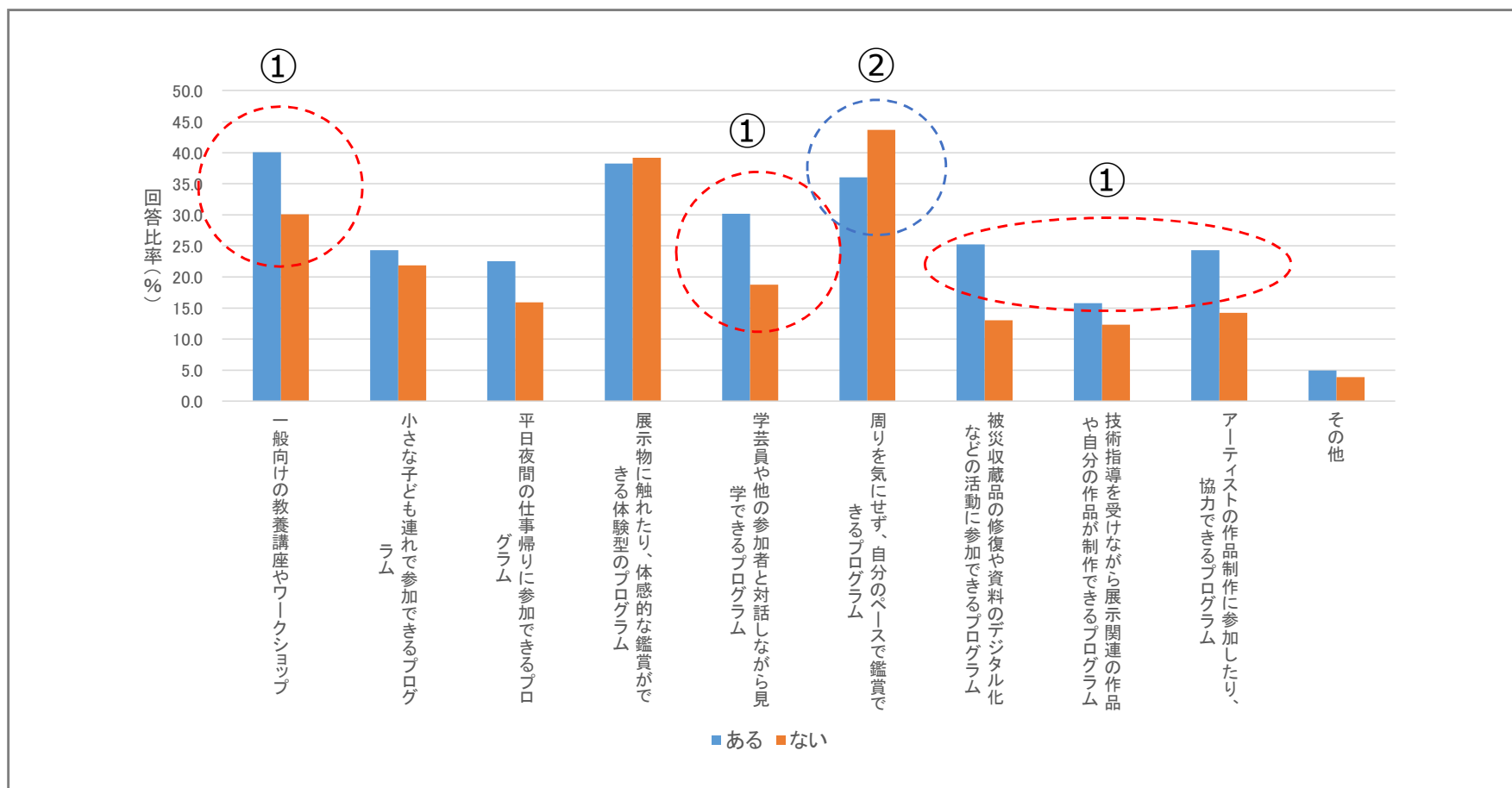
選択肢別の全体%値(平均値)との差

15ポイント以上
10ポイント以上15ポイント未満
5ポイント以上10ポイント未満
▲5ポイント以上▲10ポイント未満
▲10ポイント以上▲15ポイント未満
▲15ポイント以上

問12 あるとよいと思うプログラム（活動の有無別）

活動の有無により対話型・参加型プログラムの回答比率に差

- ① 普段から行っていることがある人は、一般向け教養講座やワークショップ、対話型・参加型のプログラムに対する回答比率が行っていないことが「ない人」に比べて高い。
- ② 普段から行っていない人は、全体的に回答比率が低いですが、自分のペースで鑑賞できるプログラムの回答比率は「ある人」に比べて高い。



問12 あるとよと思うプログラム（活動の有無別）

		該当数	回答	一般向けの教養講座やワークショップ	小さな子ども連れで参加できるプログラム	平日夜間の仕事帰りに参加できるプログラム	展示物に触れたり、体験型のプログラムの鑑賞ができる体感的なプログラム	学芸員や他の参加者と対話しながら見学できるプログラム	周りを気にせず、自分のペースで鑑賞できるプログラム	被災取壊品の修復や資料のデジタル化などの活動に参加できるプログラム	技術指導を受けながら展示制作ができるプログラム	加したり、協力を作品制作にプログラム	その他
全体		1635	N	514	363	275	639	332	697	240	209	255	66
			%	31.4	22.2	16.8	39.1	20.3	42.6	14.7	12.8	15.6	4.0
7 Q	ある	222	N	89	54	50	85	67	80	56	35	54	11
			%	40.1	24.3	22.5	38.3	30.2	36.0	25.2	15.8	24.3	5.0
	ない	1413	N	425	309	225	554	265	617	184	174	201	55
			%	30.1	21.9	15.9	39.2	18.8	43.7	13.0	12.3	14.2	3.9

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問12 あるとよいと思うプログラム（その他自由回答一覧）

問12 「新たなミュージアム」には、どのようなプログラムがあるとよいと思いますか？

- 特にない（23件）
- わからない（9件）
- 興味がない（3件）
- 必要ない（3件）
- 無料、タダ（2件）
- 無理と、と思いますが、夜間も拝観が出来る。
- 不明
- 等々力でも行っていたような誰でも自由に鑑賞ができるミニコンサート
- 誕生日無料
- 多摩川が創ってきた自然・文化・歴史・アートなどを複合的に学べる「タマ学」のようなプログラム。
- 障がいがある子でも参加しやすいプログラム。
- 産業遺産
- 歌や器楽演奏など自由に使える部屋が確保できる。
- 何か作る
- 一般向け講座を市内の様々な場所出張講座して欲しい。生田はファミリー層、そのほか文化財に興味のある大人には近隣で、ありがたい
- ユニークベニューとしての活用プログラム
- ポストコロナなので、オンラインで自宅から参加できるプログラム
- ペット同伴
- プログラムの具体的な活動だけだと選択しにくく、その先のアウトカムを示していただけると選択しやすいです...
- プラネタリウムの併設
- はこものはいらぬ
- どれも良い
- どれでもよい
- テーマを絞ったマニアックなプログラム
- 100年単位で考えて下さい。

あるとよいと思う交流の機会

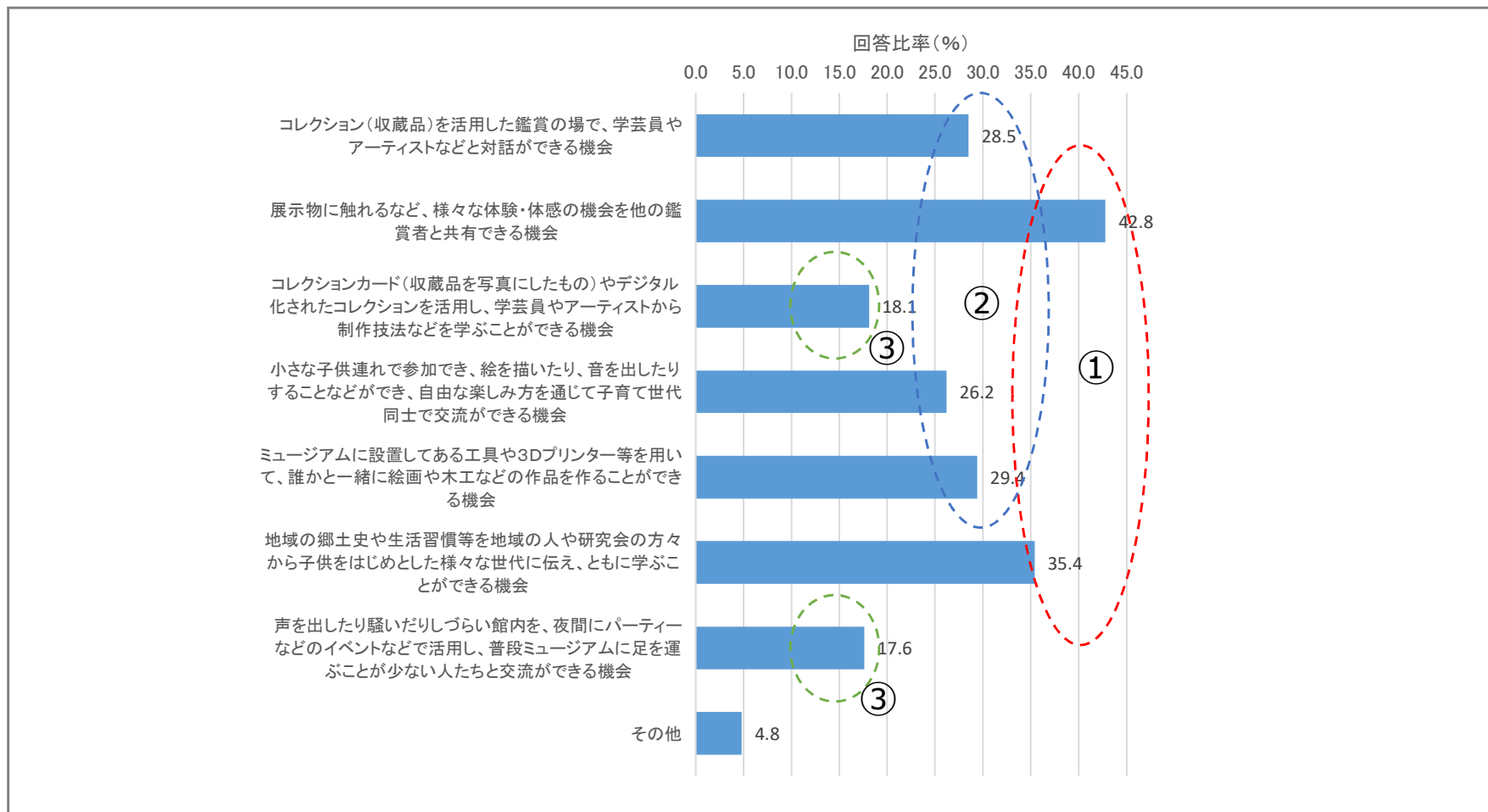
問13

「新たなミュージアム」には、どのような交流の機会があるとよいと思いますか？（M A）

問13 あるとよいと思う交流の機会（全体）

体験を共有したり、ともに学んだりできる機会の回答比率が高い

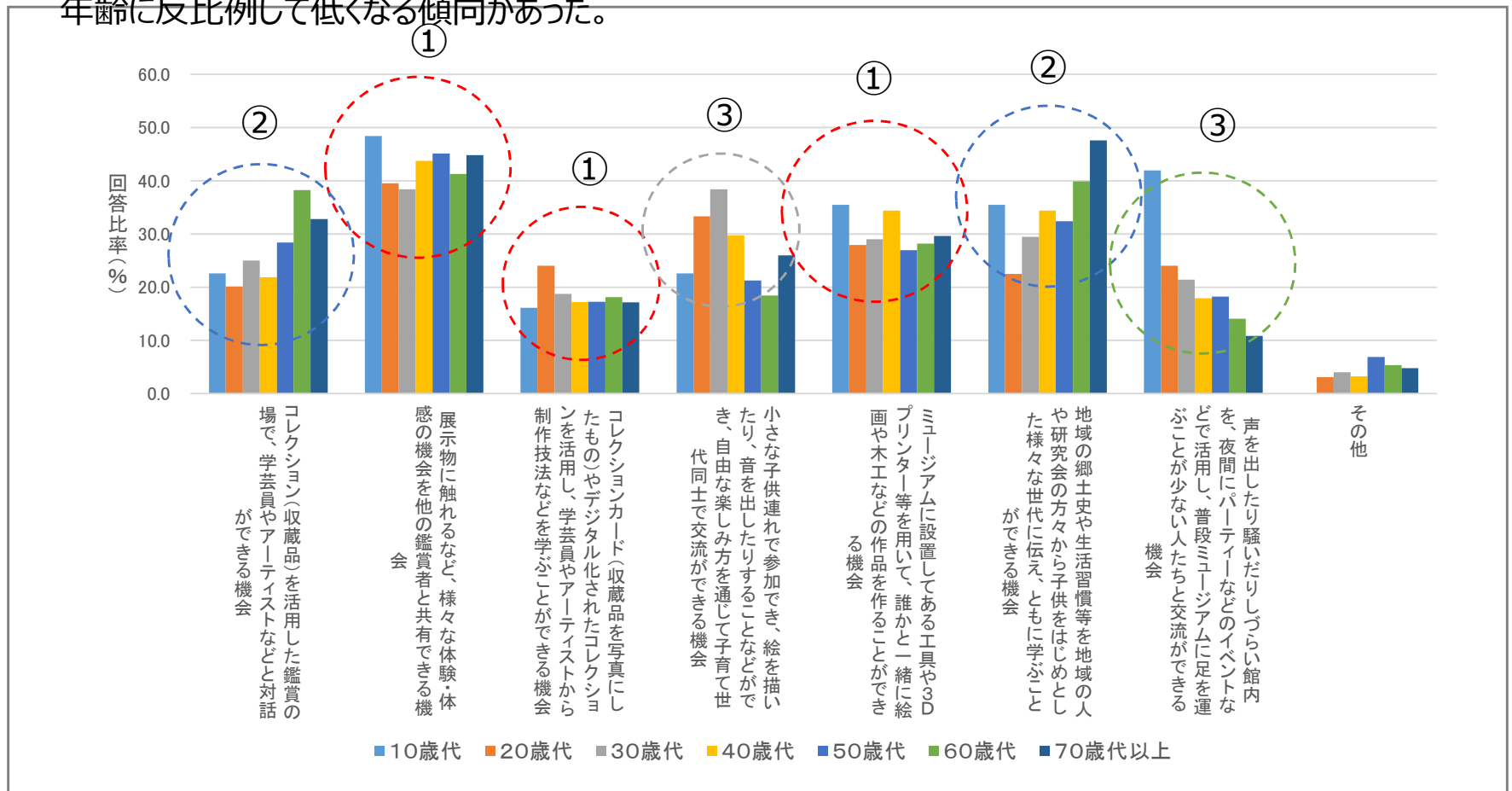
- ① 体験を共有する機会の回答比率（42.8%）で最も高く、次いで世代を超えて伝え、学ぶ機会（35.4%）
- ② 誰かと一緒に作品をつくる、学芸員やアーティストとの対話、子育て世代同士の交流が25～30%
- ③ 制作技法を学ぶ、普段ミュージアムに足を運ぶことがない人との交流は15～20%



問13 あるとよいと思う交流の機会（年齢別）

体験を共有できる機会は年齢に関わらず回答比率が高い

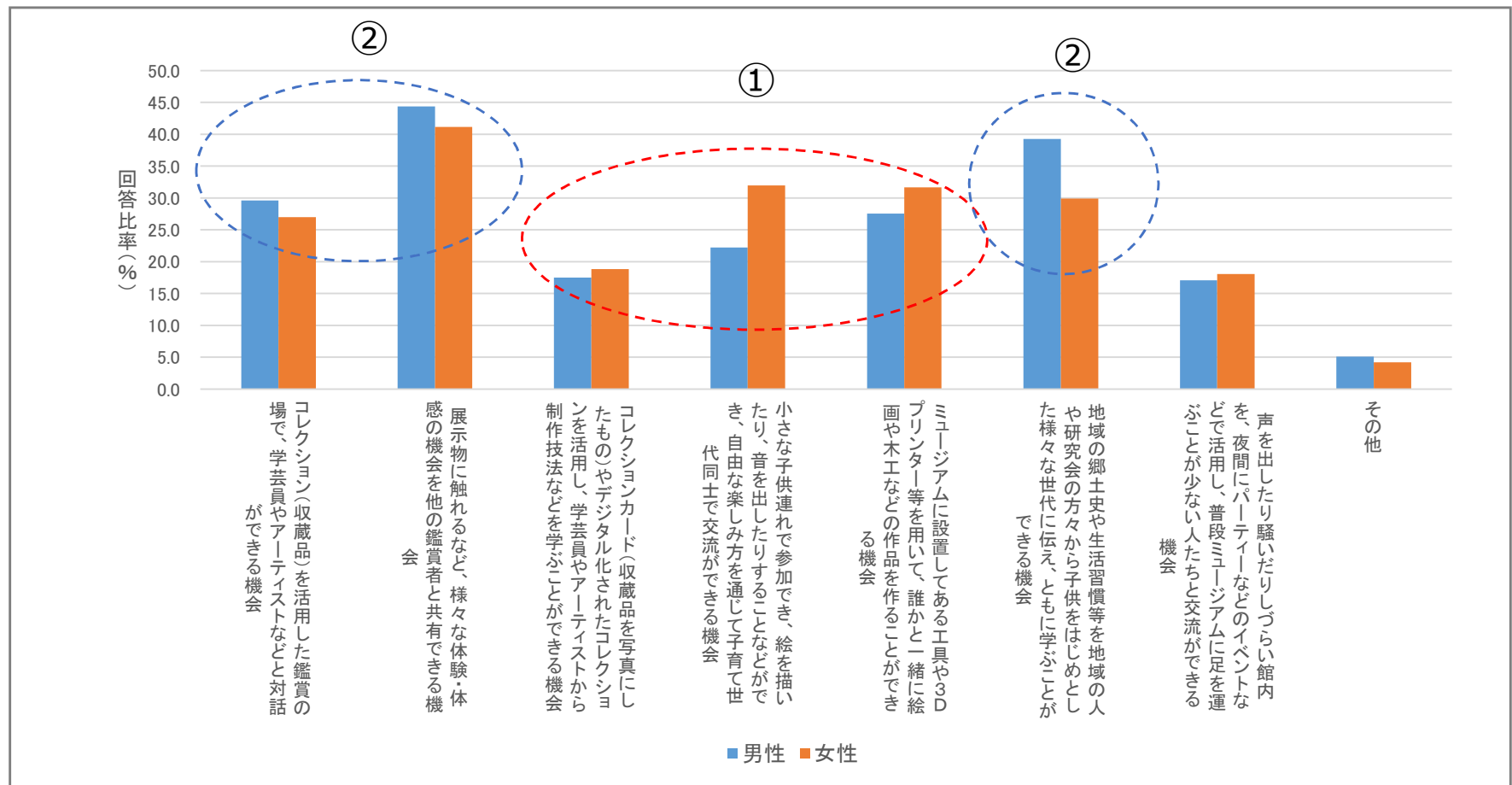
- ① 体験を共有する機会や誰かと一緒に作品をつくる、制作技法を学ぶ機会は年齢による差があまりみられない。
- ② 学芸員やアーティストとの対話、世代を超えて伝え、学ぶ機会は、年齢に比例して回答比率も高くなる傾向があった。
- ③ 子育て世代同士の交流や普段ミュージアムに足を運ぶことがない人との交流の回答比率は、年齢に反比例して低くなる傾向があった。



問13 あるとよいと思う交流の機会（男女別）

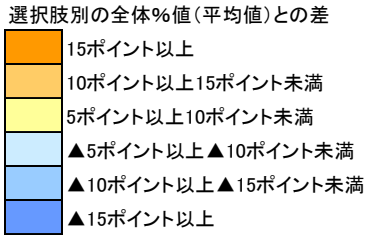
女性は子育て世代同士の交流や制作体験、 男性は体験の共有や世代を超えた交流の回答比率が高い

- ① 女性は子育て世代同士の交流や誰かと一緒に作品をつくる、制作技法を学ぶ機会が男性に比べて高い。
- ② 男性は体験の共有や世代を超えて伝え、学ぶ機会、学芸員やアーティストとの対話の機会が女性に比べて高い。



問13 あるとよと思う交流の機会（男女別）

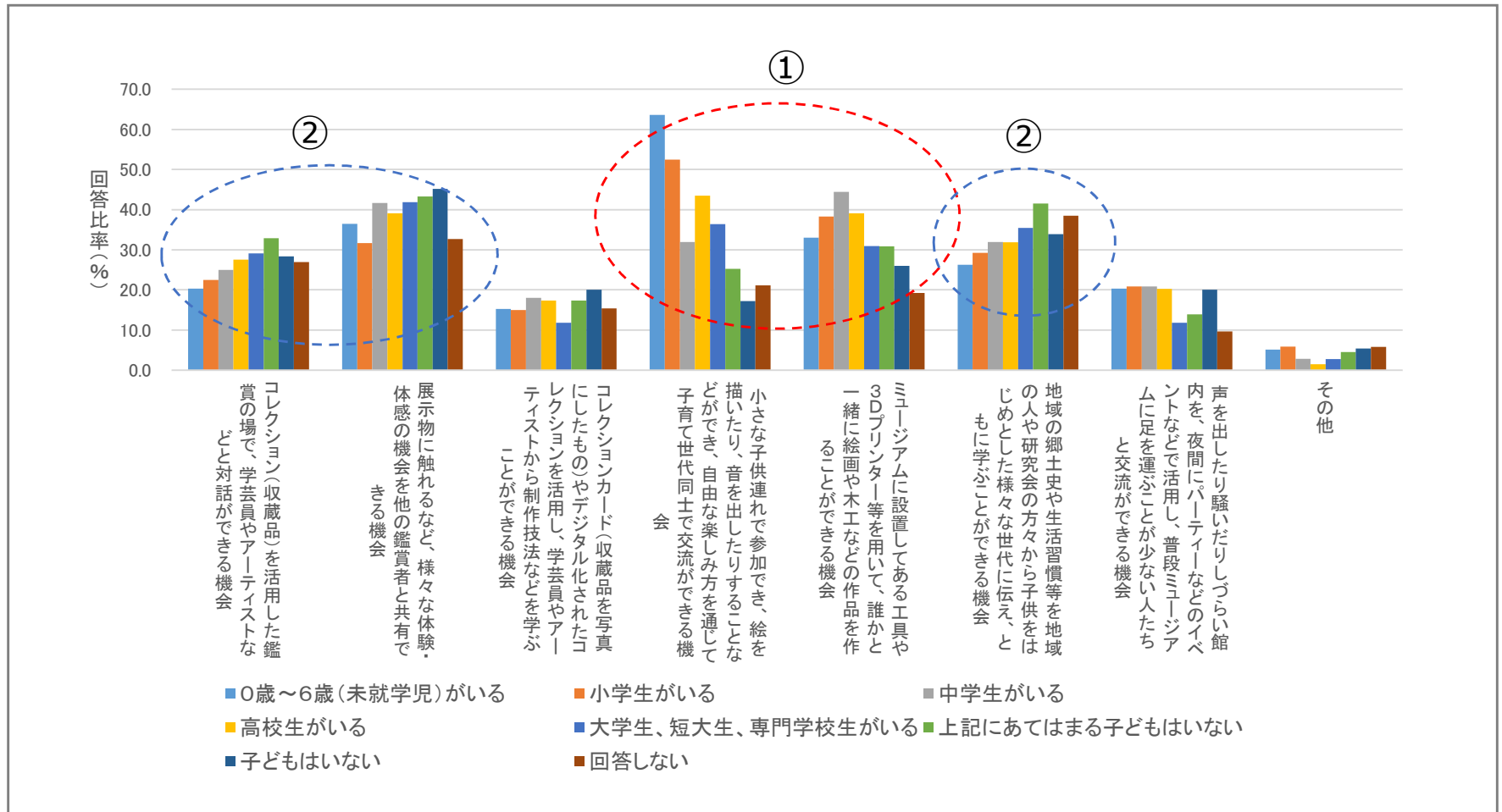
		該当数	回答	コレクション（収蔵品）を活用した鑑賞の場や、学芸員やアーティストなどとの対話ができる機会	展示物に触れる機会や、体験できる機会	コレクションカード（収蔵品）やデジタル化されたコレクションの活用、学芸員などから制作技法などを学ぶ機会	コレクションカード（収蔵品）やデジタル化されたコレクションの活用、学芸員などから制作技法などを学ぶ機会	子どもや子育て世代同士で交流が通じやすい環境づくり	描いたり音を出したりする機会	小さな子供連れで参加できる絵画や木工などの作品制作の機会	ミュージアムに設置してある工作道具	地域の郷土史や生活習慣等を地域の人や研究会の方から子供と一緒に行うことができる機会	地域の郷土史や生活習慣等を地域の人や研究会の方から子供と一緒に行うことができる機会	声を出したり騒いだりしないように、夜間や週末などに活用し、普段の交流が少ない人	その他
全体		1635	N	466	700	296	429	480	578	288	79				
			%	28.5	42.8	18.1	26.2	29.4	35.4	17.6	4.8				
2 Q	男性	935	N	277	415	164	208	258	367	160	48				
			%	29.6	44.4	17.5	22.2	27.6	39.3	17.1	5.1				
	女性	685	N	185	282	129	219	217	205	124	29				
			%	27.0	41.2	18.8	32.0	31.7	29.9	18.1	4.2				
	その他	2	N	0	1	0	1	1	0	1	0	0			
			%	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0		
回答しない	13	N	4	2	3	1	4	6	3	2					
		%	30.8	15.4	23.1	7.7	30.8	46.2	23.1	15.4					



問13 あるとよいと思う交流の機会（子どもの有無別）

子どもの有無や子どもの年齢により回答傾向に違いが見られる

- ① 子どものいる人は、子育て世代同士の交流や誰かと一緒に作品をつくる機会の回答比率が高い。
- ② 学芸員やアーティストとの対話、体験の共有、世代を超えて伝え学ぶ機会は、子どもの年齢が高いまたは子どものいない人の回答比率が高い。



問13 あるとよと思う交流の機会（子どもの有無別）

	該当数	回答	コレクショントなどとの対話ができる機会	展示物に触れるなどの鑑賞者としての機会	アートコレクションやワークショップなどから活用し、学芸員などと	真にコレクションやデジタルアート制作、学芸員	コレクショントなどから活用し、学芸員	描いたり音を出したりする機会	小さな子供連れで参加できる、絵	かやミを3Dプリンタで設置してある作品	地域の人や郷土史や生活習慣等を地域	地域の郷土史や生活習慣等を地域	声を出したり騒いだりしない	内を夜間に活用し、普段のユ	ベントなどで行うことが少ない	交流が運ぶことができる機会	その他	
			N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
全体	1635		466	28.5	700	42.8	296	18.1	429	26.2	480	29.4	578	35.4	288	17.6	79	4.8
4 Q	0歳～6歳(未就学児)がいる	N	24	43	18	75	39	31	24	6								
		%	20.3	36.4	15.3	63.6	33.1	26.3	20.3	5.1								
	小学生がいる	N	27	38	18	63	46	35	25	7								
		%	22.5	31.7	15.0	52.5	38.3	29.2	20.8	5.8								
	中学生がいる	N	18	30	13	23	32	23	15	2								
		%	25.0	41.7	18.1	31.9	44.4	31.9	20.8	2.8								
	高校生がいる	N	19	27	12	30	27	22	14	1								
		%	27.5	39.1	17.4	43.5	39.1	31.9	20.3	1.4								
	大学生、短大生、専門学校生がいる	N	32	46	13	40	34	39	13	3								
		%	29.1	41.8	11.8	36.4	30.9	35.5	11.8	2.7								
	上記にあてはまる子どもはいない	N	151	199	80	116	142	191	64	21								
		%	32.8	43.3	17.4	25.2	30.9	41.5	13.9	4.6								
	子どもはいない	N	214	341	151	130	196	256	151	41								
		%	28.3	45.2	20.0	17.2	26.0	33.9	20.0	5.4								
回答しない	N	14	17	8	11	10	20	5	3									
	%	26.9	32.7	15.4	21.2	19.2	38.5	9.6	5.8									

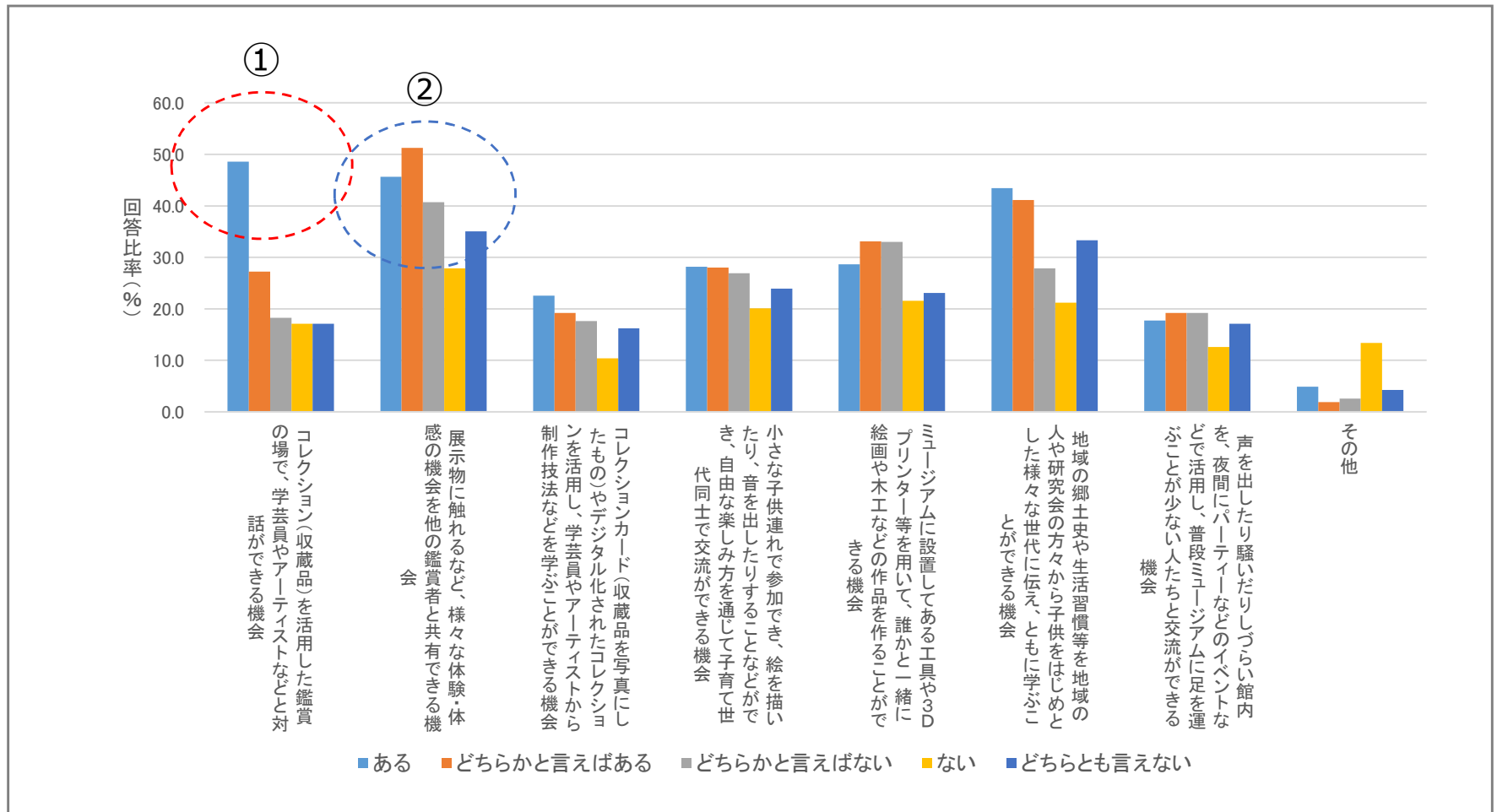
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問13 あるとよいと思う交流の機会（関心の有無別）

「体験の共有」は関心の有無による違いが小さい

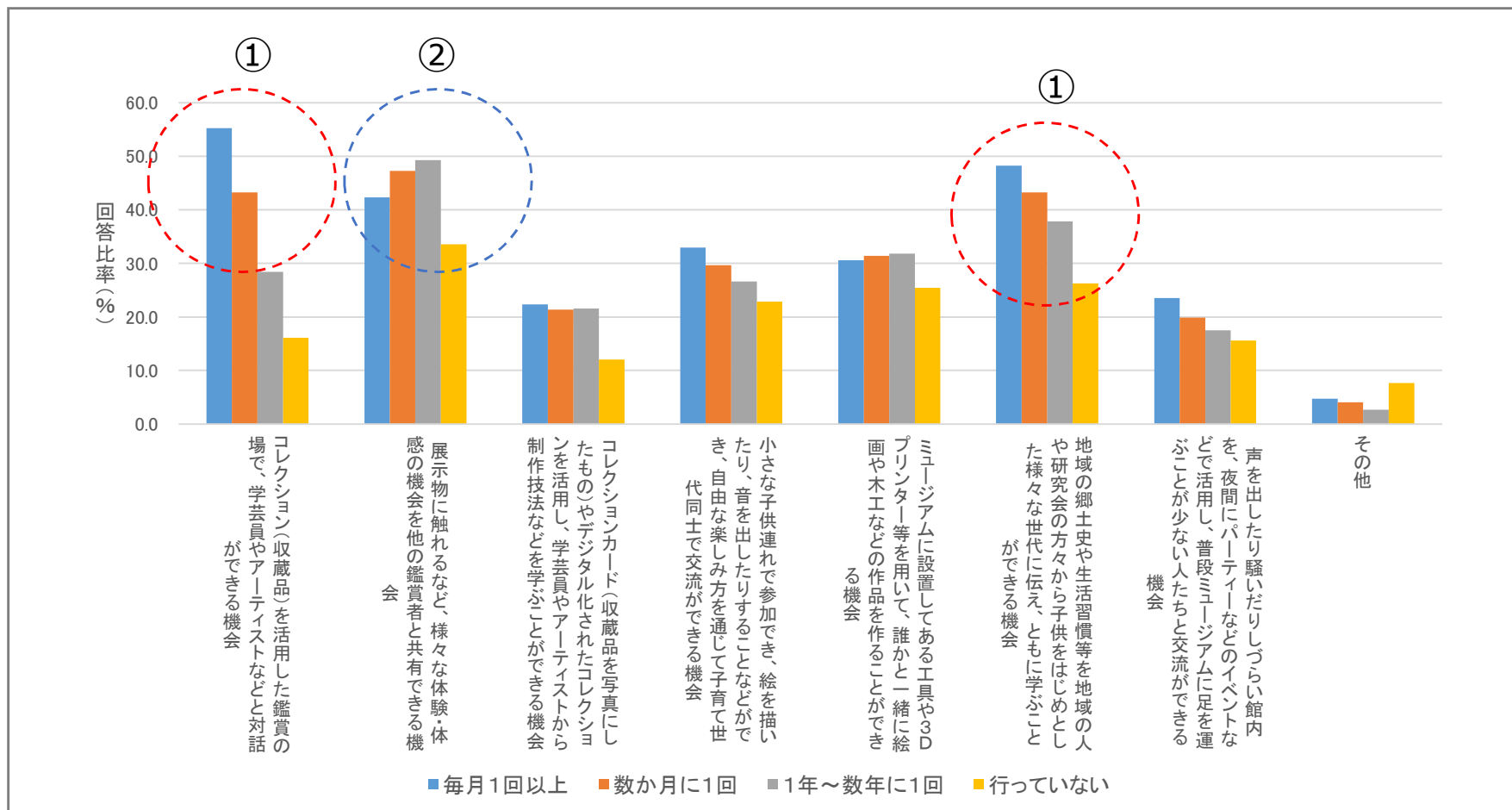
- ① 「学芸員やアーティストと対話できる機会」は、関心のある人の回答比率が突出して高い。
- ② 「体験の共有」は関心のない（どちらかと言えない）人の回答比率も高く、関心の有無による違いが小さい。



問13 あるとよいと思う交流の機会（博物館・美術館の利用頻度別）

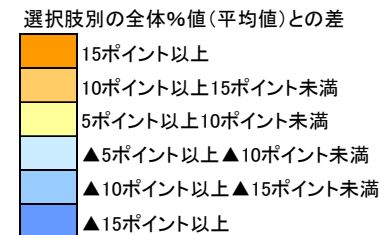
「体験の共有」は利用頻度に関わらず回答比率が高く、
「学芸員等との対話」や「ともに学ぶ」機会は利用頻度で差

- ① 学芸員やアーティストとの対話、世代を超えて伝え学ぶ機会は利用頻度の高い人ほど回答比率が高い
- ② 体験の共有は利用頻度に関わらず回答比率が高い



問13 あるとよいと思う交流の機会（博物館・美術館の利用頻度別）

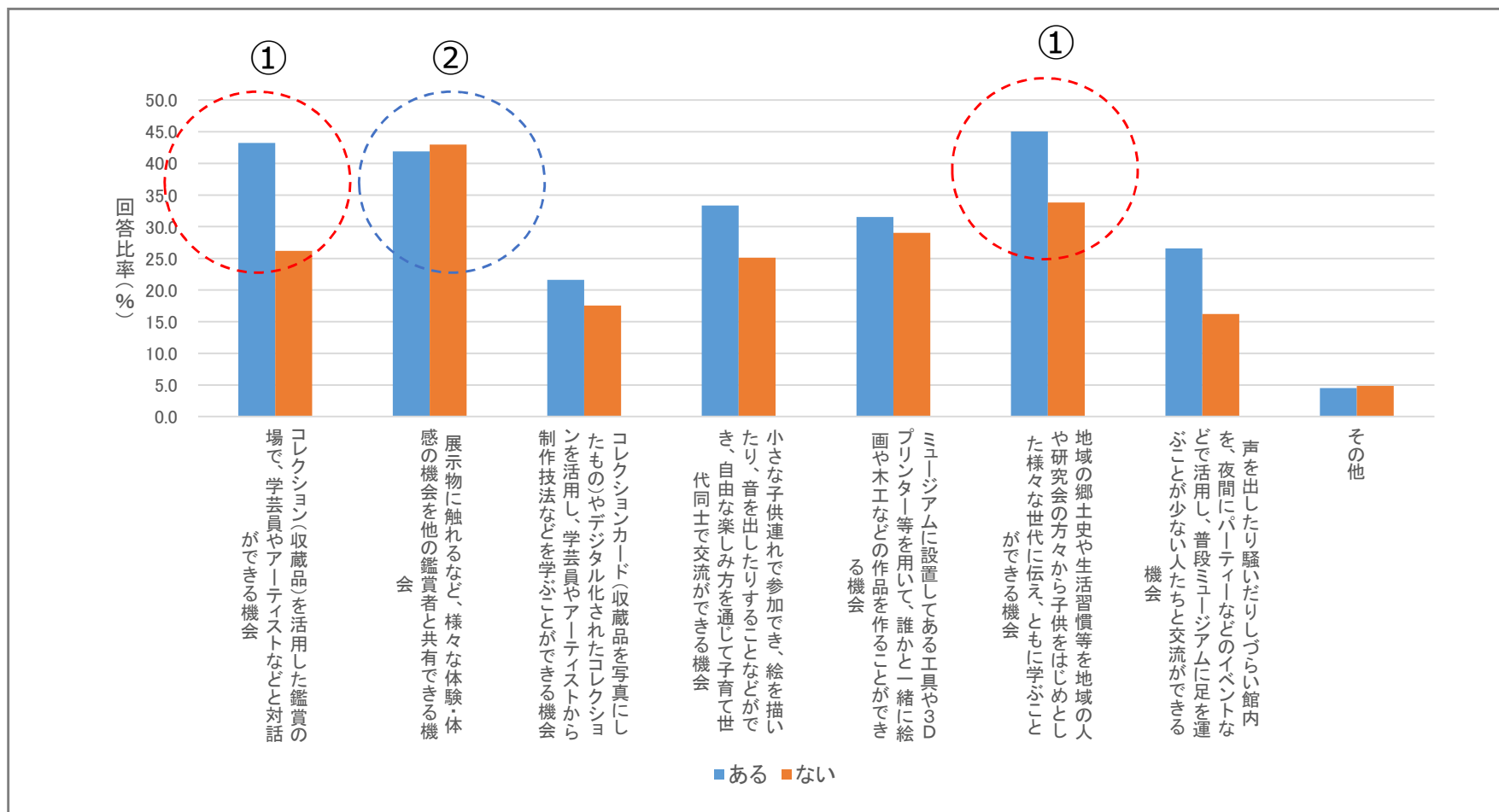
		該当数	回答	コレクション（展示品）を活用した鑑賞の場での対話ができる機会	展示物に触れる機会を他の鑑賞者と共有できる機会	アートイベントやワークショップなどから制作技術など	コレクション（展示品）やデジタル技術などを活用する機会	子ども世代同士で交流が通じやすい環境づくり	小さな子ども連れで参加できる絵画教室など	ミュージアムに設置している作品	地域の人や研究家の方から伝え、地域に貢献できる機会	声を出したり騒いだりしない館内を夜間に活用し、子どもや家族が利用できる機会	その他
全体		1635	N	466	700	296	429	480	578	288	79		
			%	28.5	42.8	18.1	26.2	29.4	35.4	17.6	4.8		
6 Q	毎月1回以上	85	N	47	36	19	28	26	41	20	4		
		%	55.3	42.4	22.4	32.9	30.6	48.2	23.5	4.7			
	数か月に1回	347	N	150	164	74	103	109	150	69	14		
		%	43.2	47.3	21.3	29.7	31.4	43.2	19.9	4.0			
	1年～数年に1回	613	N	174	302	132	163	195	232	107	16		
		%	28.4	49.3	21.5	26.6	31.8	37.8	17.5	2.6			
	行っていない	590	N	95	198	71	135	150	155	92	45		
		%	16.1	33.6	12.0	22.9	25.4	26.3	15.6	7.6			



問13 あるとよと思う交流の機会（活動の有無別）

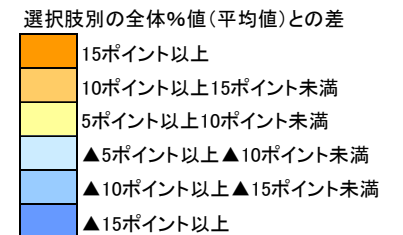
**「体験の共有」は活動の有無に関わらず回答比率が高く、
「学芸員等との対話」や「ともに学ぶ」機会は活動を行っている人が高い**

- ① 学芸員やアーティストとの対話、世代を超えて伝え学ぶ機会は活動を行っている人の回答比率が高い
- ② 体験の共有は活動の有無に関わらず回答比率が高い



問13 あるとよいと思う交流の機会（活動の有無別）

		該当数	回答	コレクション（アートなど）の場面で、学芸員やアーティストとの対話ができる機会	展示物に触れる機会を他の鑑賞者と共有できる機会	アートコレクション（アート）の活用や制作技術など	コレクション（アート）の活用や制作技術など	小さな子供連れで参加できること	描いたり音を出したりする機会	世代間交流ができること	ミュージアムに設置してある作品	地域の歴史や生活習慣等を地域の人々と共有できる機会	声を出したり騒いだりしない館内を夜間などに活用し、マイムや足運びなどができる機会	その他
全体		1635	N	466	700	296	429	480	578	288	79			
			%	28.5	42.8	18.1	26.2	29.4	35.4	17.6	4.8			
7 Q	ある	222	N	96	93	48	74	70	100	59	10			
			%	43.2	41.9	21.6	33.3	31.5	45.0	26.6	4.5			
	ない	1413	N	370	607	248	355	410	478	229	69			
			%	26.2	43.0	17.6	25.1	29.0	33.8	16.2	4.9			



問13 あるとよいと思う交流の機会（その他自由回答一覧）

問13 「新たなミュージアム」には、どのような交流の機会があるとよいと思いますか？

- とくになし（30件）
- 不要、必要ない（8件）
- わからない（7件）
- 興味ない（6件）
- 無駄な時間
- 普段でも多少うるさくしたり動き回っても大丈夫な日や時間があるといい。
- 昼夜関わらず、歌、器楽演奏が出来る機会
- 地域の他文化施設と連動したイベント
- 選択肢の内容に幅がなく誘導的に感じる
- 川崎市の様々な分野で活躍する人をアートと結びつけるイベント
- 川崎は、工業都市だけでなく、歴史的には「面白い街であることをPRする機能
- 新たな、よりも、まず、川崎の歴史と文化を集約し、展示する基本的なことをしっかりと予算をかけてやるべき
- 収蔵品の展示（配置や組み合わせ）を一般の人と一緒に考える機会を設ける。
- 資料の内容等を要約して教えてもらえる
- 子連れは参加できない機会
- 行かない
- 交流は無くても良いが、大人と子供の棲み分けして欲しい
- 交流は結構だが美術館というのだから交流が主目的にならないようにお願いしたい
- 交流したくない
- 個展などのイベント
- 活動場所が生田に固定されると開かれたミュージアムにならないのではないか。建物は研究収集保存に特化して、交流体験は大変かもしれないがアウトリーチで、を軸にしてはどうか。
- 一人でゆっくり見られる空間
- ミュージアムは不要。経費を削減すべき。
- ヒューマンライブラリー
- ひとりでゆっくり楽しめること。
- どれも良い
- ケーブルテレビのテレビ番組やコミュニティFMのラジオ番組を市民が制作するプログラム
- オンラインで作品を鑑賞し、学芸員や研究者、アーティストと交流できる機会

活動に力を入れるべき対象年齢層

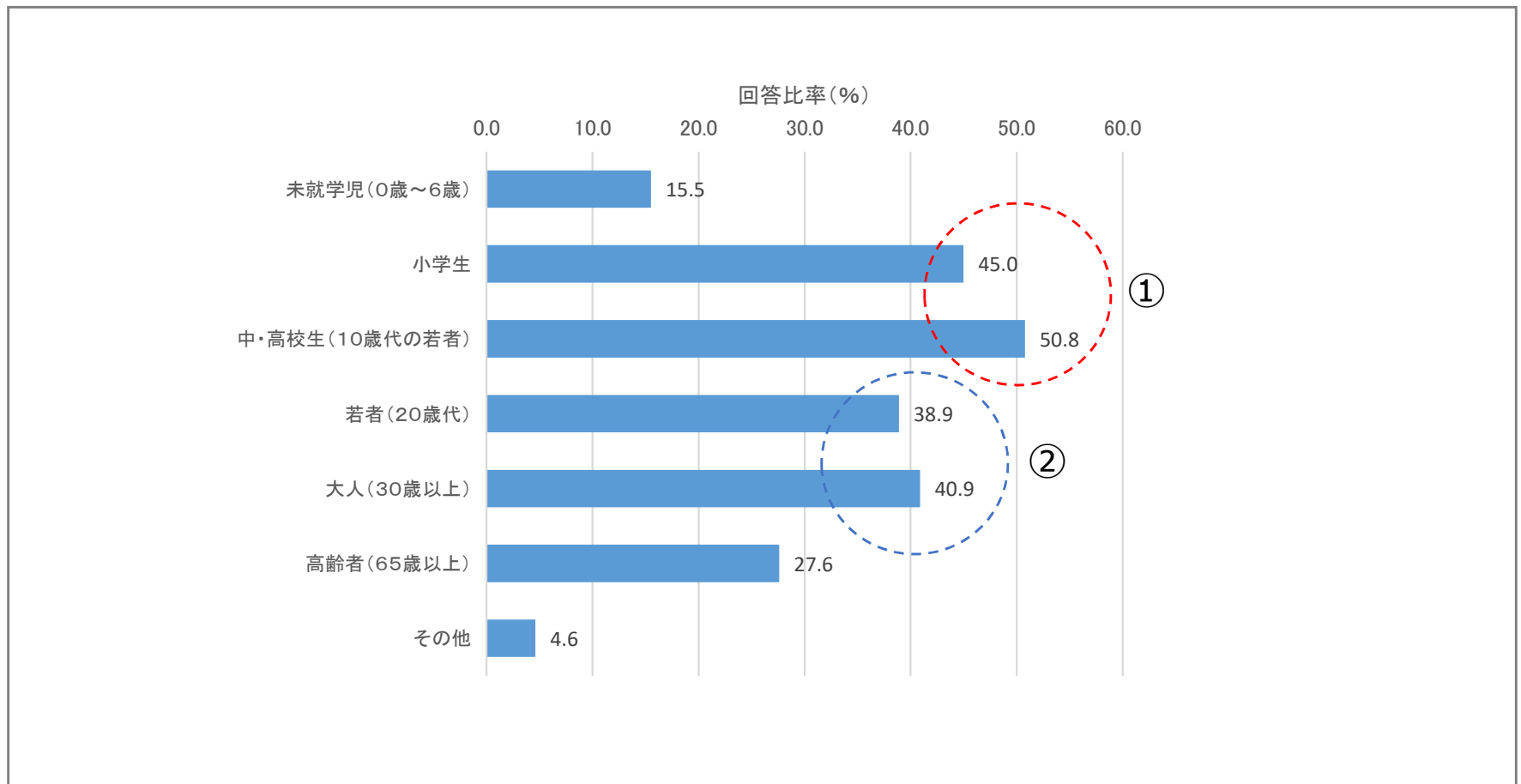
問14

「新たなミュージアム」では、どのような年齢層を対象とした活動に力を入れて取り組むべきだと思いますか？（M A）

問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（全体）

「中高生」が最も回答比率が高く、次いで「小学生」 「若者」や「大人」も比較的高い

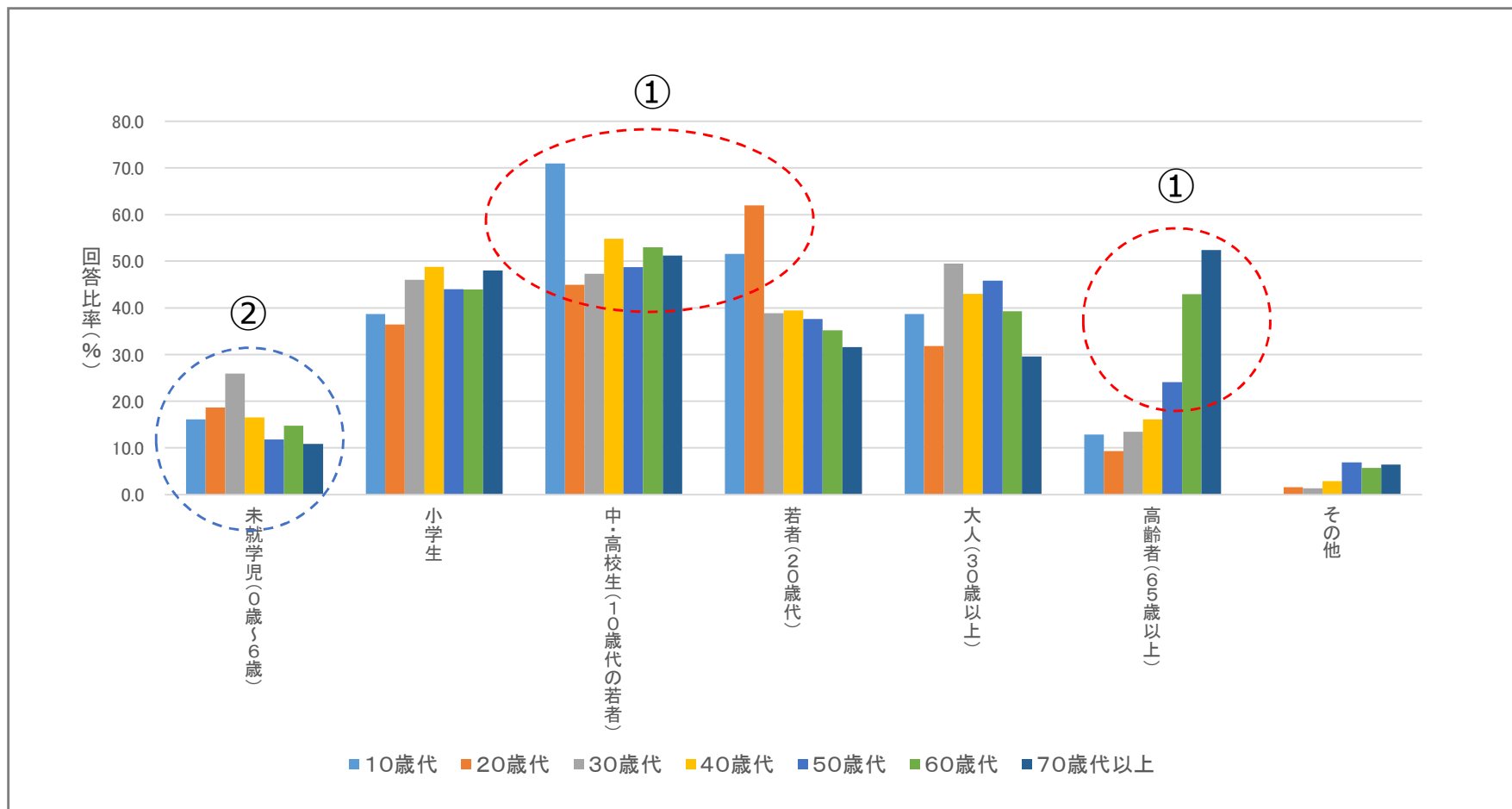
- ① 「中高生」が最も高く50.8%、次いで「小学生」で45.0%となっている。
- ② 「大人」40.9%、「若者」38.9%となっており、「未就学児」や「高齢者」に比べて回答比率が高い。



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（年齢別）

回答者自身の年齢と力を入れるべき対象年齢層が近い傾向

- ① 10歳代は中高生、20歳代は若者、60歳代以上は高齢者と、回答者自身の年齢と選択肢が同じ傾向がみられる。
- ② 未就学児では30歳代の回答比率が高く、子育て世代の年齢と連動している。



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（年齢別）

		該当数	回答	未就学児（0歳～6歳）	小学生	中・高校生（10歳代の若者）	若者（20歳代）	大人（30歳以上）	高齢者（65歳以上）	その他
全体		1635	N	254	736	831	636	669	452	75
			%	15.5	45.0	50.8	38.9	40.9	27.6	4.6
1 Q	10歳未満	1	N	0	1	0	0	0	0	0
			%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10歳代	31	N	5	12	22	16	12	4	0
			%	16.1	38.7	71.0	51.6	38.7	12.9	0.0
	20歳代	129	N	24	47	58	80	41	12	2
			%	18.6	36.4	45.0	62.0	31.8	9.3	1.6
	30歳代	224	N	58	103	106	87	111	30	3
			%	25.9	46.0	47.3	38.8	49.6	13.4	1.3
	40歳代	279	N	46	136	153	110	120	45	8
			%	16.5	48.7	54.8	39.4	43.0	16.1	2.9
	50歳代	423	N	50	186	206	159	194	102	29
			%	11.8	44.0	48.7	37.6	45.9	24.1	6.9
	60歳代	298	N	44	131	158	105	117	128	17
			%	14.8	44.0	53.0	35.2	39.3	43.0	5.7
70歳代以上	250	N	27	120	128	79	74	131	16	
		%	10.8	48.0	51.2	31.6	29.6	52.4	6.4	

選択肢別の全体%値(平均値)との差

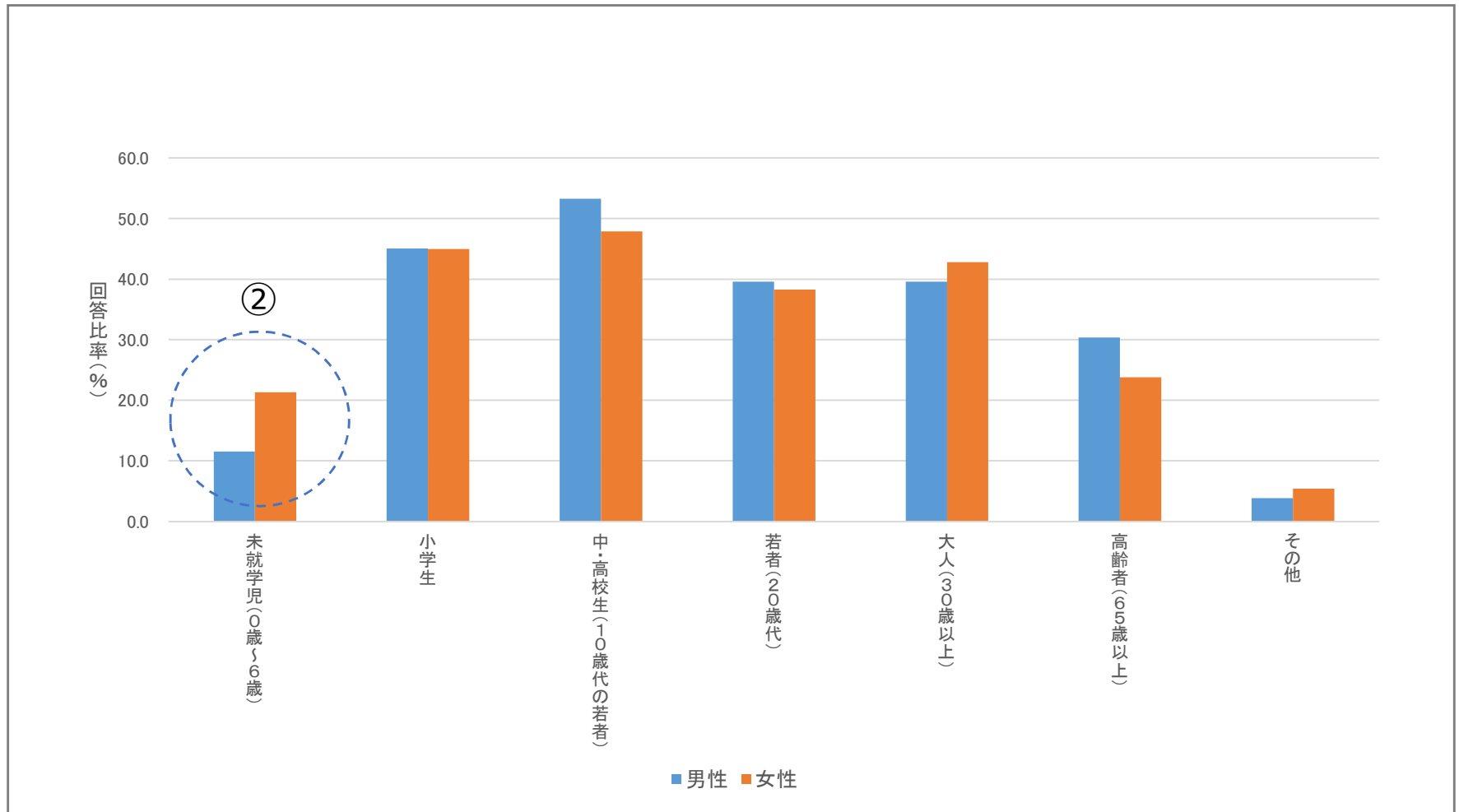
- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（男女別）

男女で回答比率に大きな違いはないが、女性は未就学児の回答比率が高い

- ① 男女で回答比率の順位等に大きな差はみられない。
- ② 未就学児で女性の回答比率が高い。



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（男女別）

		該当数	回答	未就学児（0歳～6歳）	小学生	中・高校生（10歳代の若者）	若者（20歳代）	大人（30歳以上）	高齢者（65歳以上）	その他
全体		1635	N	254	736	831	636	669	452	75
			%	15.5	45.0	50.8	38.9	40.9	27.6	4.6
2 Q	男性	935	N	108	421	498	370	370	284	36
			%	11.6	45.0	53.3	39.6	39.6	30.4	3.9
	女性	685	N	146	308	328	262	293	163	37
			%	21.3	45.0	47.9	38.2	42.8	23.8	5.4
	その他	2	N	0	1	1	1	1	0	0
			%	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	回答しない	13	N	0	6	4	3	5	5	2
			%	0.0	46.2	30.8	23.1	38.5	38.5	15.4

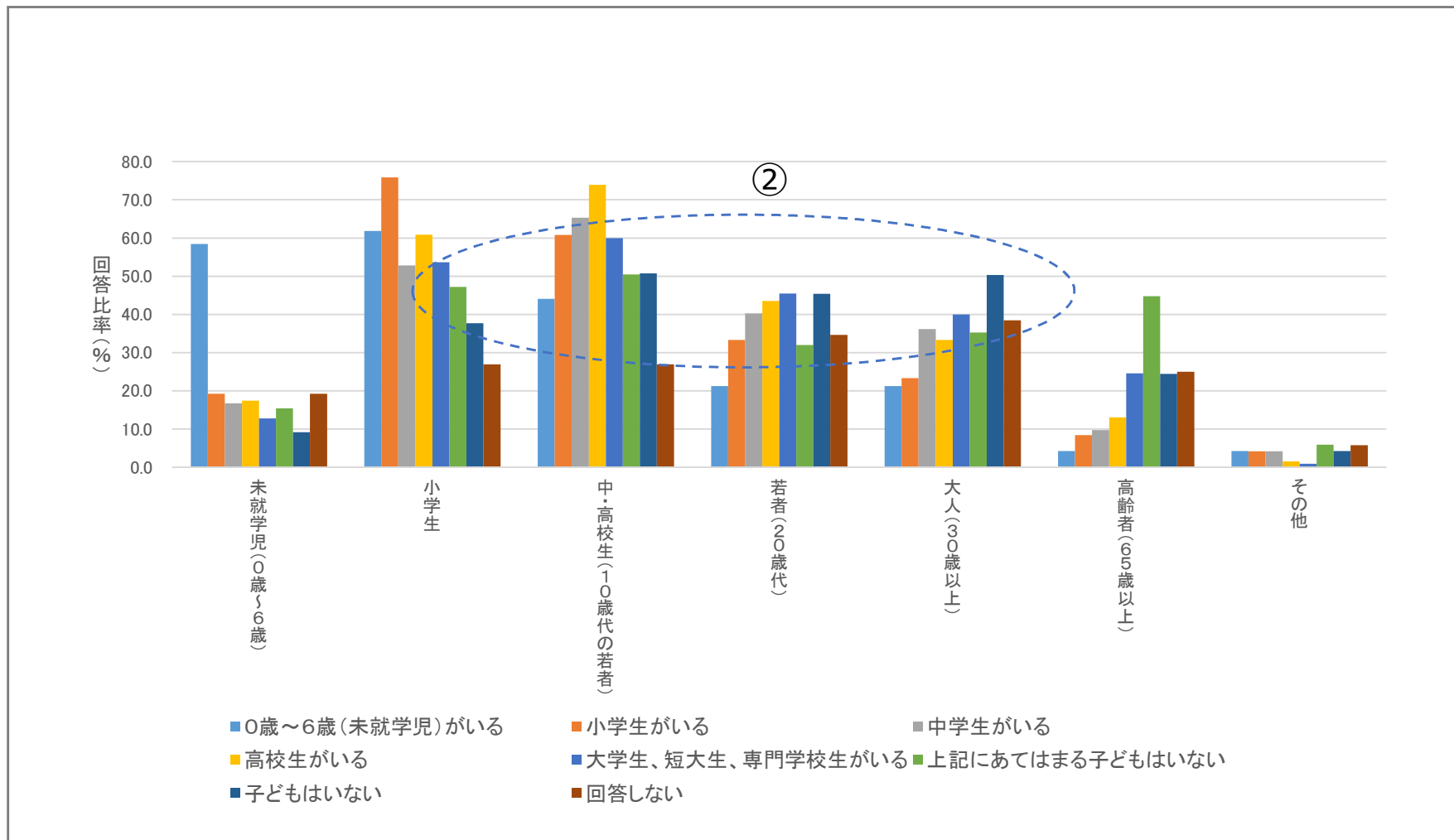
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（子どもの有無別）

回答者の子どもの年齢と近い年齢層を回答する傾向

- ① 回答比率が回答者の子どもの年齢と連動している傾向がみられる。
- ② 子どもがいない人は「大人」の回答比率が高いものの、「小学生」や「中高生」も高い。



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（子どもの有無別）

		該当数	回答	未就学児 (0歳～6歳)	小学生	中・高校生 (10歳代の若者)	若者 (20歳代)	大人 (30歳以上)	高齢者 (65歳以上)	その他
全体		1635	N	254	736	831	636	669	452	75
			%	15.5	45.0	50.8	38.9	40.9	27.6	4.6
4 Q	0歳～6歳(未就学児)がいる	118	N	69	73	52	25	25	5	5
			%	58.5	61.9	44.1	21.2	21.2	4.2	4.2
	小学生がいる	120	N	23	91	73	40	28	10	5
			%	19.2	75.8	60.8	33.3	23.3	8.3	4.2
	中学生がいる	72	N	12	38	47	29	26	7	3
			%	16.7	52.8	65.3	40.3	36.1	9.7	4.2
	高校生がいる	69	N	12	42	51	30	23	9	1
			%	17.4	60.9	73.9	43.5	33.3	13.0	1.4
	大学生、短大生、専門学校生がいる	110	N	14	59	66	50	44	27	1
			%	12.7	53.6	60.0	45.5	40.0	24.5	0.9
	上記にあてはまる子どもはいない	460	N	71	217	232	147	162	206	27
			%	15.4	47.2	50.4	32.0	35.2	44.8	5.9
	子どもはいない	755	N	69	284	383	343	380	184	32
			%	9.1	37.6	50.7	45.4	50.3	24.4	4.2
回答しない	52	N	10	14	14	18	20	13	3	
		%	19.2	26.9	26.9	34.6	38.5	25.0	5.8	

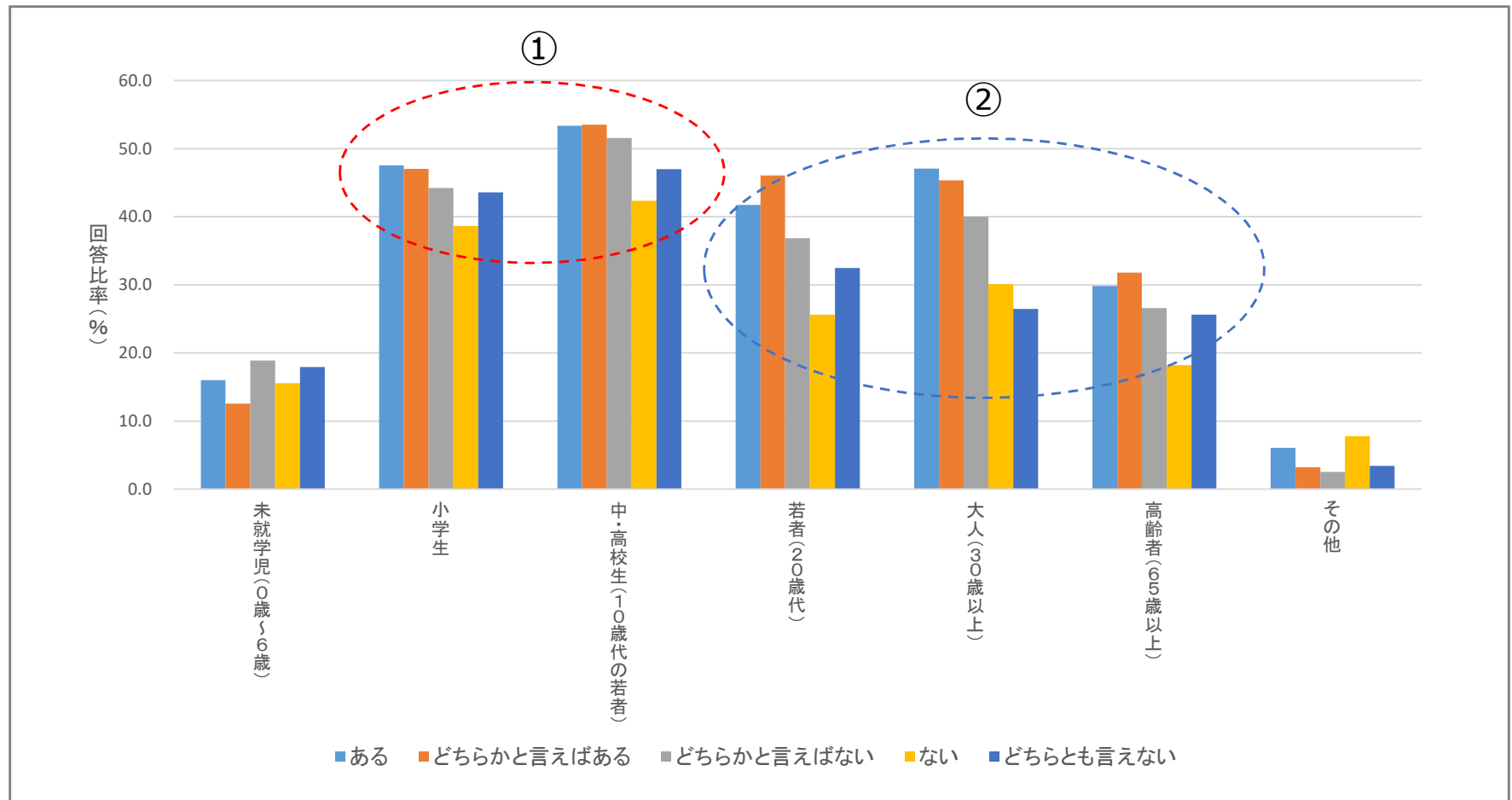
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（関心の有無別）

「小学生」「中高生」は回答者の関心の有無に関わらず高い、「若者」以上の年齢層は関心のある人ほど高い

- ① 「小学生」「中高生」は関心の有無に関わらず回答比率が高い
- ② 「若者」「大人」「高齢者」は関心のある人ほど回答比率が高い



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（関心の有無別）

		該当数	回答	未就学児（0歳～6歳）	小学生	中・高校生（10歳代の若者）	若者（20歳代）	大人（30歳以上）	高齢者（65歳以上）	その他
全体		1635	N	254	736	831	636	669	452	75
			%	15.5	45.0	50.8	38.9	40.9	27.6	4.6
5 Q	ある	412	N	66	196	220	172	194	123	25
			%	16.0	47.6	53.4	41.7	47.1	29.9	6.1
	どちらかと言えばある	525	N	66	247	281	242	238	167	17
			%	12.6	47.0	53.5	46.1	45.3	31.8	3.2
	どちらかと言えない	312	N	59	138	161	115	125	83	8
			%	18.9	44.2	51.6	36.9	40.1	26.6	2.6
	ない	269	N	42	104	114	69	81	49	21
			%	15.6	38.7	42.4	25.7	30.1	18.2	7.8
	どちらとも言えない	117	N	21	51	55	38	31	30	4
			%	17.9	43.6	47.0	32.5	26.5	25.6	3.4

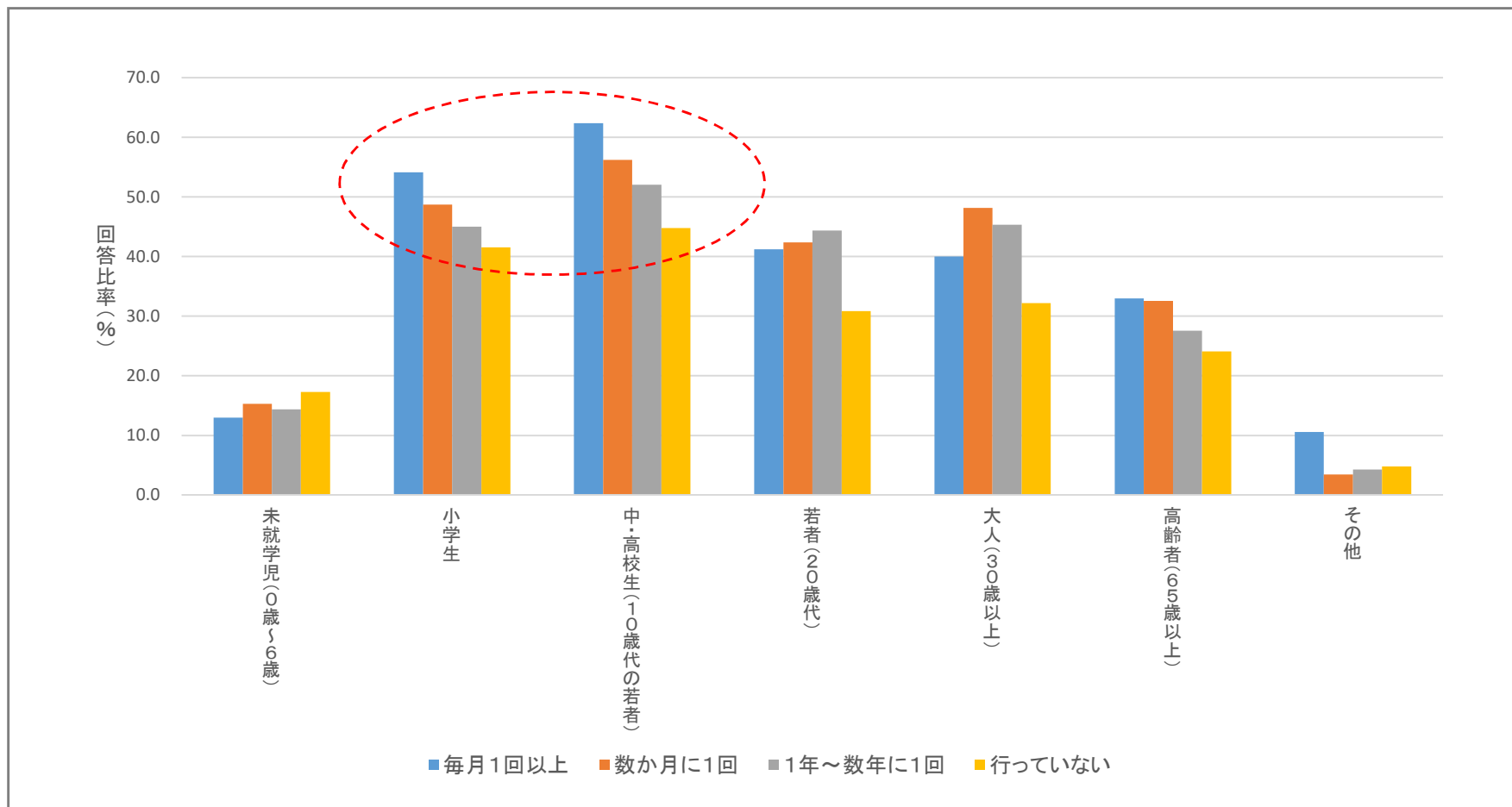
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（博物館・美術館の利用頻度別）

利用頻度の高い人ほど「小学生」「中高生」の回答比率が高い

「小学生」「中高生」は利用頻度の高い人ほど回答比率が高い傾向にある。



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（博物館・美術館の利用頻度別）

		該当数	回答	未就学児（0歳～6歳）	小学生	中・高校生（10歳代の若者）	若者（20歳代）	大人（30歳以上）	高齢者（65歳以上）	その他
全体		1635	N	254	736	831	636	669	452	75
			%	15.5	45.0	50.8	38.9	40.9	27.6	4.6
6 Q	毎月1回以上	85	N	11	46	53	35	34	28	9
			%	12.9	54.1	62.4	41.2	40.0	32.9	10.6
	数か月に1回	347	N	53	169	195	147	167	113	12
			%	15.3	48.7	56.2	42.4	48.1	32.6	3.5
	1年～数年に1回	613	N	88	276	319	272	278	169	26
			%	14.4	45.0	52.0	44.4	45.4	27.6	4.2
	行っていない	590	N	102	245	264	182	190	142	28
			%	17.3	41.5	44.7	30.8	32.2	24.1	4.7

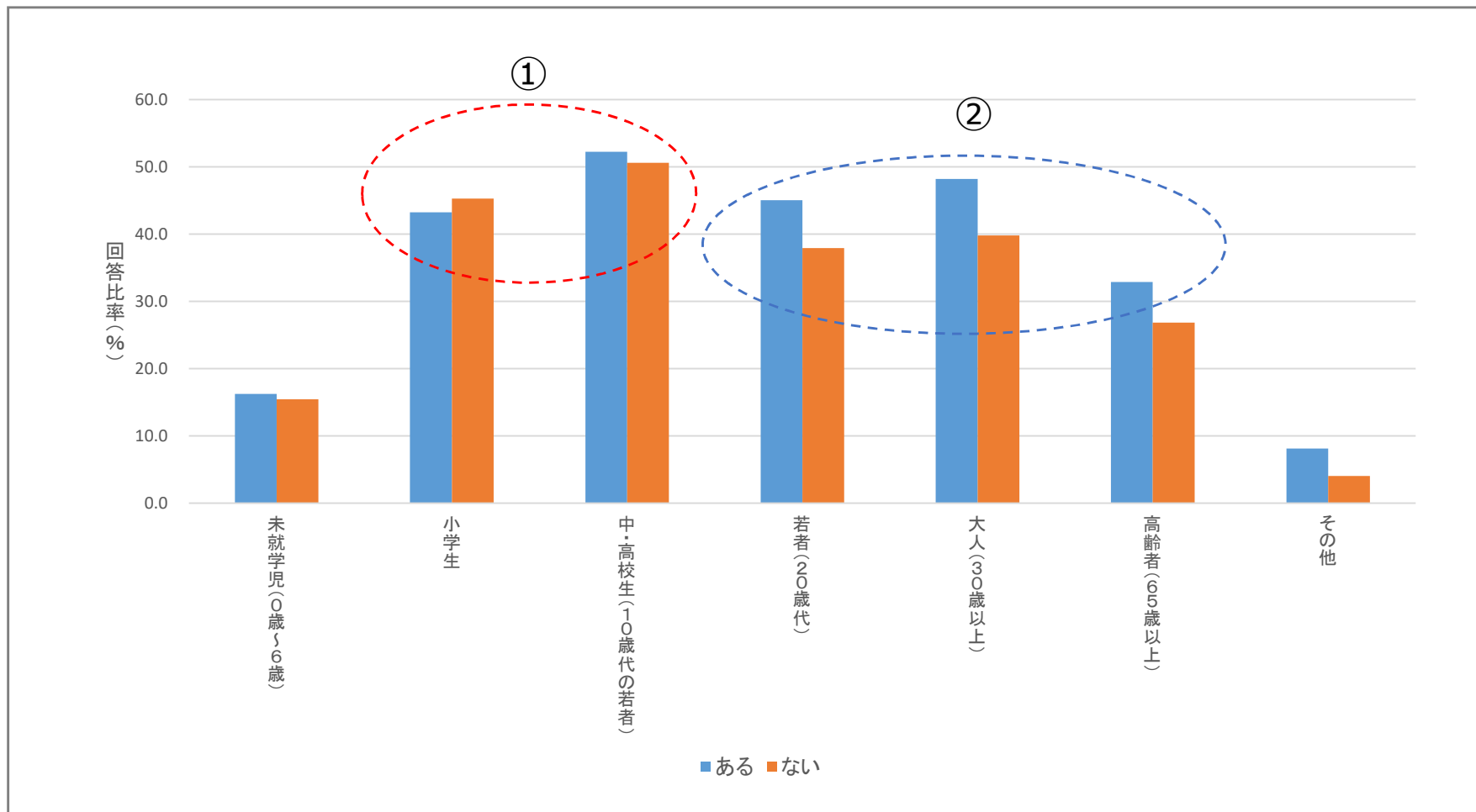
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（活動の有無別）

「小学生」「中高生」は活動の有無に関わらず回答比率が高い

- ① 「小学生」「中高生」は活動の有無に関わらず回答比率が高い。
- ② 「若者」以上は活動を行っている人の回答比率が高い。



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（活動の有無別）

		該当数	回答	未就学児（0歳～6歳）	小学生	中・高校生（10歳代の若者）	若者（20歳代）	大人（30歳以上）	高齢者（65歳以上）	その他
全体		1635	N	254	736	831	636	669	452	75
			%	15.5	45.0	50.8	38.9	40.9	27.6	4.6
7 Q	ある	222	N	36	96	116	100	107	73	18
			%	16.2	43.2	52.3	45.0	48.2	32.9	8.1
	ない	1413	N	218	640	715	536	562	379	57
			%	15.4	45.3	50.6	37.9	39.8	26.8	4.0

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（その他自由回答一覧）

問14 「新たなミュージアム」では、どのような年齢層を対象とした活動に力を入れて取り組むべきだと思いますか？

- 全年齢（18件）
- 特にない（9件）
- わからない（8件）
- 年齢に関係なく（7件）
- 不要、必要ない（4件）
- 年齢にはこだわらない、区切らない（4件）
- 幅広い年代、世代（2件）

- 範囲は決められない
- 年齢層無し
- 年齢層や場所の制約が少ないデジタルコンテンツの充実を希望
- 年齢制限無し
- 年少者にも開かれながらも、社会教育法第2条に照らして、青年や成人への教育活動を充実させるとよい
- 団塊のジュニア世代
- 対象者を極端に縛らず幅広い世代が来られるようなイメージをつくってほしい。子連れの溜まり場みたいになるのも嫌だし、平日日中高齢者しかいないような場になるのも違うと思う。

- 世代間交流がよいです。
- 触れ合う機会が減ってるから
- 次世代を取り込むのは当然だが、最近の若い人は我慢すれば給料が上がるわけでは無い。だから、大人世代から支援が得られるような、付加価値が必要。芸術家と語らう、とか。
- 市民ミュージアムなので各層
- 興味がない
- 何でもいい
- 引きこもりの10代～30代の人、障害者

活動や育成支援に力を入れるべき対象

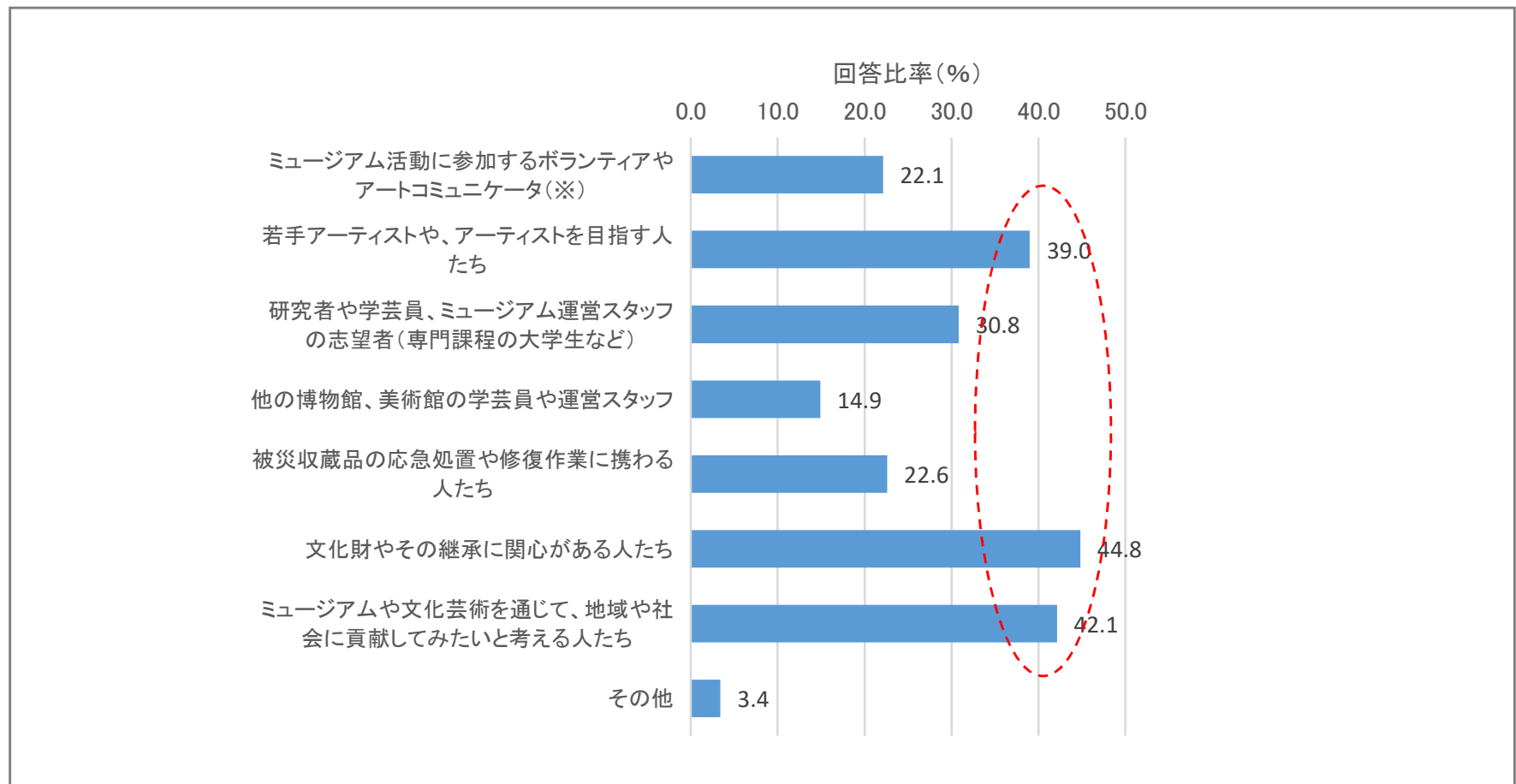
問15

「新たなミュージアム」は、どのような人たちを対象にして育成や活動支援に取り組むべきだと思いますか。（M A）

問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（全体）

意欲や関心のある市民の育成や活動支援をすべきという回答が多い

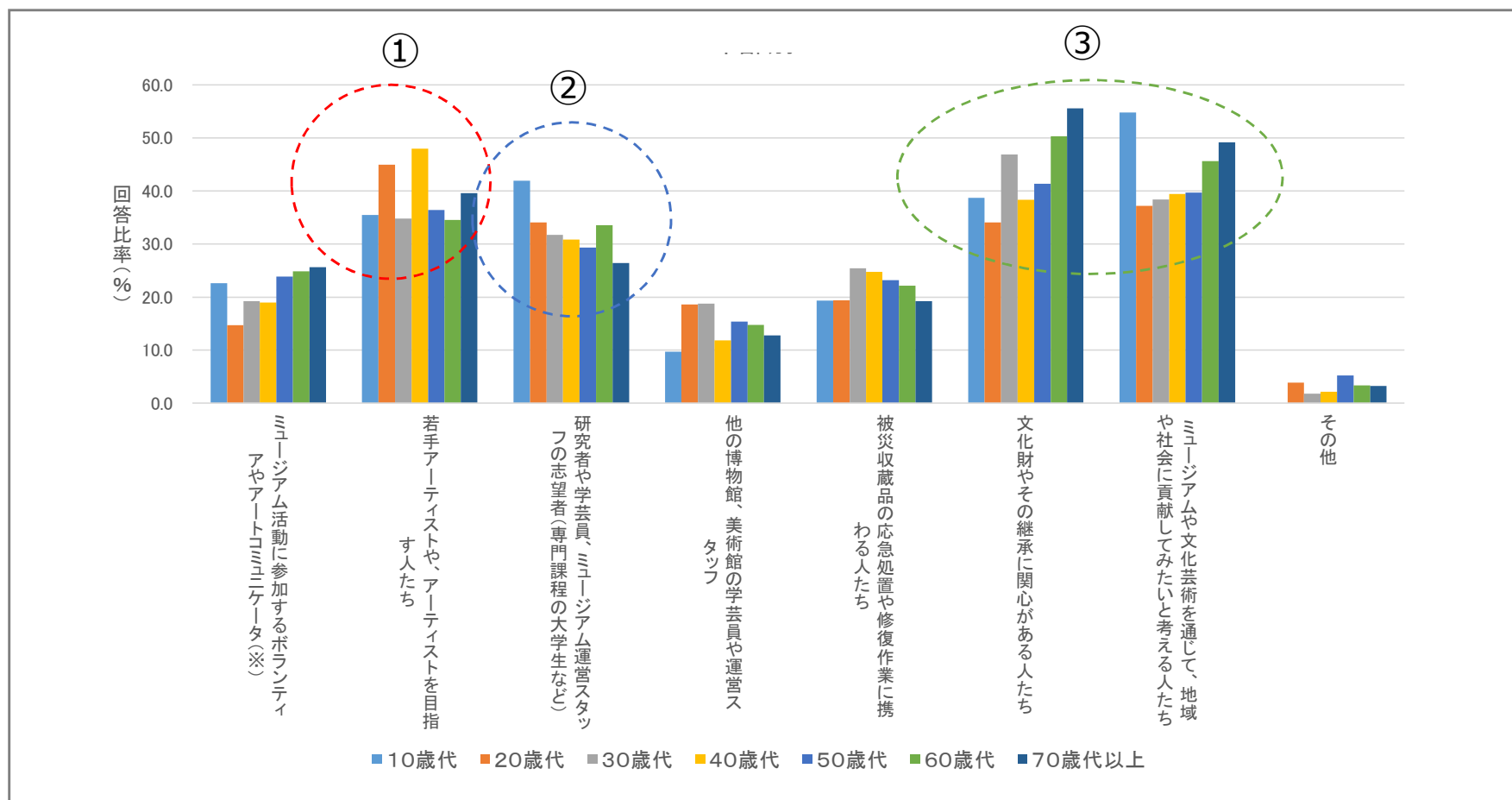
「文化財やその継承に関心がある人たち」が44.8%最も多く、次いで「地域や社会に貢献してみたいと考える人たち」42.1%、「若手アーティストやアーティストを目指す人たち」39.0%となっており、文化芸術や地域貢献に意欲や関心のある市民を対象とすべきという回答比率が高い結果となっている。



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（年齢別）

回答者の年齢により、力を入れるべきと考える対象に違い

- ① 「アーティスト」は、20歳代と40歳代で高い。
- ② 「ミュージアム関係の志望者」は、若い世代ほど高い。
- ③ 「文化財やその継承に関心がある人たち」や「地域や社会に貢献してみたいと考える人たち」は、10歳代の回答者を除き、年齢が高くなるほど回答比率が高い傾向がみられる。



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（年齢別）

		該当数	回答	ニ ケ ラ ン テ ィ ア タ （ ※ ）	ポ ミ ュ ー ジ ア ム 活 動 に 参 加 す る ア ー ト コ ミ ュ ニ テ ィ ア タ （ ※ ）	ミ ュ ー ジ ア ム 活 動 に 参 加 す る ア ー ト コ ミ ュ ニ テ ィ ア タ （ ※ ）	テ ィ ス ト を 目 指 す 人 た ち	若 手 ア ー テ ィ ス ト を 目 指 す 人 た ち	門 運 営 者 や 学 芸 員 、 ミ ュ ー ジ ア ム 活 動 の 大 学 生 な ど （ 専 門 課 程 の 大 学 生 な ど ）	研 究 者 や 学 芸 員 、 ミ ュ ー ジ ア ム 活 動 の 大 学 生 な ど （ 専 門 課 程 の 大 学 生 な ど ）	他 の 博 物 館 、 美 術 館 の 学 芸 員 や 運 営 ス タ フ	被 災 収 蔵 品 の 応 急 処 置 や 修 復 に 携 わ る 人 た ち	文 化 財 や そ の 継 承 に 関 心 が あ る 人 た ち	ミ ュ ー ジ ア ム や 文 化 芸 術 を 通 じ て 、 地 域 や 社 会 に 貢 献 し て い と 考 え る 人 た ち	そ の 他		
全体		1635	N	361	637	504	243	369	733	688	55						
			%	22.1	39.0	30.8	14.9	22.6	44.8	42.1	3.4						
1 Q	10歳未満	1	N	0	0	0	0	0	1	0	0						
			%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0					
	10歳代	31	N	7	11	13	3	6	12	17	0						
			%	22.6	35.5	41.9	9.7	19.4	38.7	54.8	0.0						
	20歳代	129	N	19	58	44	24	25	44	48	5						
			%	14.7	45.0	34.1	18.6	19.4	34.1	37.2	3.9						
	30歳代	224	N	43	78	71	42	57	105	86	4						
			%	19.2	34.8	31.7	18.8	25.4	46.9	38.4	1.8						
	40歳代	279	N	53	134	86	33	69	107	110	6						
			%	19.0	48.0	30.8	11.8	24.7	38.4	39.4	2.2						
	50歳代	423	N	101	154	124	65	98	175	168	22						
			%	23.9	36.4	29.3	15.4	23.2	41.4	39.7	5.2						
	60歳代	298	N	74	103	100	44	66	150	136	10						
			%	24.8	34.6	33.6	14.8	22.1	50.3	45.6	3.4						
	70歳代以上	250	N	64	99	66	32	48	139	123	8						
			%	25.6	39.6	26.4	12.8	19.2	55.6	49.2	3.2						

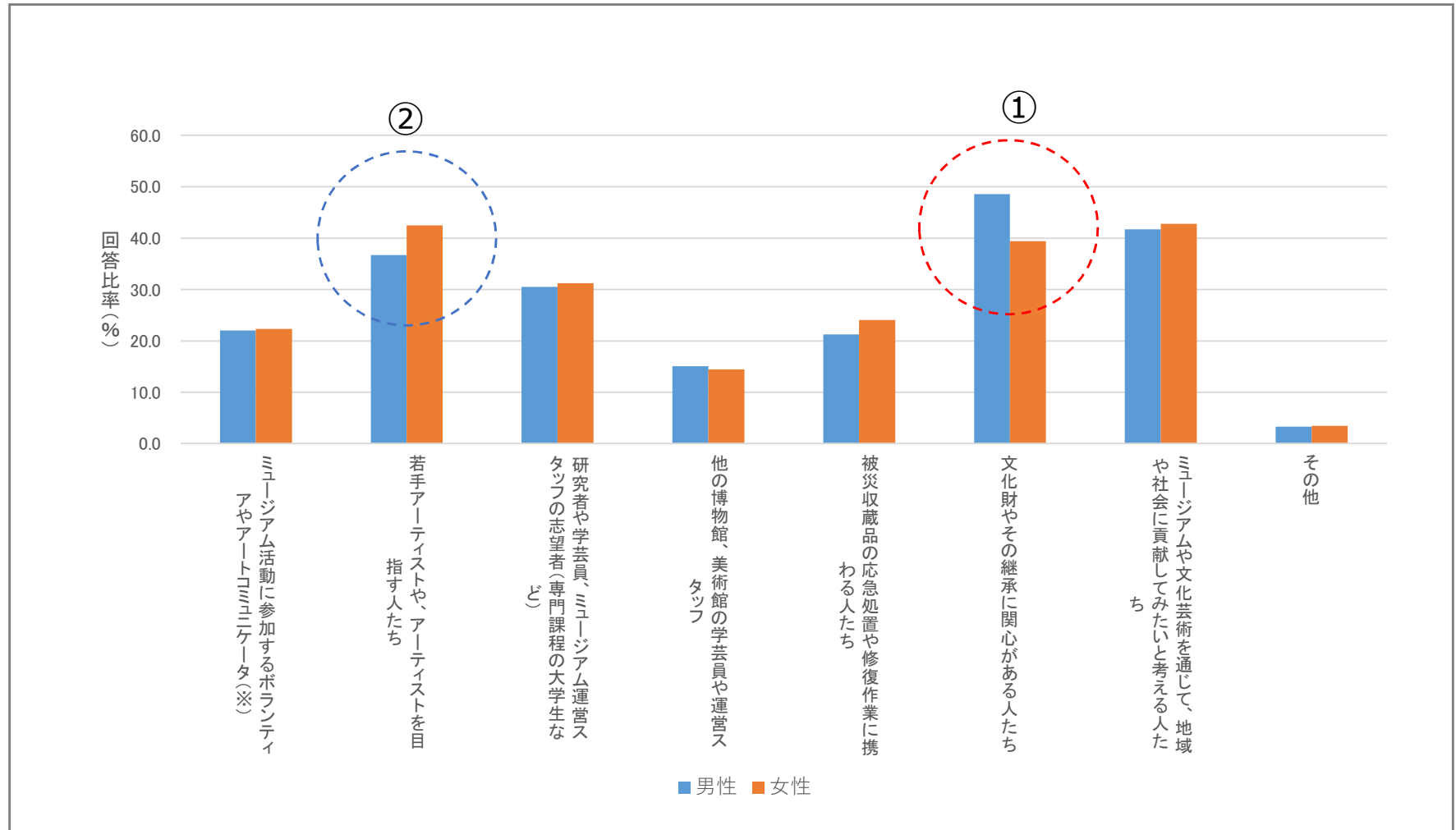
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（男女別）

男女で大きな違いは見られない

- ① 男性は「文化財やその継承に関心のある人たち」の回答比率が女性よりやや高い。
- ② 女性は「若手アーティストやアーティストを目指す人たち」の回答比率が男性よりやや高い。



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（男女別）

		該当数	回答	ニ ケ ー タ （※）	ポ ラ ン テ ィ ア や ア ー ト コ ミ ユ	ミ ュ ー ジ ア ム 活 動 に 参 加 す る	若 手 ア ー テ ィ ス ト を 目 指 す 人 た ち	テ ィ ス ト を 目 指 す 人 た ち	門 課 程 の 大 学 生 な ど	研 究 者 や 学 芸 員 、 ミ ュ ー ジ ア ン	の 博 物 館 、 美 術 館 の 学 芸 員	作 業 に 携 わ る 人 た ち	被 災 収 蔵 品 の 応 急 処 置 や 修 復	文 化 財 や そ の 継 承 に 関 心 が あ る 人 た ち	ミ ュ ー ジ ア ム や 文 化 芸 術 を 通 じ て 、 地 域 や 社 会 に 貢 献 し て み たい と 考 え る 人 た ち	そ の 他
全体		1635	N	361	637	504	243	369	733	688	55					
			%	22.1	39.0	30.8	14.9	22.6	44.8	42.1	3.4					
2 Q	男性	935	N	206	343	285	141	199	454	390	31					
			%	22.0	36.7	30.5	15.1	21.3	48.6	41.7	3.3					
	女性	685	N	153	291	214	99	165	270	293	24					
			%	22.3	42.5	31.2	14.5	24.1	39.4	42.8	3.5					
	その他	2	N	1	1	0	0	0	1	1	0					
			%	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0					
	回答しない	13	N	1	2	5	3	5	8	4	0					
			%	7.7	15.4	38.5	23.1	38.5	61.5	30.8	0.0					

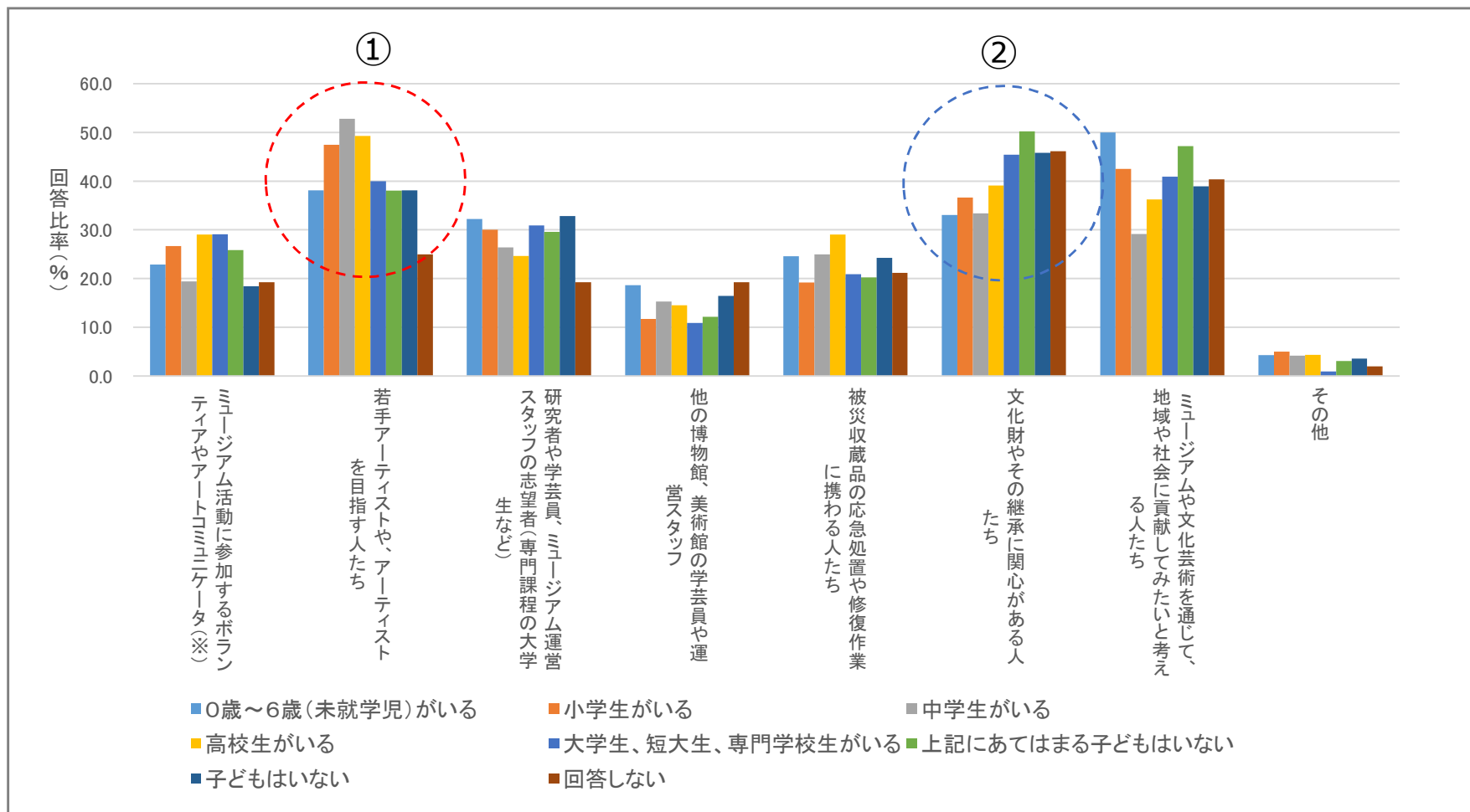
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（子どもの有無別）

子どもの年齢と有無により、力をいれるべき対象に違い

- ① 高校生までの子どもがいる人は「若手アーティストやアーティストを目指す人たち」の回答比率が高い。
- ② 大学生以上の子どもがいるまたは子どものいない人は、「文化財やその継承に関心のある人たち」の回答比率が高い。



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（子どもの有無別）

		該当数	回答	ニ ケ ー タ （※）	ポ ラ ン テ ィ ア や ア ー ト コ ミ ュ	ミ ュ ー ジ ア ム 活 動 に 参 加 す る	テ ィ ス ト を 目 指 す 人 た ち	若 手 ア ー テ ィ ス ト や 、 ア ー 	門 運 程 の 大 学 生 な ど	研 究 者 や 学 芸 員 、 ミ ュ ー ジ ア ム 志 望 者 （ 専 門 ）	他 の 博 物 館 、 美 術 館 の 学 芸 員 や 運 営 ス タ ッフ	被 災 収 蔵 品 の 応 急 処 置 や 修 復 作 業 に 携 わ る 人 た ち	文 化 財 や そ の 継 承 に 関 心 が あ る 人 た ち	ミ ュ ー ジ ア ム や 文 化 芸 術 を 通 じ て 、 地 域 や 社 会 に 貢 献 し て み たい と 考 え る 人 た ち	そ の 他
全体		1635	N	361	637	504	243	369	733	688	55				
			%	22.1	39.0	30.8	14.9	22.6	44.8	42.1	3.4				
4 Q	0歳～6歳(未就学児)がいる	118	N	27	45	38	22	29	39	59	5				
			%	22.9	38.1	32.2	18.6	24.6	33.1	50.0	4.2				
	小学生がいる	120	N	32	57	36	14	23	44	51	6				
			%	26.7	47.5	30.0	11.7	19.2	36.7	42.5	5.0				
	中学生がいる	72	N	14	38	19	11	18	24	21	3				
			%	19.4	52.8	26.4	15.3	25.0	33.3	29.2	4.2				
	高校生がいる	69	N	20	34	17	10	20	27	25	3				
			%	29.0	49.3	24.6	14.5	29.0	39.1	36.2	4.3				
	大学生、短大生、専門学校生がいる	110	N	32	44	34	12	23	50	45	1				
			%	29.1	40.0	30.9	10.9	20.9	45.5	40.9	0.9				
	上記にあてはまる子どもはいない	460	N	119	175	136	56	93	231	217	14				
			%	25.9	38.0	29.6	12.2	20.2	50.2	47.2	3.0				
	子どもはいない	755	N	139	288	248	124	183	346	294	27				
			%	18.4	38.1	32.8	16.4	24.2	45.8	38.9	3.6				
回答しない	52	N	10	13	10	10	11	24	21	1					
		%	19.2	25.0	19.2	19.2	21.2	46.2	40.4	1.9					

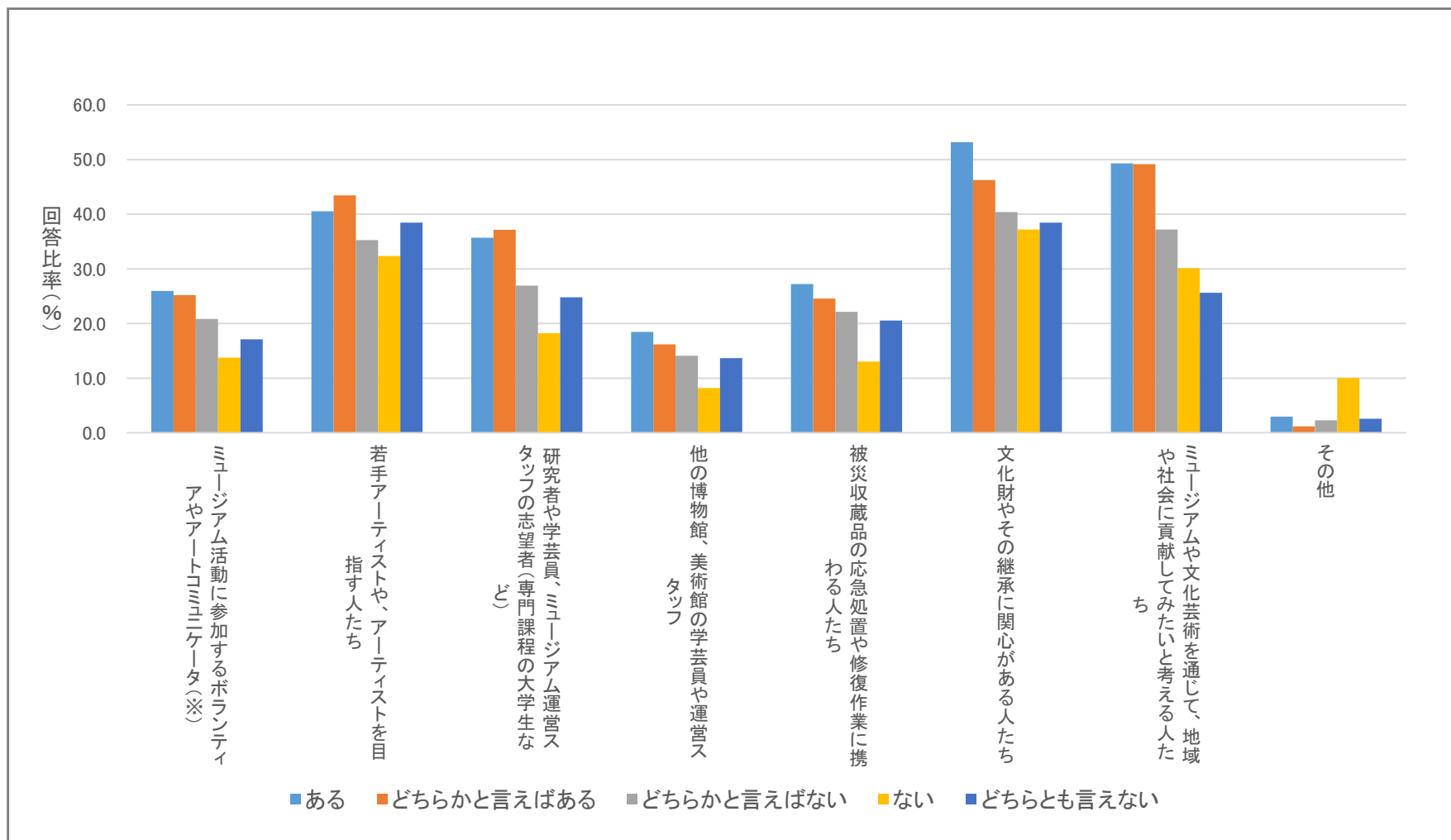
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（関心の有無別）

関心のある人ほど全体的に回答比率が高い傾向

すべての選択肢において関心のある人ほど回答比率が高い傾向がみられる。



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（関心の有無別）

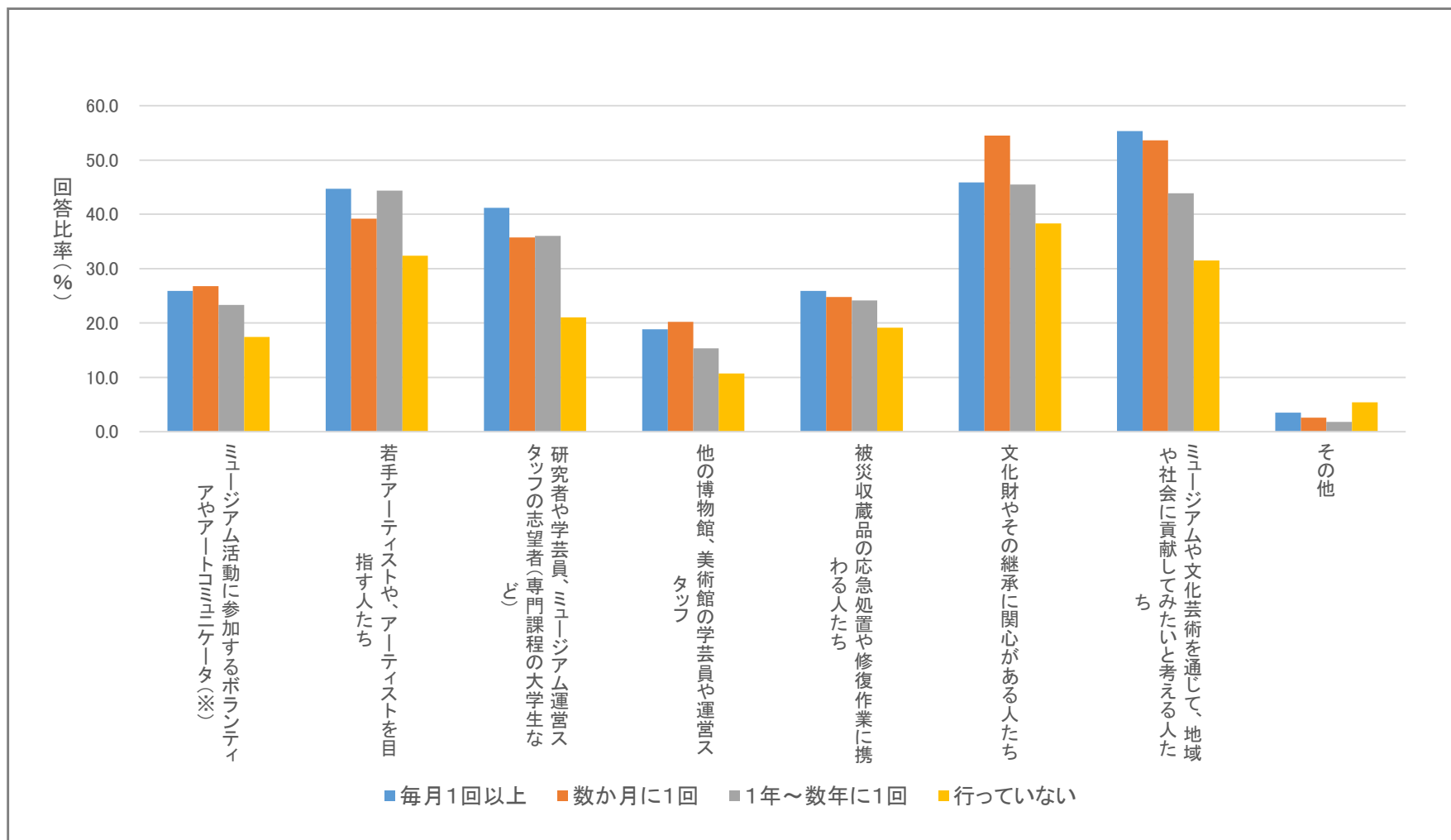
		該当数	回答	ニ ケ ラ ン テ ィ ア タ （ ※ ）	ポ ラ ム ジ ア ム 活 動 に 参 加 す る	ミ ュ ー ジ ア ム や ア ー ト コ ミ ュ	テ ィ ス ト を 目 指 す 人 た ち	若 手 ア ー テ ィ ス ト や 、 ア ー	門 運 者 の 大 学 生 な ど ）	研 究 者 や 学 芸 員 、 ミ ュ ー ジ ア	他 の 博 物 館 、 美 術 館 の 学 芸 員	や 運 営 ス タ フ	被 災 収 蔵 品 の 応 急 処 置 や 修 復	作 業 に 携 わ る 人 た ち	文 化 財 や そ の 継 承 に 関 心 が あ	る 人 た ち	ミ ュ ー ジ ア ム や 文 化 芸 術 を 通	み た い と 考 え る 人 た ち	そ の 他		
全体		1635	N	361	637	504	243	369	733	688	55										
			%	22.1	39.0	30.8	14.9	22.6	44.8	42.1	3.4										
5 Q	ある	412	N	107	167	147	76	112	219	203	12										
			%	26.0	40.5	35.7	18.4	27.2	53.2	49.3	2.9										
	どちらかと言えばある	525	N	132	228	195	85	129	243	258	6										
			%	25.1	43.4	37.1	16.2	24.6	46.3	49.1	1.1										
	どちらかと言えない	312	N	65	110	84	44	69	126	116	7										
			%	20.8	35.3	26.9	14.1	22.1	40.4	37.2	2.2										
	ない	269	N	37	87	49	22	35	100	81	27										
			%	13.8	32.3	18.2	8.2	13.0	37.2	30.1	10.0										
	どちらとも言えない	117	N	20	45	29	16	24	45	30	3										
			%	17.1	38.5	24.8	13.7	20.5	38.5	25.6	2.6										

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（博物館・美術館の利用頻度別）

行っていない人の回答比率は全体的に低いものの、
行ったことのある人では利用頻度による大きな違いは見られない



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（博物館・美術館の利用頻度別）

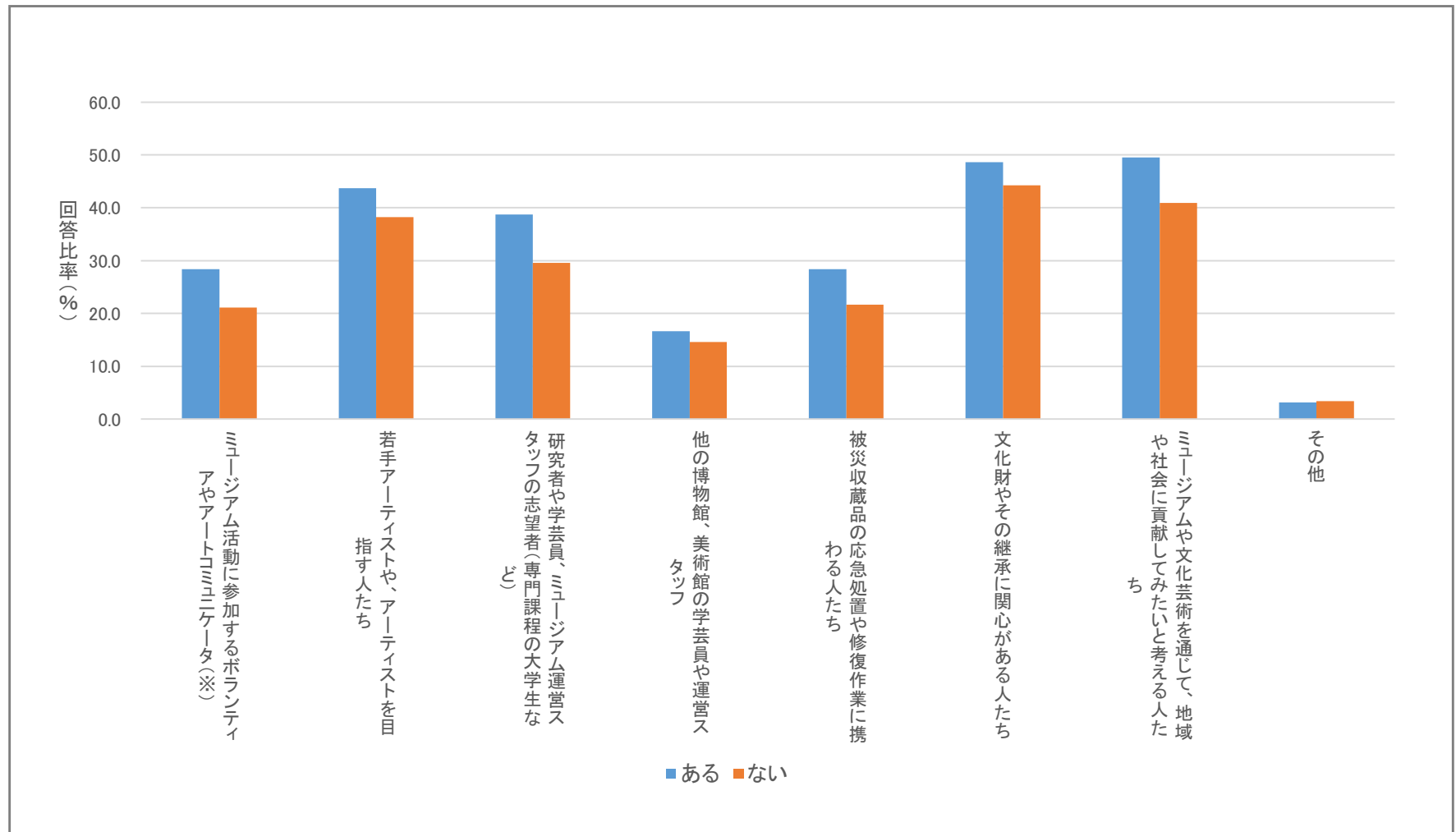
		該当数	回答	ボランティア（※）	ミュージアム活動に参加する	アーティストや、アー	若手アーティストや、アー	門課程の大学生など（専	ム運営者や学芸員、ミュージア	研究者やタッフの志望者（専	他の博物館、美術館の学芸員	や運営スタッフ	作被業に携わる人たちの	被災収蔵品の応急処置や修復	る文化財やその継承に関心があ	みたいて地域や社会に貢献して	ミュージアムや文化芸術を通	その他
全体		1635	N	361	637	504	243	369	733	688	55							
			%	22.1	39.0	30.8	14.9	22.6	44.8	42.1	3.4							
6 Q	毎月1回以上	85	N	22	38	35	16	22	39	47	3							
			%	25.9	44.7	41.2	18.8	25.9	45.9	55.3	3.5							
	数か月に1回	347	N	93	136	124	70	86	189	186	9							
			%	26.8	39.2	35.7	20.2	24.8	54.5	53.6	2.6							
	1年～数年に1回	613	N	143	272	221	94	148	279	269	11							
			%	23.3	44.4	36.1	15.3	24.1	45.5	43.9	1.8							
	行っていない	590	N	103	191	124	63	113	226	186	32							
			%	17.5	32.4	21.0	10.7	19.2	38.3	31.5	5.4							

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（活動の有無別）

活動を行っていない人は回答比率が低い傾向があるが、
全体的に大きな違いは見られない



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（活動の有無別）

		該当数	回答	ニ ケ ー タ （※）	ポ ラ ー テ ィ ア （※）	ミ ュ ー ジ ア ム 活 動 に 参 加 す る	若 手 ア ー テ ィ ス ト を 目 指 す 人 た ち	門 運 者 の 大 学 生 な ど	研 究 者 や 学 芸 員 、 ミ ュ ー ジ ア ン	他 の 博 物 館 、 美 術 館 の 学 芸 員	作 業 に 携 わ る 人 た ち	被 災 収 蔵 品 の 応 急 処 置 や 修 復	文 化 財 や そ の 継 承 に 関 心 が あ る 人 た ち	ミ ュ ー ジ ア ム や 文 化 芸 術 を 通 じ て 、 地 域 や 社 会 に 貢 献 し て み たい と 考 え る 人 た ち	そ の 他
全体		1635	N	361	637	504	243	369	733	688	55				
			%	22.1	39.0	30.8	14.9	22.6	44.8	42.1	3.4				
7 Q	ある	222	N	63	97	86	37	63	108	110	7				
			%	28.4	43.7	38.7	16.7	28.4	48.6	49.5	3.2				
	ない	1413	N	298	540	418	206	306	625	578	48				
			%	21.1	38.2	29.6	14.6	21.7	44.2	40.9	3.4				

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（その他自由回答一覧）

問15 「新たなミュージアム」は、どのような人たちを対象にして育成や活動支援に取り組むべきだと思いますか。

- わからない（13件）
- 特にない（12件）
- 不要、必要ない（6件）
- 興味がない（3件）
- 文化芸術を通じて、地域に愛着をもったり生きていく上で必要な想像力を育む市民教を育てる育関係者
- 物好き
- 普通の川崎市民
- 特別ではない普通の子供田越智
- 特に要求しない
- 定年後の人たち
- 中堅アーティスト（40代以降）への支援。
- 地域（市内）の人。自分に身近なことだと、美術芸術に造詣が深くなくても興味を持ちやすいし関わりやすい。
- 川崎市に税金を払っている人たち
- 生涯学習に関心のある方や若者など学習意欲のある人たち
- 小学生など、これから将来に向けて関心をもつ世代
- 興味のある方全般
- 義務教育の過程等で今後国際化で揉まれる子供たちのアイデンティティとなれるよう、日本の川崎市の文化をどう、自分の人生の軸に入れていけるか、支援する必要があると思う。
- 園児の遊び場
- ミュージアムは不要。経費を削減すべき。
- ボランティアでは無くきちんと賃金を払って働いてもらえる環境
- すでに興味のある人はもちろんですが、文化財というものに興味のない市民へ、その大切さや面白さを伝えて、継承していく人を少しずつ増やせたらいいのではないかと思う。

取り組むべき地域・社会貢献

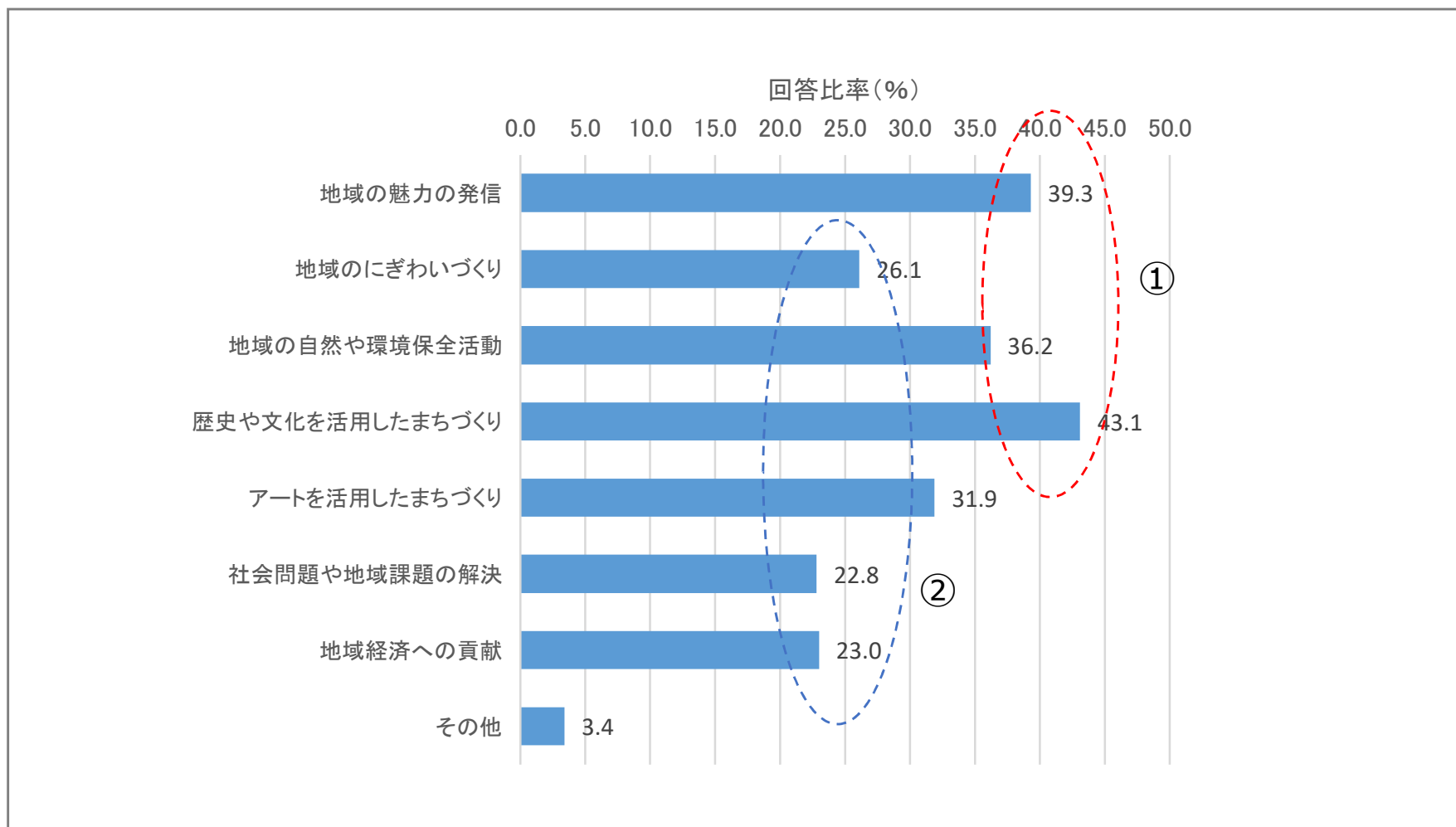
問16

「新たなミュージアム」は、どのような地域・社会貢献に取り組むべきだと思いますか？（M A）

問16 取り組むべき地域・社会貢献（全体）

歴史文化を活用したまちづくりが最も多く、次いで地域の魅力の発信

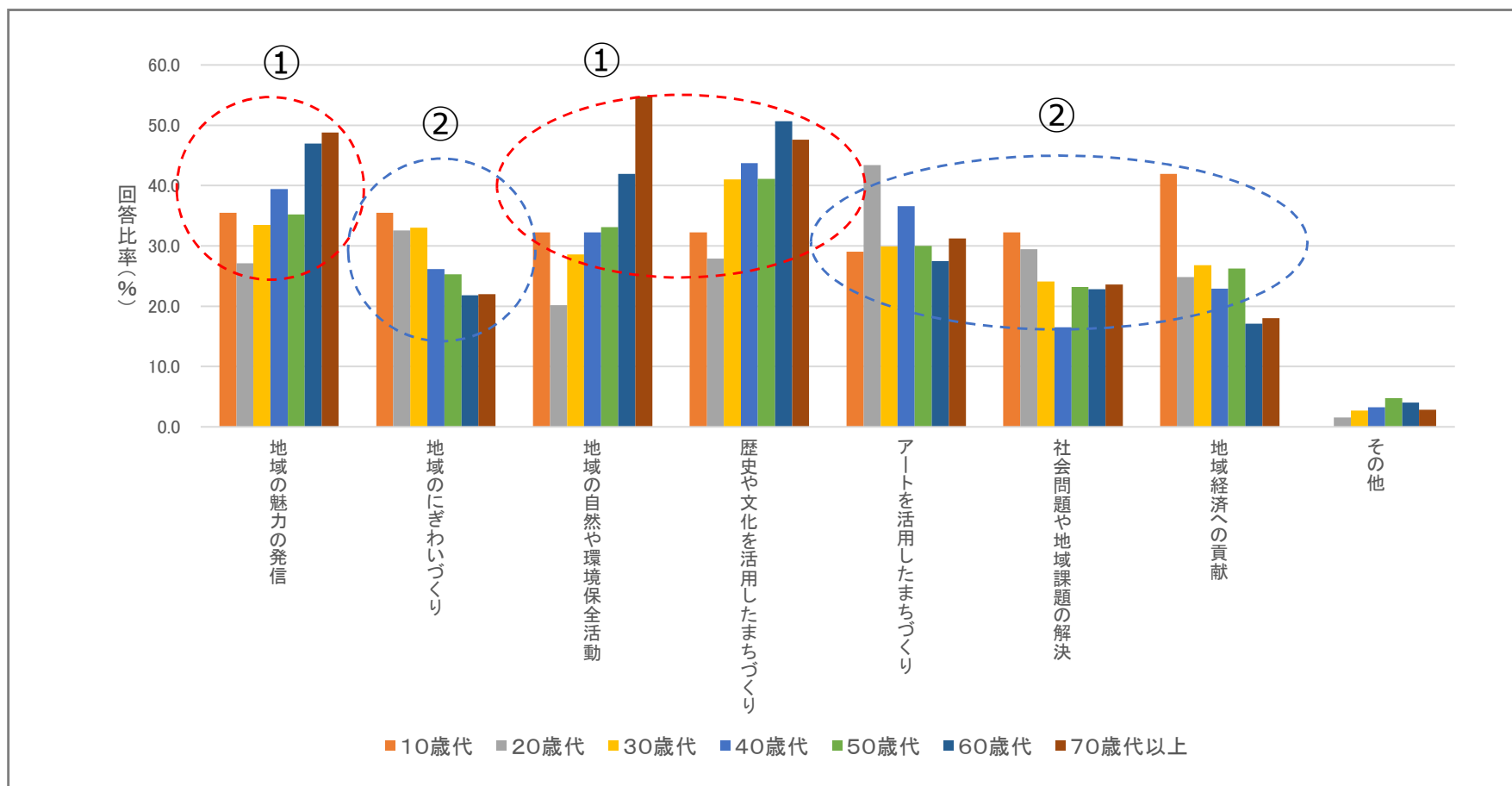
- ① 歴史や文化を活用したまちづくりが43.1%で最も高く、次いで地域の魅力の発信が39.3%が高い。
- ② 地域のにぎわいづくりや社会問題や地域課題の解決、地域経済への貢献は25%前後であった。



問16 取り組むべき地域・社会貢献（年齢別）

回答者の年齢により回答に違いが見られる

- ① 「地域の魅力の発信」「地域の自然や環境保全活動」「歴史文化を活用したまちづくり」は、年齢が高くなるほど回答比率が高くなる傾向であった。
- ② 「地域のにぎわいづくり」「アートを活用したまちづくり」「社会問題や地域課題の解決」「地域経済への貢献」は、年齢の若い人の回答比率が高い傾向であった。



問16 取り組むべき地域・社会貢献（年齢別）

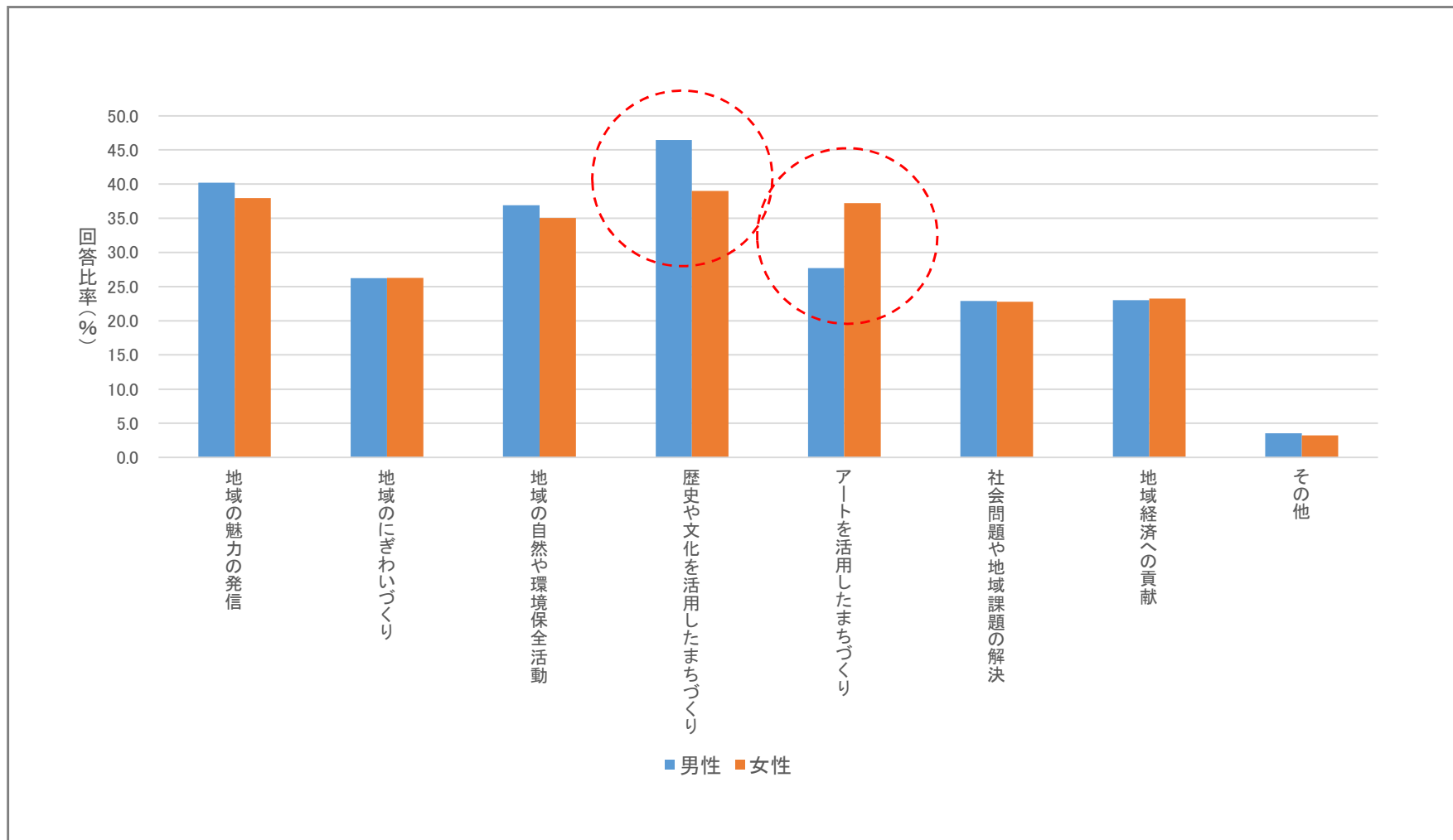
		該当数	回答	地域の魅力の発信	地域のにぎわいづくり	地域の自然や環境保全活動	歴史や文化を活用したまちづくり	アートを活用したまちづくり	社会問題や地域課題の解決	地域経済への貢献	その他
全体		1635	N	642	427	592	704	522	373	376	56
			%	39.3	26.1	36.2	43.1	31.9	22.8	23.0	3.4
1 Q	10歳未満	1	N	0	0	0	0	1	0	0	0
			%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	10歳代	31	N	11	11	10	10	9	10	13	0
			%	35.5	35.5	32.3	32.3	29.0	32.3	41.9	0.0
	20歳代	129	N	35	42	26	36	56	38	32	2
			%	27.1	32.6	20.2	27.9	43.4	29.5	24.8	1.6
	30歳代	224	N	75	74	64	92	67	54	60	6
			%	33.5	33.0	28.6	41.1	29.9	24.1	26.8	2.7
	40歳代	279	N	110	73	90	122	102	46	64	9
			%	39.4	26.2	32.3	43.7	36.6	16.5	22.9	3.2
	50歳代	423	N	149	107	140	174	127	98	111	20
			%	35.2	25.3	33.1	41.1	30.0	23.2	26.2	4.7
	60歳代	298	N	140	65	125	151	82	68	51	12
			%	47.0	21.8	41.9	50.7	27.5	22.8	17.1	4.0
70歳代以上	250	N	122	55	137	119	78	59	45	7	
		%	48.8	22.0	54.8	47.6	31.2	23.6	18.0	2.8	

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問16 取り組むべき地域・社会貢献（男女別）

男女別で回答比率の全体的な傾向に大きな違いはないが、
男性は歴史や文化のまちづくり、女性はアートを活用したまちづくりが高い



問16 取り組むべき地域・社会貢献（男女別）

		該当数	回答	地域の魅力の発信	地域のにぎわいづくり	地域の自然や環境保全活動	歴史や文化を活用したまちづくり	アートを活用したまちづくり	社会問題や地域課題の解決	地域経済への貢献	その他
全体		1635	N	642	427	592	704	522	373	376	56
			%	39.3	26.1	36.2	43.1	31.9	22.8	23.0	3.4
2 Q	男性	935	N	376	245	345	434	259	214	215	33
			%	40.2	26.2	36.9	46.4	27.7	22.9	23.0	3.5
	女性	685	N	260	180	240	267	255	156	159	22
			%	38.0	26.3	35.0	39.0	37.2	22.8	23.2	3.2
	その他	2	N	1	0	0	1	2	0	0	0
			%	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	回答しない	13	N	5	2	7	2	6	3	2	1
			%	38.5	15.4	53.8	15.4	46.2	23.1	15.4	7.7

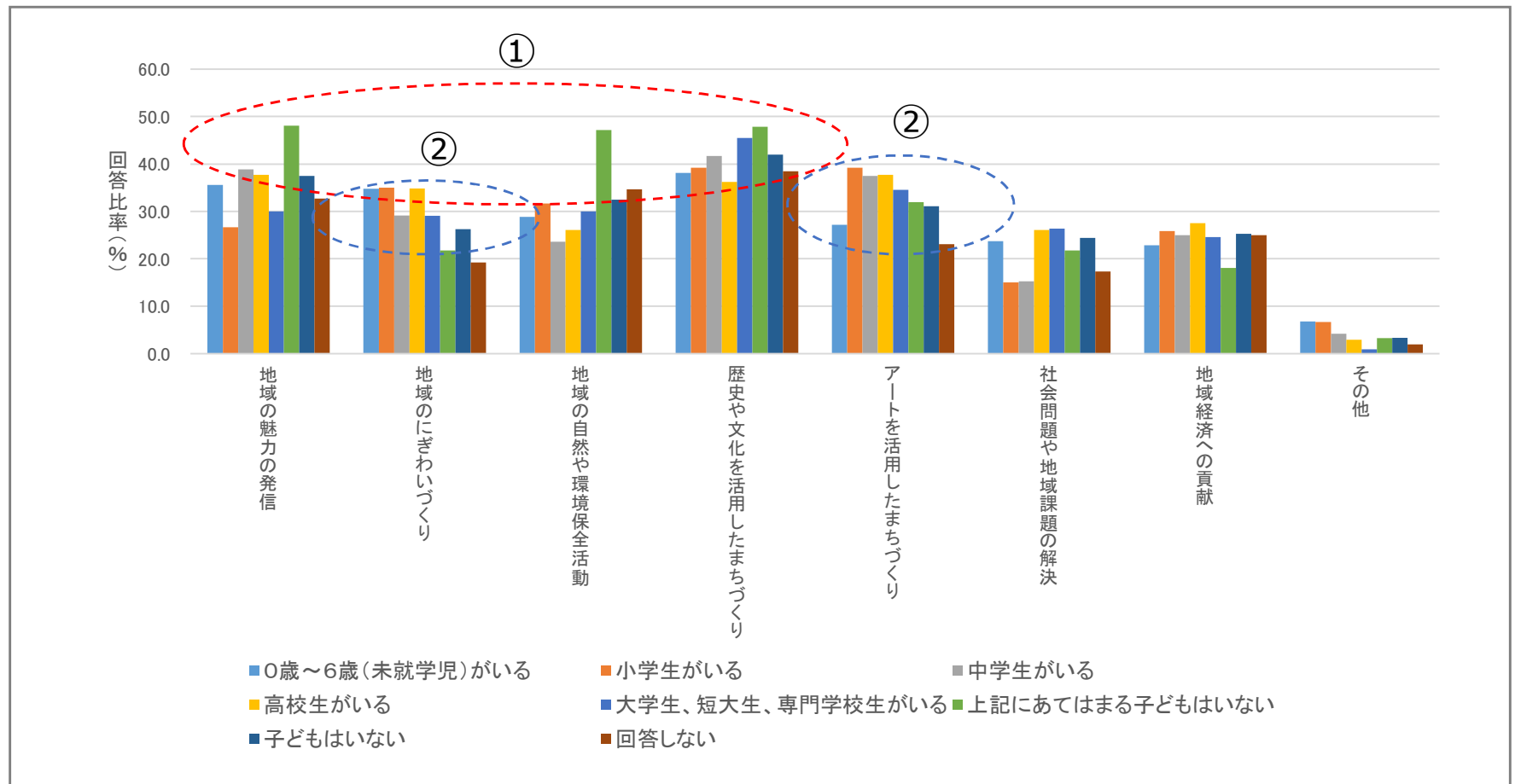
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問16 取り組むべき地域・社会貢献（子どもの有無別）

子どもの有無により回答に違いが見られる

- ① 「地域の魅力の発信」「地域の自然や環境保全活動」「歴史文化を活用したまちづくり」は、
- ② 「上記にあてはまる子どもはいない」人の回答比率が高く、高年齢層での回答比率の高さと傾向が一致している。
- ③ 「地域のにぎわいづくり」「アートを活用したまちづくり」は、子どもがいる人の回答比率が高い。



問16 取り組むべき地域・社会貢献（子どもの有無別）

		該当数	回答	地域の魅力の発信	地域のにぎわいづくり	地域の自然や環境保全活動	歴史や文化を活用したまちづくり	アートを活用したまちづくり	社会問題や地域課題の解決	地域経済への貢献	その他
全体		1635	N	642	427	592	704	522	373	376	56
			%	39.3	26.1	36.2	43.1	31.9	22.8	23.0	3.4
4 Q	0歳～6歳(未就学児)がいる	118	N	42	41	34	45	32	28	27	8
			%	35.6	34.7	28.8	38.1	27.1	23.7	22.9	6.8
	小学生がいる	120	N	32	42	38	47	47	18	31	8
			%	26.7	35.0	31.7	39.2	39.2	15.0	25.8	6.7
	中学生がいる	72	N	28	21	17	30	27	11	18	3
			%	38.9	29.2	23.6	41.7	37.5	15.3	25.0	4.2
	高校生がいる	69	N	26	24	18	25	26	18	19	2
			%	37.7	34.8	26.1	36.2	37.7	26.1	27.5	2.9
	大学生、短大生、専門学校生がいる	110	N	33	32	33	50	38	29	27	1
			%	30.0	29.1	30.0	45.5	34.5	26.4	24.5	0.9
	上記にあてはまる子どもはいない	460	N	221	100	217	220	147	100	83	15
			%	48.0	21.7	47.2	47.8	32.0	21.7	18.0	3.3
	子どもはいない	755	N	283	198	245	317	235	184	191	25
			%	37.5	26.2	32.5	42.0	31.1	24.4	25.3	3.3
回答しない	52	N	17	10	18	20	12	9	13	1	
		%	32.7	19.2	34.6	38.5	23.1	17.3	25.0	1.9	

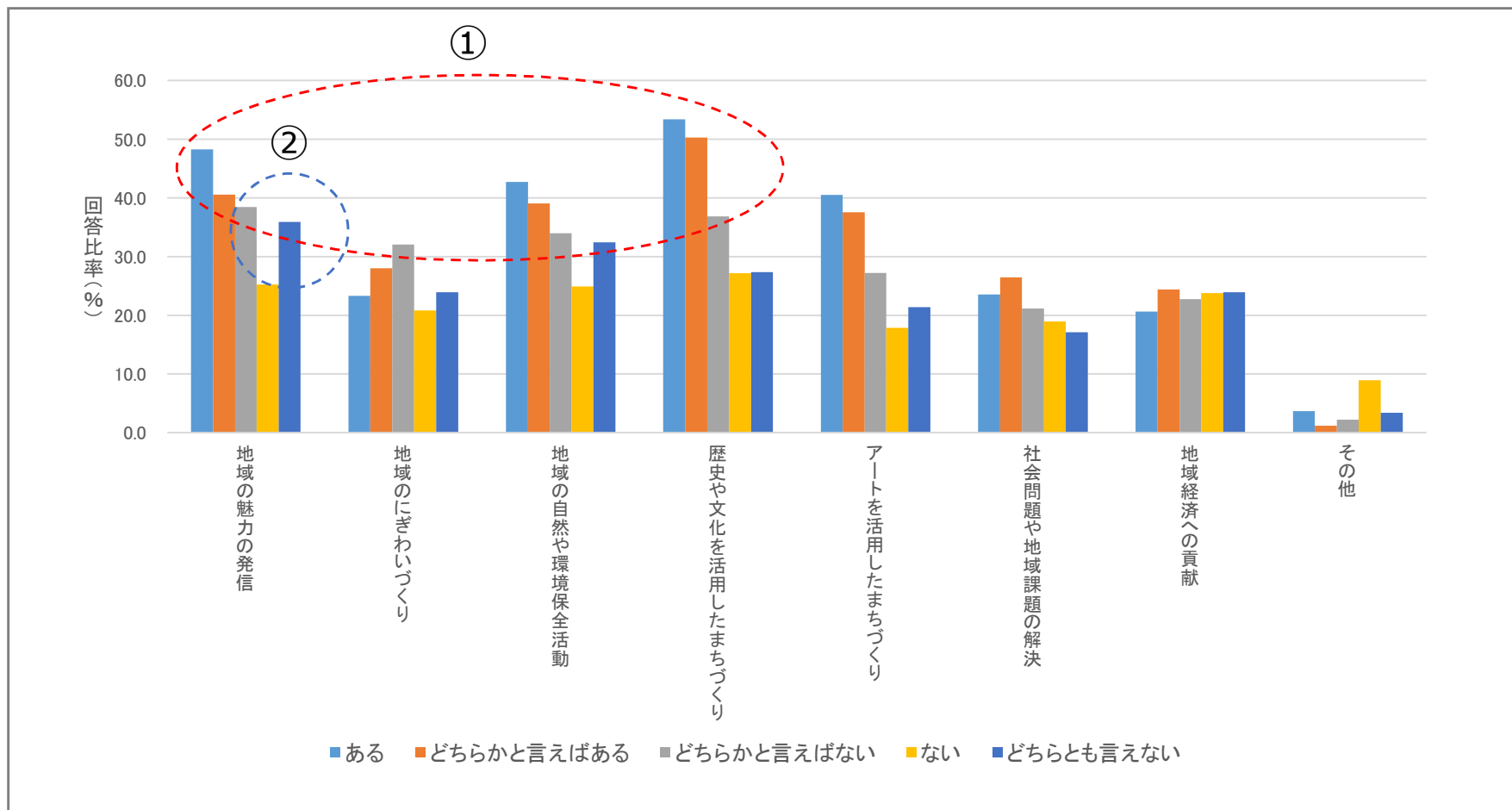
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問16 取り組むべき地域・社会貢献（関心の有無別）

関心のある人の回答比率が全体的に高い

- ① 関心のある層の回答比率は、関心のない人にくらべて全体的に高く、「歴史文化を活用したまちづくり」「地域の魅力の発信」「地域の自然や環境保全活動」の回答比率が高い。
- ② 「どちらともいえない」人は「地域の魅力の発信」が最も高い。



問16 取組むべき地域・社会貢献（関心の有無別）

		該当数	回答	地域の魅力の発信	地域のにぎわいづくり	地域の自然や環境保全活動	歴史や文化を活用したまちづくり	アートを活用したまちづくり	社会問題や地域課題の解決	地域経済への貢献	その他
全体		1635	N	642	427	592	704	522	373	376	56
			%	39.3	26.1	36.2	43.1	31.9	22.8	23.0	3.4
5 Q	ある	412	N	199	96	176	220	167	97	85	15
			%	48.3	23.3	42.7	53.4	40.5	23.5	20.6	3.6
	どちらかと言えばある	525	N	213	147	205	264	197	139	128	6
			%	40.6	28.0	39.0	50.3	37.5	26.5	24.4	1.1
	どちらかと言えない	312	N	120	100	106	115	85	66	71	7
			%	38.5	32.1	34.0	36.9	27.2	21.2	22.8	2.2
	ない	269	N	68	56	67	73	48	51	64	24
			%	25.3	20.8	24.9	27.1	17.8	19.0	23.8	8.9
	どちらとも言えない	117	N	42	28	38	32	25	20	28	4
			%	35.9	23.9	32.5	27.4	21.4	17.1	23.9	3.4

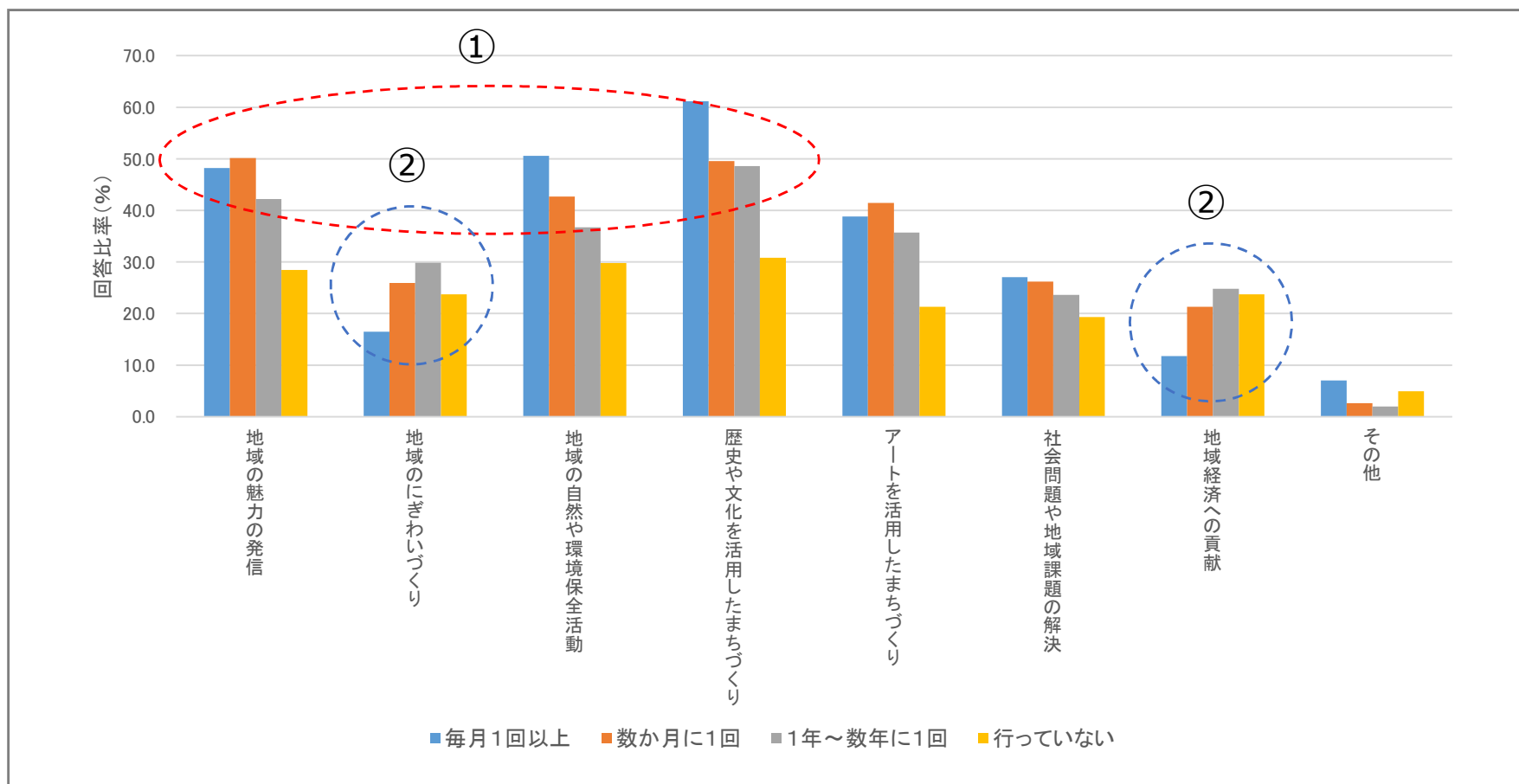
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- ▲15ポイント以上
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問16 取組むべき地域・社会貢献（博物館・美術館の利用頻度別）

関心の有無による傾向と同様の傾向

- ① 利用頻度の高い人は、関心の有無と同様、「歴史文化を活用したまちづくり」「地域の魅力の発信」「地域の自然や環境保全活動」の回答比率が高い。
- ② 「地域のにぎわいづくり」「地域経済への貢献」では、利用頻度の低い人の回答比率が利用頻度の高い人よりも多い。



問16 取組むべき地域・社会貢献（博物館・美術館の利用頻度別）

		該当数	回答	地域の魅力の発信	地域のにぎわいづくり	地域の自然や環境保全活動	歴史や文化を活用したまちづくり	アートを活用したまちづくり	社会問題や地域課題の解決	地域経済への貢献	その他
全体		1635	N	642	427	592	704	522	373	376	56
			%	39.3	26.1	36.2	43.1	31.9	22.8	23.0	3.4
6 Q	毎月1回以上	85	N	41	14	43	52	33	23	10	6
			%	48.2	16.5	50.6	61.2	38.8	27.1	11.8	7.1
	数か月に1回	347	N	174	90	148	172	144	91	74	9
			%	50.1	25.9	42.7	49.6	41.5	26.2	21.3	2.6
	1年～数年に1回	613	N	259	183	225	298	219	145	152	12
			%	42.3	29.9	36.7	48.6	35.7	23.7	24.8	2.0
	行っていない	590	N	168	140	176	182	126	114	140	29
			%	28.5	23.7	29.8	30.8	21.4	19.3	23.7	4.9

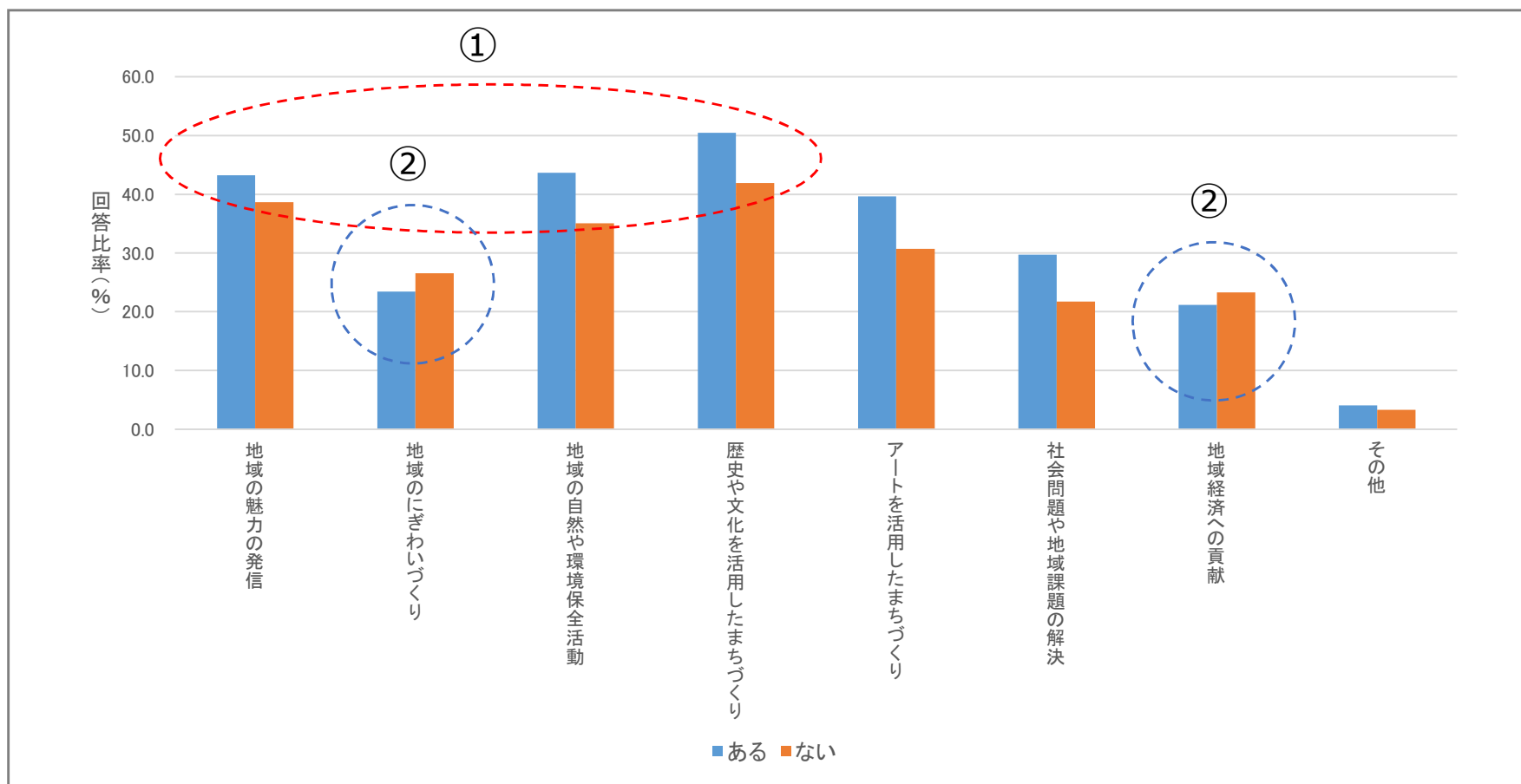
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問16 取組むべき地域・社会貢献（活動の有無別）

関心の有無や利用頻度と同様の傾向

- ① 活動を行っている人は、「歴史文化を活用したまちづくり」「地域の魅力の発信」「地域の自然や環境保全活動」の回答比率が高く、関心の有無や利用頻度と同様の傾向がみられた。
- ② 「地域のにぎわいづくり」「地域経済への貢献」では、活動を行っていない人の回答比率が活動を行っている人の回答比率よりもやや高い。



問16 取組むべき地域・社会貢献（活動の有無別）

		該当数	回答	地域の魅力の発信	地域のにぎわいづくり	地域の自然や環境保全活動	歴史や文化を活用したまちづくり	アートを活用したまちづくり	社会問題や地域課題の解決	地域経済への貢献	その他
全体		1635	N	642	427	592	704	522	373	376	56
			%	39.3	26.1	36.2	43.1	31.9	22.8	23.0	3.4
7 Q	ある	222	N	96	52	97	112	88	66	47	9
			%	43.2	23.4	43.7	50.5	39.6	29.7	21.2	4.1
	ない	1413	N	546	375	495	592	434	307	329	47
			%	38.6	26.5	35.0	41.9	30.7	21.7	23.3	3.3

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問16 取り組むべき地域・社会貢献（その他自由回答一覧）

問16「新たなミュージアム」は、どのような地域・社会貢献に取り組むべきだと思いますか？

- 特にない（14件）
- わからない、不明（11件）
- 不要、必要ない（3件）
- 興味がない（3件）
- 面白く独自の企画をたてることができれば貢献しなくてもいい
- 無駄な税金を使わないプログラム
- 無駄
- 美術館が社会問題解決とか活動家のような事をやる必要があるのか
- 地域住民が参加しやすいワークショップ、講座の開催
- 地域の研究者や研究者志望の学生へのバックアップ
- 川崎にまともな美術館がないことは、とても残念。新しいより、まずここから
- 川崎にある他の施設や団体との連携
- 主体的活動をする文化施設として、文化芸術の側面から常に人々の感性を刺激し、暮らしを豊かにするきっかけを提供する
- 治水技術や災害史川崎特有の防災
- 指定暑熱施設や避難所としての機能
- 災害対策
- 雇用確保
- 金の無駄遣い
- わくわくドキドキを伝える。
- ワークショップができる場
- もともと、生田緑地は1939年昭和14年の大緑地計画が大本ですから、ゴルフ場を廃止して元のハイキングコースやキャンプ場のある緑地にして誰でも楽しめる場所にする事、
- これからの川崎をつくる子供たちが、川崎の産業、アート、社会福祉の側面に触れられるよう取り組んで欲しい
- ケーブルテレビのテレビ番組やコミュニティFMのラジオ番組の制作・放送の体験
- オンラインを活用したアクセシビリティに富んだ居場所づくり
- アートコミュニケータを増やす

**「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている
「新たなミュージアム」について期待すること**

問17

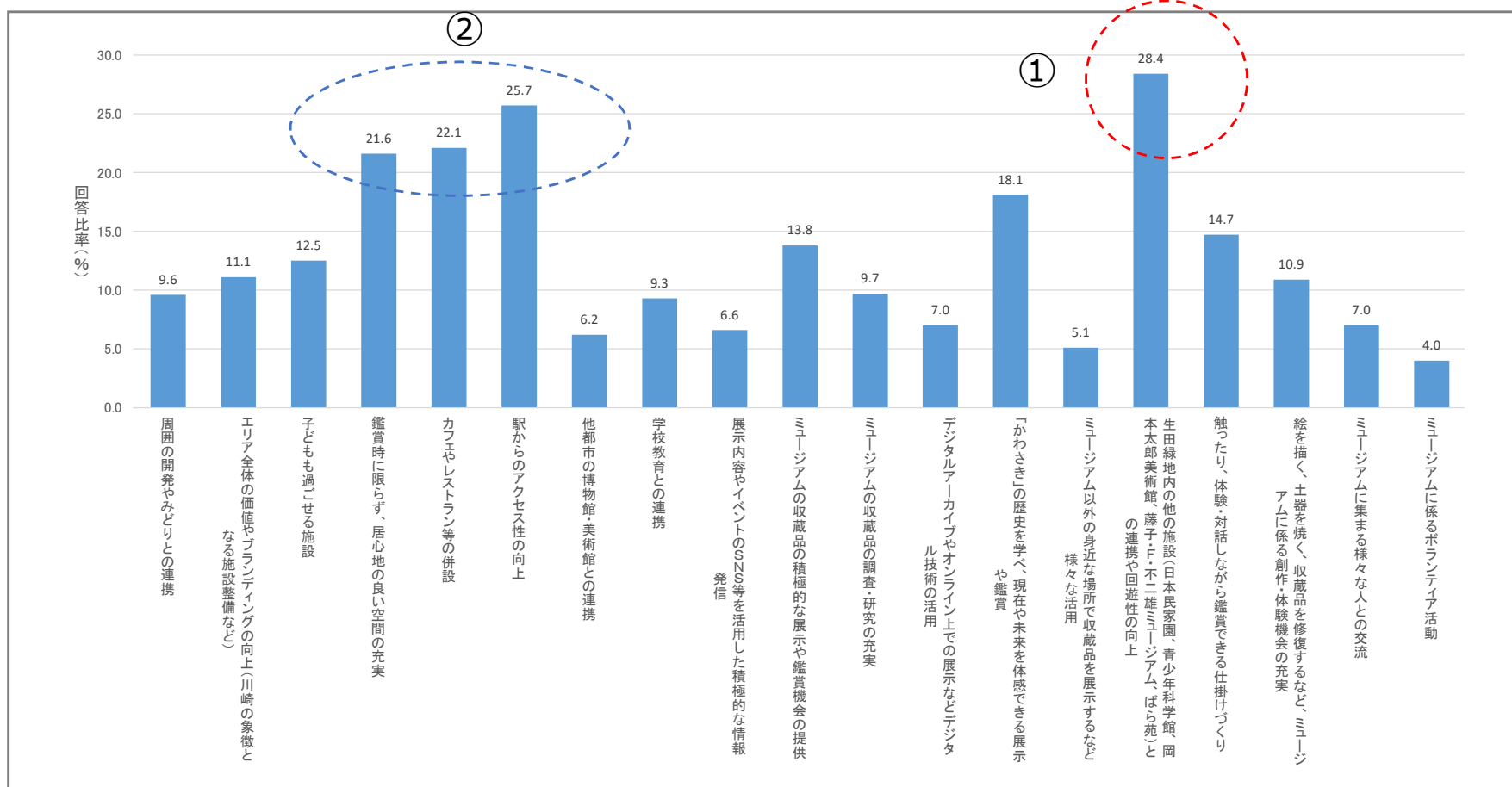
「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている「新たなミュージアム」について、あなたが特に期待することは何ですか？（M A）

※市内で実施されたイベントでのオープンハウス型説明会において、同じ内容のシール投票（1人最大3票）を行った。

問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（全体）

生田緑地内の施設連携や回遊性向上、 利用における快適性、利便性の回答比率が高い

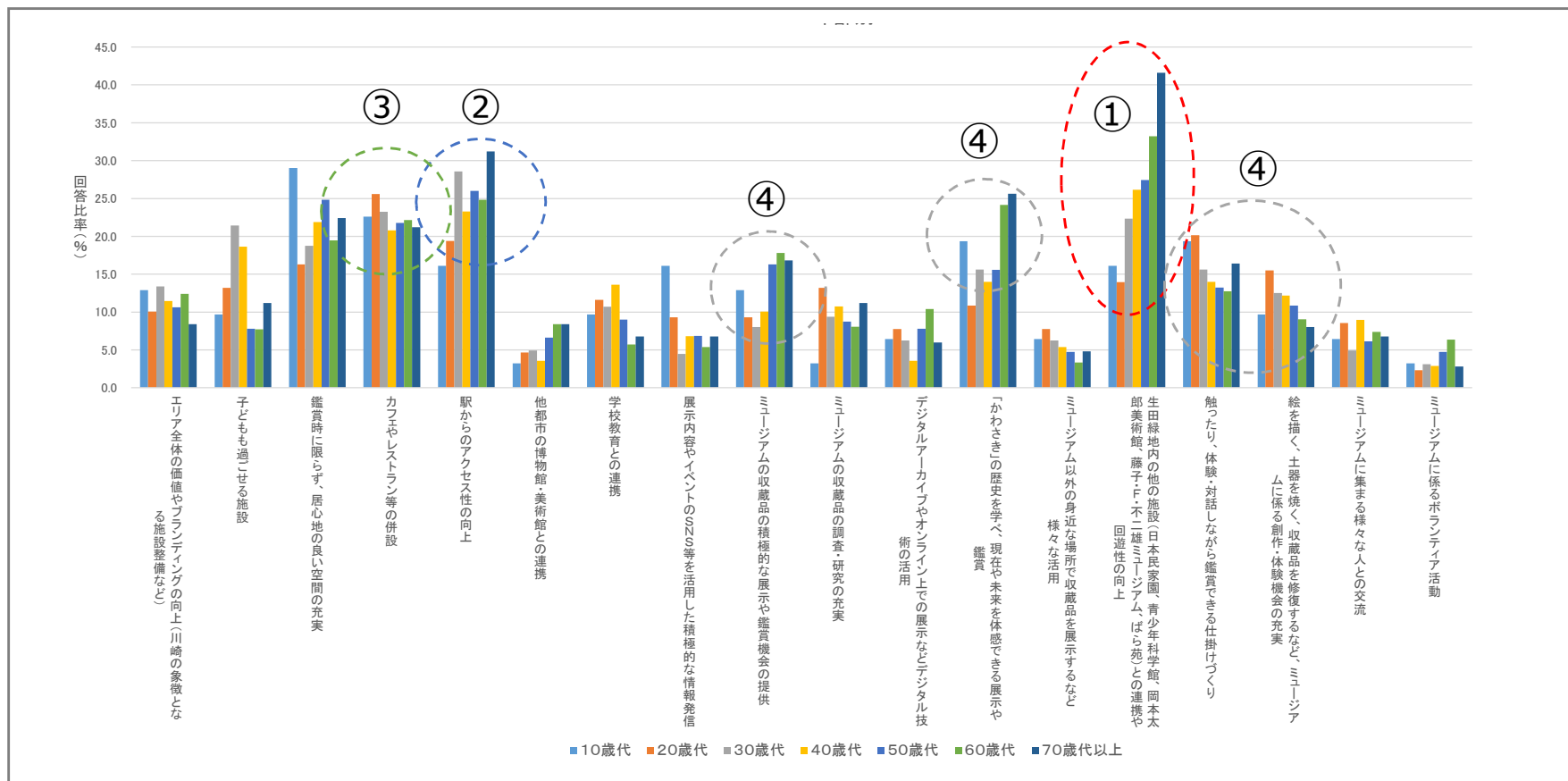
- ① 「生田緑地内の施設の連携や回遊性の向上」が最も多く28.4%であった。
- ② 次いで「駅からのアクセス性の向上」25.7%「カフェやレストラン等の併設」22.1%「居心地のよい空間の充実」21.6%といった快適性、利便性についての回答比率が高い。



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（年齢別）

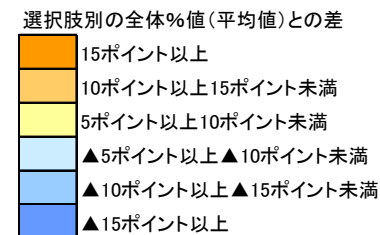
年齢により期待することに違いが見られる

- ① 「生田緑地内の施設の連携や回遊性の向上」は、年齢が高くなるほど回答比率が高い。
- ② 「駅からのアクセス性の向上」は、高年齢層と30歳代の回答比率が高い。
- ③ 「カフェやレストラン等の併設」は、年齢による大きな違いが見られない。
- ④ 「かわさきの歴史を学ぶ展示」や「収蔵品の展示や鑑賞機会の提供」は高年齢層の回答比率が高く、「体験・対話型の展示」「創作・体験機会の充実」は若い世代の回答比率が高い。



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（年齢別）

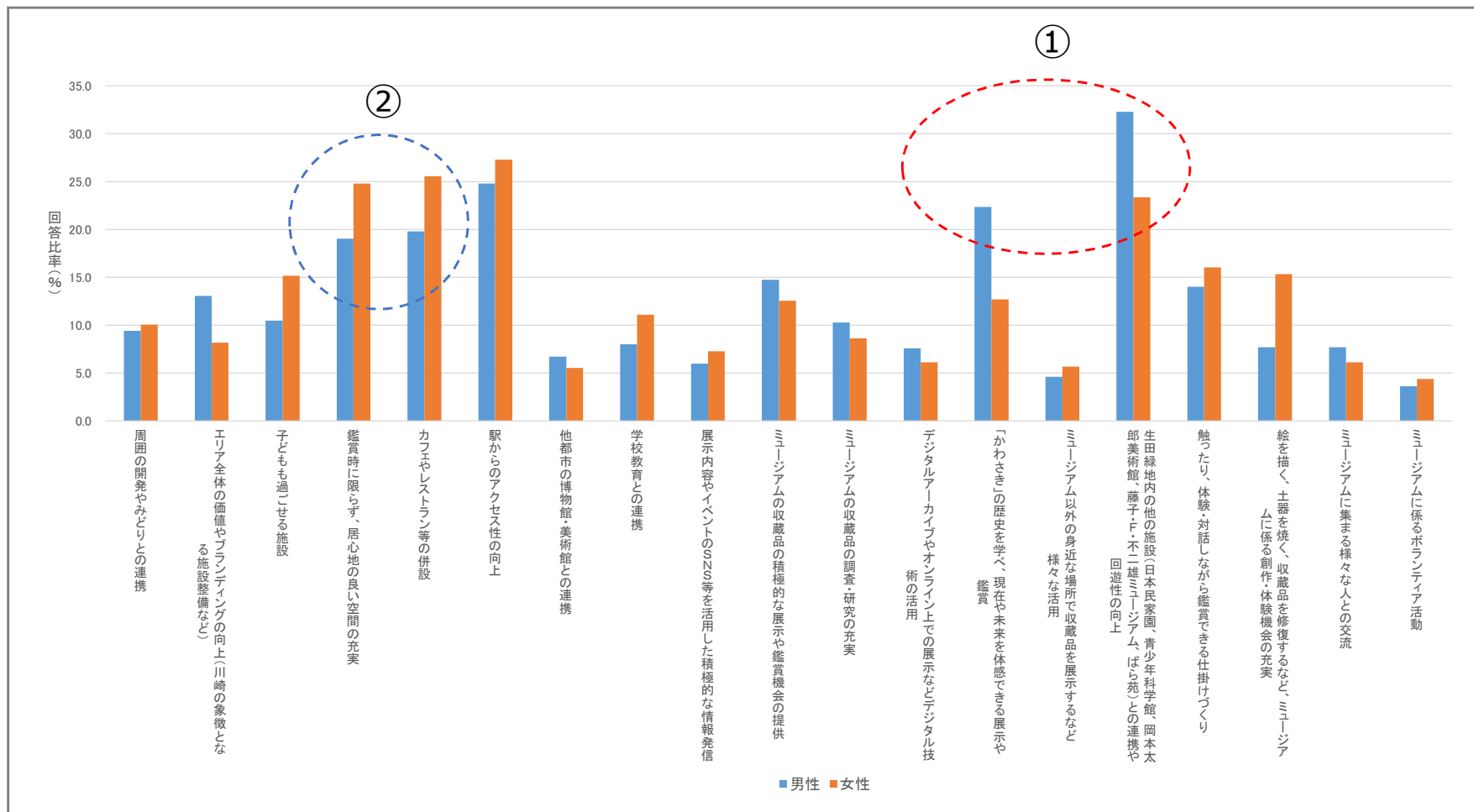
該当数	回答		周囲の開発やみどりとの連携	エリア全体の価値やブランドイン グの向上（川崎の象徴となる施設 整備など）	子どもも過ごせる施設	鑑賞時に限らず、居心地の良い空 間の充実	カフェやレストラン等の併設	駅からのアクセス性の向上	他都市の博物館・美術館との連携	学校教育との連携	展示内容やイベントのSNS等を 活用した積極的な情報発信	展示や鑑賞機会の提供	ミュージアムの収蔵品の積極的な 研究	デジタルアーカイブやオンライン 上での展示などデジタル技術の活 用	「かわさき」の歴史を学べ、現在 や未来を体感できる展示や鑑賞	ミュージアム以外の身近な場所で 収蔵品を展示するなど様々な活用	生田緑地内の他の施設（日本美術 館、青少年科学館、岡本太郎美術 館、藤子・F・不二雄ミュージア ム、ばら苑）との連携や回遊性 の向上	触ったり、体験・対話しながら鑑 賞できる仕掛けづくり	絵を描く、土器を焼く、収蔵品を 修復するなど、ミュージアムに係 る創作・体験機会の充実	ミュージアムに集まる様々な人と の交流	ミュージアムに係るボランティア 活動																				
																						N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%		
全体	1635		157	9.6	182	11.1	204	12.5	353	21.6	361	22.1	421	25.7	102	6.2	152	9.3	108	6.6	226	13.8	158	9.7	115	7.0	296	18.1	83	5.1	465	28.4	241	14.7	178	10.9	114	7.0	65	4.0	
1 Q	10歳未満	1	N	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
		%	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	10歳代	31	N	5	16.1	4	12.9	3	9.7	9	29.0	7	22.6	5	16.1	1	3.2	3	9.7	5	16.1	4	12.9	1	3.2	2	6.5	6	19.4	2	6.5	5	16.1	6	19.4	3	9.7	2	6.5	1	3.2
		%	16.1	12.9	9.7	29.0	22.6	16.1	3.2	9.7	16.1	12.9	3.2	6.5	19.4	6.5	16.1	19.4	9.7	6.5	3.2	6.5	19.4	6.5	16.1	19.4	9.7	6.5	3.2	6.5	19.4	9.7	6.5	3.2	6.5	19.4	9.7	6.5	3.2		
	20歳代	129	N	10	7.8	13	10.1	17	13.2	21	16.3	33	25.6	25	19.4	6	4.7	15	11.6	12	9.3	12	9.3	17	13.2	10	7.8	14	10.9	10	7.8	18	14.0	26	20.2	20	15.5	11	8.5	3	2.3
		%	7.8	10.1	13.2	16.3	25.6	19.4	4.7	11.6	9.3	9.3	13.2	7.8	10.9	7.8	14.0	20.2	15.5	8.5	2.3																				
	30歳代	224	N	19	8.5	30	13.4	48	21.4	42	18.8	52	23.2	64	28.6	11	4.9	24	10.7	10	4.5	18	8.0	21	9.4	14	6.3	35	15.6	14	6.3	50	22.3	35	15.6	28	12.5	11	4.9	7	3.1
		%	8.5	13.4	21.4	18.8	23.2	28.6	4.9	10.7	4.5	8.0	9.4	6.3	15.6	6.3	22.3	15.6	12.5	4.9	3.1																				
	40歳代	279	N	27	9.7	32	11.5	52	18.6	61	21.9	58	20.8	65	23.3	10	3.6	38	13.6	19	6.8	28	10.0	30	10.8	10	3.6	39	14.0	15	5.4	73	26.2	39	14.0	34	12.2	25	9.0	8	2.9
		%	9.7	11.5	18.6	21.9	20.8	23.3	3.6	13.6	6.8	10.0	10.8	3.6	14.0	5.4	26.2	14.0	12.2	9.0	2.9																				
	50歳代	423	N	35	8.3	45	10.6	33	7.8	105	24.8	92	21.7	110	26.0	28	6.6	38	9.0	29	6.9	69	16.3	37	8.7	33	7.8	66	15.6	20	4.7	116	27.4	56	13.2	46	10.9	26	6.1	20	4.7
		%	8.3	10.6	7.8	24.8	21.7	26.0	6.6	9.0	6.9	16.3	8.7	7.8	15.6	4.7	27.4	13.2	10.9	6.1	4.7																				
	60歳代	298	N	37	12.4	37	12.4	23	7.7	58	19.5	66	22.1	74	24.8	25	8.4	17	5.7	16	5.4	53	17.8	24	8.1	31	10.4	72	24.2	10	3.4	99	33.2	38	12.8	27	9.1	22	7.4	19	6.4
		%	12.4	12.4	7.7	19.5	22.1	24.8	8.4	5.7	5.4	17.8	8.1	10.4	24.2	3.4	33.2	12.8	9.1	7.4	6.4																				
70歳代以上	250	N	24	9.6	21	8.4	28	11.2	56	22.4	53	21.2	78	31.2	21	8.4	17	6.8	17	6.8	42	16.8	28	11.2	15	6.0	64	25.6	12	4.8	104	41.6	41	8.0	17	6.8	7	2.8			
	%	9.6	8.4	11.2	22.4	21.2	31.2	8.4	6.8	6.8	16.8	11.2	6.0	25.6	4.8	41.6	8.0	6.8	2.8																						



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（男女別）

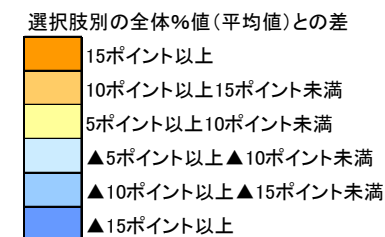
男性は施設連携・回遊性向上とかわさきの歴史、 女性は快適性や居心地の回答比率が高い

- ① 男性は「生田緑地内の施設の連携や回遊性の向上」や「歴史を学ぶ展示」の回答比率が高い。
- ② 女性は「カフェやレストランの充実」「居心地の良い空間の充実」の回答比率が高い。



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（男女別）

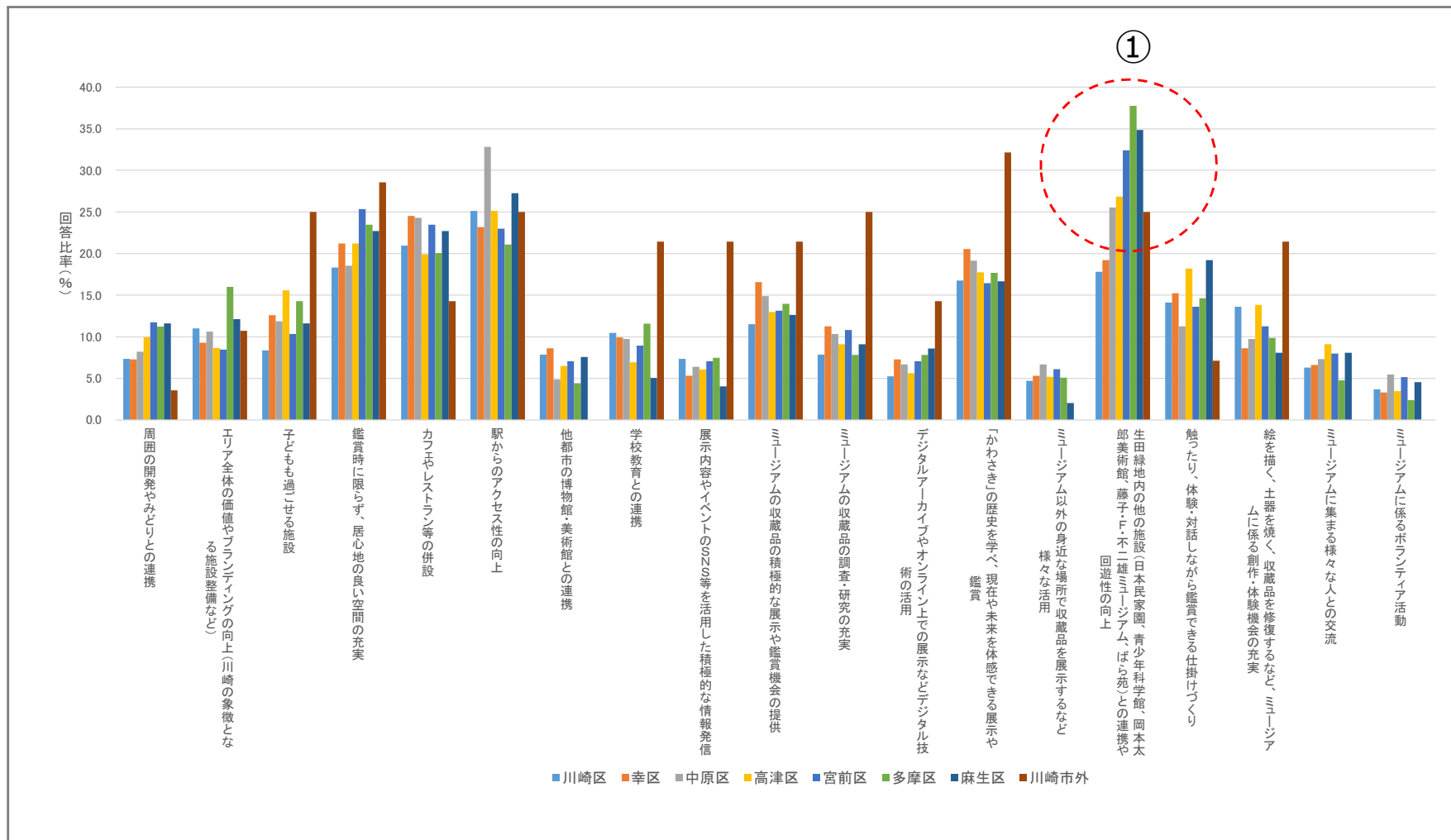
	該当数	回答	周囲の開発やみどりとの連携	エリア全体の価値やプランディングの向上（川崎の象徴となる施設整備など）	子どもも過ごせる施設	鑑賞時に限らず、居心地の良い空間の充実	カフェやレストラン等の併設	駅からのアクセス性の向上	他都市の博物館・美術館との連携	学校教育との連携	展示内容やイベントのSNS等を活用した積極的な情報発信	展示や鑑賞機会の提供	ミュージアムの収蔵品の調査・研究の充実	デジタルアーカイブやオンラインでの展示などデジタル技術の活用	「かわさき」の歴史を学べ、現在や未来を体感できる展示や鑑賞	ミュージアム以外の身近な場所で収蔵品を展示するなど様々な活用	生田緑地内の他の施設（日本民衆園、青少年科学館、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアム、ばら苑）との連携や回遊性の向上	触ったり、体験・対話しながら鑑賞できる仕掛けづくり	絵を描く、土器を焼く、収蔵品を修復するなど、ミュージアムに係る創作・体験機会の充実	ミュージアムに集まる様々な人との交流	ミュージアムに係るボランティア活動	
																						N
全体	1635		157	182	204	353	361	421	102	152	108	226	158	115	296	83	465	241	178	114	65	
			9.6	11.1	12.5	21.6	22.1	25.7	6.2	9.3	6.6	13.8	9.7	7.0	18.1	5.1	28.4	14.7	10.9	7.0	4.0	
2 Q	男性	935	N	88	122	98	178	185	232	63	75	56	138	96	71	209	43	302	131	72	72	34
			%	9.4	13.0	10.5	19.0	19.8	24.8	6.7	8.0	6.0	14.8	10.3	7.6	22.4	4.6	32.3	14.0	7.7	7.7	3.6
	女性	685	N	69	56	104	170	175	187	38	76	50	86	59	42	87	39	160	110	105	42	30
			%	10.1	8.2	15.2	24.8	25.5	27.3	5.5	11.1	7.3	12.6	8.6	6.1	12.7	5.7	23.4	16.1	15.3	6.1	4.4
	その他	2	N	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
			%	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	回答しない	13	N	0	3	2	5	1	2	0	0	2	2	3	1	0	1	3	0	1	0	1
			%	0.0	23.1	15.4	38.5	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	23.1	7.7	0.0	7.7	23.1	0.0	7.7	0.0



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（居住区別）

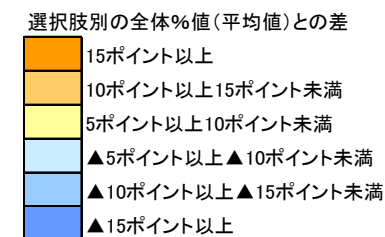
施設連携・回遊性向上は多摩区、宮前区、麻生区の回答比率が高い

- ① 生田緑地内の施設連携は、生田緑地のある多摩区、宮前区及び近隣の麻生区居住者の回答比率が高い。
- ② 施設連携以外の選択肢については、居住区による傾向の違いは見られない。



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（居住区別）

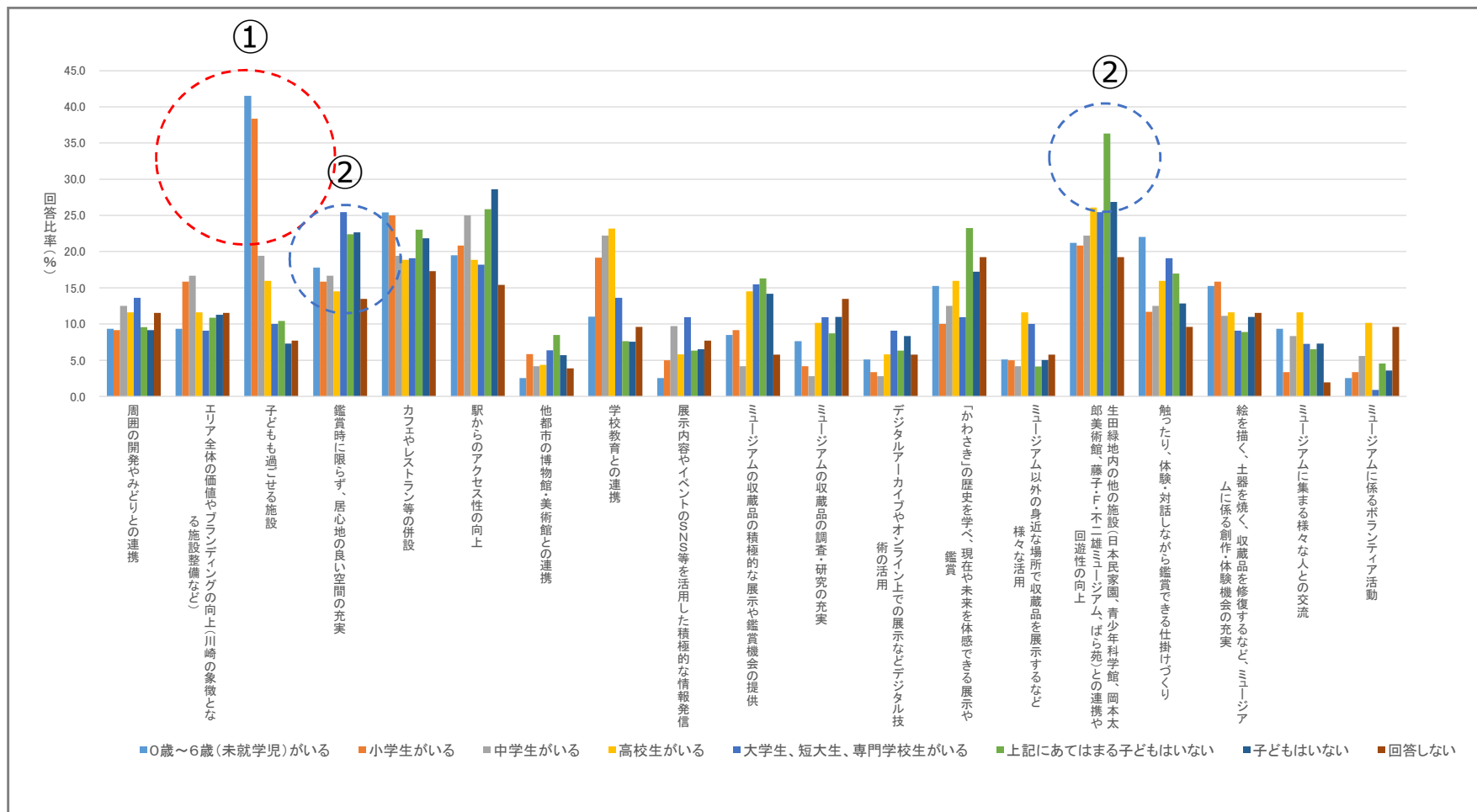
該当数	回答		周囲の開発やみどりとの連携	エリア全体の価値やブランドイン グの向上（川崎の象徴となる施設 整備など）	子どもも過ごせる施設	鑑賞時に限らず、居心地の良い空 間の充実	カフェやレストラン等の併設	駅からのアクセス性の向上	他都市の博物館・美術館との連携	学校教育との連携	展示内容やイベントのSNS等を 活用した積極的な情報発信	展示や鑑賞機会の提供	ミュージアムの収蔵品の積極的な 研究	デジタルアーカイブやオンライン 上での展示などデジタル技術の活 用	「かわさき」の歴史を学べ、現在 や未来を体感できる展示や鑑賞	ミュージアム以外の身近な場所で 収蔵品を展示するなど様々な活用	生田緑地内の他の施設（日本民家 園、青少年科学館、岡本太郎美術 館、藤子・F・不二雄ミュージア ム、ばら苑）との連携や回遊性の 向上	触ったり、体験・対話しながら鑑 賞できる仕掛けづくり	絵を描く、土器を焼く、収蔵品を 修復するなど、ミュージアムに係 る創作・体験機会の充実	ミュージアムに集まる様々な人と の交流	ミュージアムに係るボランティア 活動
全体	1635	N	157	182	204	353	361	421	102	152	108	226	158	115	296	83	465	241	178	114	65
		%	9.6	11.1	12.5	21.6	22.1	25.7	6.2	9.3	6.6	13.8	9.7	7.0	18.1	5.1	28.4	14.7	10.9	7.0	4.0
3 Q	川崎区	N	14	21	16	35	40	48	15	20	14	22	15	10	32	9	34	27	26	12	7
		%	7.3	11.0	8.4	18.3	20.9	25.1	7.9	10.5	7.3	11.5	7.9	5.2	16.8	4.7	17.8	14.1	13.6	6.3	3.7
	幸区	N	11	14	19	32	37	35	13	15	8	25	17	11	31	8	29	23	13	10	5
		%	7.3	9.3	12.6	21.2	24.5	23.2	8.6	9.9	5.3	16.6	11.3	7.3	20.5	5.3	19.2	15.2	8.6	6.6	3.3
	中原区	N	27	35	39	61	80	108	16	32	21	49	34	22	63	22	84	37	32	24	18
		%	8.2	10.6	11.9	18.5	24.3	32.8	4.9	9.7	6.4	14.9	10.3	6.7	19.1	6.7	25.5	11.2	9.7	7.3	5.5
	高津区	N	23	20	36	49	46	58	15	16	14	30	21	13	41	12	62	42	32	21	8
		%	10.0	8.7	15.6	21.2	19.9	25.1	6.5	6.9	6.1	13.0	9.1	5.6	17.7	5.2	26.8	18.2	13.9	9.1	3.5
	宮前区	N	25	18	22	54	50	49	15	19	15	28	23	15	35	13	69	29	24	17	11
		%	11.7	8.5	10.3	25.4	23.5	23.0	7.0	8.9	7.0	13.1	10.8	7.0	16.4	6.1	32.4	13.6	11.3	8.0	5.2
	多摩区	N	33	47	42	69	59	62	13	34	22	41	23	23	52	15	111	43	29	14	7
		%	11.2	16.0	14.3	23.5	20.1	21.1	4.4	11.6	7.5	13.9	7.8	7.8	17.7	5.1	37.8	14.6	9.9	4.8	2.4
	麻生区	N	23	24	23	45	45	54	15	10	8	25	18	17	33	4	69	38	16	16	9
		%	11.6	12.1	11.6	22.7	22.7	27.3	7.6	5.1	4.0	12.6	9.1	8.6	16.7	2.0	34.8	19.2	8.1	8.1	4.5
	川崎市外	N	1	3	7	8	4	7	0	6	6	6	7	4	9	0	7	2	6	0	0
		%	3.6	10.7	25.0	28.6	14.3	25.0	0.0	21.4	21.4	21.4	25.0	14.3	32.1	0.0	25.0	7.1	21.4	0.0	0.0



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（子どもの有無別）

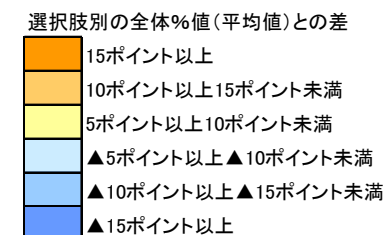
子どもの有無と自身の年齢により期待することに違い

- ① 小学生以下の子どもがいる人は「子どもと過ごせる施設」の回答比率が高い。
- ② 居心地のよい空間や施設連携は、子どもが大学生以上または子どものいない人の回答比率が高いが、これは回答者の年齢によるものと考えられる。



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（子どもの有無別）

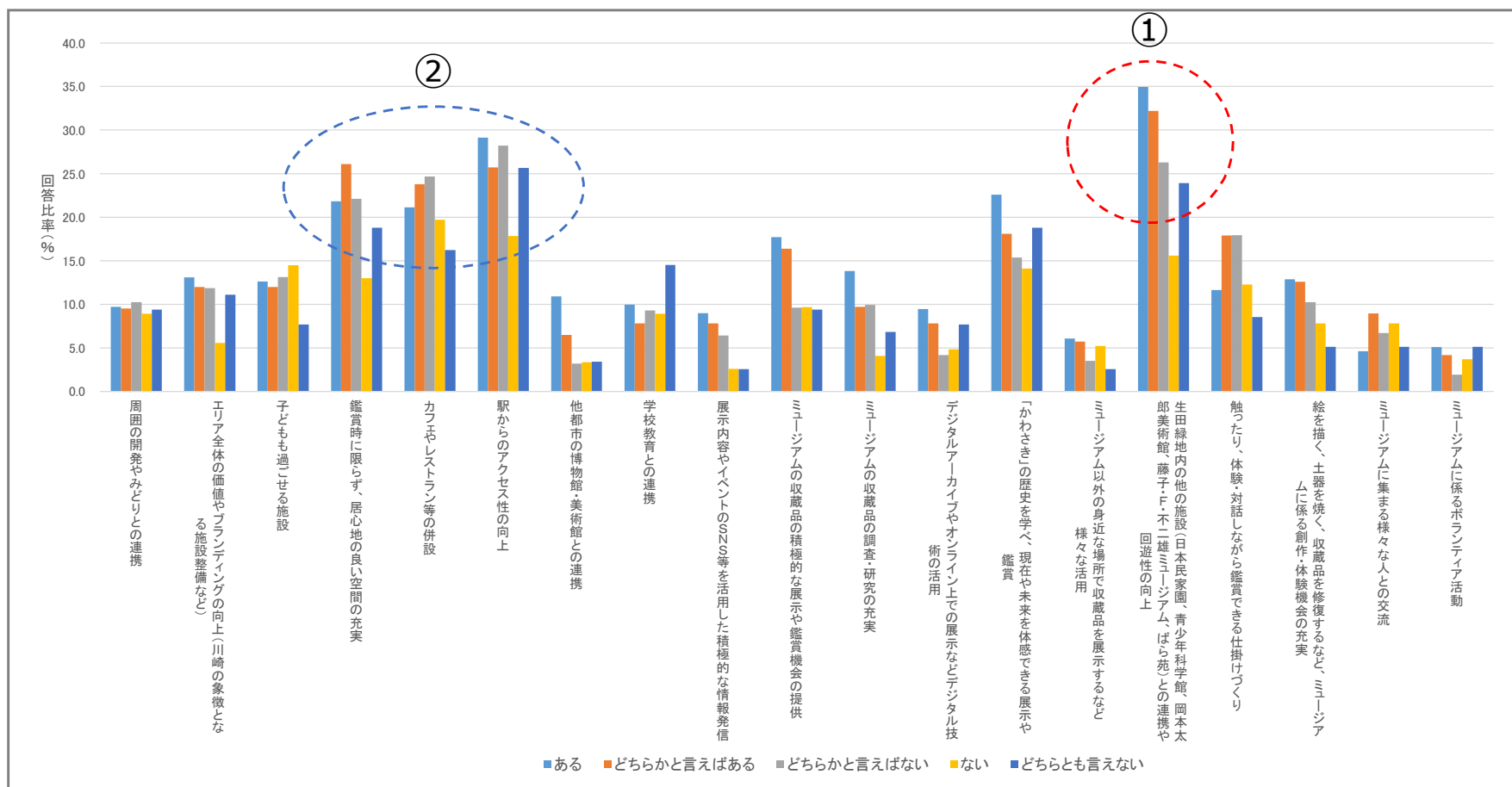
該当数	回答		周囲の開発やみどりと連携	エリア全体の価値やブランディングの向上（川崎の象徴となる施設整備など）	子どもも過ごせる施設	鑑賞時に限らず、居心地の良い空間の充実	カフェやレストラン等の併設	駅からのアクセス性の向上	他都市の博物館・美術館との連携	学校教育との連携	展示内容やイベントのSNS等を活用した積極的な情報発信	展示や鑑賞機会の提供	ミュージアムの収蔵品の積極的な	ミュージアムの収蔵品の調査・研究の充実	デジタルアーカイブやオンラインでの展示などデジタル技術の活用	「かわさき」の歴史を学べ、現在や未来を体感できる展示や鑑賞	ミュージアム以外の身近な場所で収蔵品を展示するなど様々な活用	生田緑地内の他の施設（日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館、ばら苑）との連携や回遊性の向上	触ったり、体験・対話しながら鑑賞できる仕掛けづくり	修復するなど、ミュージアムに係る創作・体験機会の充実	絵を描く、土器を焼く、収蔵品を	ミュージアムに集まる様々な人との交流	ミュージアムに係るボランティア活動	
																								N
全体	1635		157	182	204	353	361	421	102	152	108	226	158	115	296	83	465	241	178	114	65			
			9.6	11.1	12.5	21.6	22.1	25.7	6.2	9.3	6.6	13.8	9.7	7.0	18.1	5.1	28.4	14.7	10.9	7.0	4.0			
4 Q	0歳～6歳(未就学児)がいる	118	N	11	11	49	21	30	23	3	13	3	10	9	6	18	6	25	26	18	11	3		
			%	9.3	9.3	41.5	17.8	25.4	19.5	2.5	11.0	2.5	8.5	7.6	5.1	15.3	5.1	21.2	22.0	15.3	9.3	2.5		
	小学生がいる	120	N	11	19	46	19	30	25	7	23	6	11	5	4	12	6	25	14	19	4	4		
			%	9.2	15.8	38.3	15.8	25.0	20.8	5.8	19.2	5.0	9.2	4.2	3.3	10.0	5.0	20.8	11.7	15.8	3.3	3.3		
	中学生がいる	72	N	9	12	14	12	14	18	3	16	7	3	2	2	9	3	16	9	8	6	4		
			%	12.5	16.7	19.4	16.7	19.4	25.0	4.2	22.2	9.7	4.2	2.8	2.8	12.5	4.2	22.2	12.5	11.1	8.3	5.6		
	高校生がいる	69	N	8	8	11	10	13	13	3	16	4	10	7	4	11	8	18	11	8	8	7		
			%	11.6	11.6	15.9	14.5	18.8	18.8	4.3	23.2	5.8	14.5	10.1	5.8	15.9	11.6	26.1	15.9	11.6	11.6	10.1		
	大学生、短大生、専門学校生がいる	110	N	15	10	11	28	21	20	7	15	12	17	12	10	12	11	28	21	10	8	1		
			%	13.6	9.1	10.0	25.5	19.1	18.2	6.4	13.6	10.9	15.5	10.9	9.1	10.9	10.0	25.5	19.1	9.1	7.3	0.9		
	上記にあてはまる子どもはいない	460	N	44	50	48	103	106	119	39	35	29	75	40	29	107	19	167	78	41	30	21		
			%	9.6	10.9	10.4	22.4	23.0	25.9	8.5	7.6	6.3	16.3	8.7	6.3	23.3	4.1	36.3	17.0	8.9	6.5	4.6		
	子どもはいない	755	N	69	85	55	171	165	216	43	57	49	107	83	63	130	38	203	97	83	55	27		
			%	9.1	11.3	7.3	22.6	21.9	28.6	5.7	7.5	6.5	14.2	11.0	8.3	17.2	5.0	26.9	12.8	11.0	7.3	3.6		
回答しない	52	N	6	6	4	7	9	8	2	5	4	3	7	3	10	3	10	5	6	1	5			
		%	11.5	11.5	7.7	13.5	17.3	15.4	3.8	9.6	7.7	5.8	13.5	5.8	19.2	5.8	19.2	9.6	11.5	1.9	9.6			



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（関心の有無別）

関心のある人ほど施設連携・回遊性向上の回答比率が高く 利便性、快適性は関心の有無に関わらず回答比率が高い

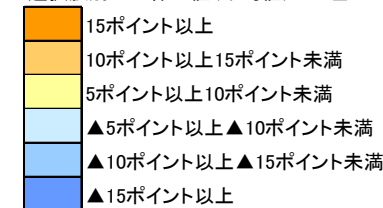
- ① 「生田緑地内の他の施設との連携・回遊性の向上」は、関心が高いほど回答比率が高い。
- ② 「駅からのアクセス性の向上」「居心地のよい空間の充実」「カフェやレストランの充実」は、関心が「どちらかと言えない」人を含め、回答比率が高い。



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（関心の有無別）

該当数	回答		周囲の開発やみどりとの連携	エリア全体の価値やブランドイメージの向上（川崎の象徴となる施設整備など）	子どもも過ごせる施設	鑑賞時に限らず、居心地の良い空間の充実	カフェやレストラン等の併設	駅からのアクセス性の向上	他都市の博物館・美術館との連携	学校教育との連携	展示内容やイベントのSNS等を活用した積極的な情報発信	展示や鑑賞機会の提供	ミュージアムの収蔵品の積極的な	ミュージアムの収蔵品の調査・研究の充実	デジタルアーカイブやオンライン上の展示などデジタル技術の活用	「かわさき」の歴史を学べ、現在や未来を体感できる展示や鑑賞	ミュージアム以外の身近な場所でも展示するなど様々な活用	生田緑地内の施設（日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館、ばら苑）との連携や回遊性の向上	触ったり、体験・対話しながら鑑賞できる仕掛けづくり	修復するなど、土器を焼く、収蔵品を創作・体験機会の充実	ミュージアムに集まる様々な人との交流	ミュージアムに係るボランティア活動
全体	1635	N	157	182	204	353	361	421	102	152	108	226	158	115	296	83	465	241	178	114	65	
		%	9.6	11.1	12.5	21.6	22.1	25.7	6.2	9.3	6.6	13.8	9.7	7.0	18.1	5.1	28.4	14.7	10.9	7.0	4.0	
5 Q	ある	N	40	54	52	90	87	120	45	41	37	73	57	39	93	25	144	48	53	19	21	
		%	9.7	13.1	12.6	21.8	21.1	29.1	10.9	10.0	9.0	17.7	13.8	9.5	22.6	6.1	35.0	11.7	12.9	4.6	5.1	
	どちらかと言えばある	N	50	63	63	137	125	135	34	41	41	86	51	41	95	30	169	94	66	47	22	
		%	9.5	12.0	12.0	26.1	23.8	25.7	6.5	7.8	7.8	16.4	9.7	7.8	18.1	5.7	32.2	17.9	12.6	9.0	4.2	
	どちらかと言えない	N	32	37	41	69	77	88	10	29	20	30	31	13	48	11	82	56	32	21	6	
		%	10.3	11.9	13.1	22.1	24.7	28.2	3.2	9.3	6.4	9.6	9.9	4.2	15.4	3.5	26.3	17.9	10.3	6.7	1.9	
	ない	N	24	15	39	35	53	48	9	24	7	26	11	13	38	14	42	33	21	21	10	
		%	8.9	5.6	14.5	13.0	19.7	17.8	3.3	8.9	2.6	9.7	4.1	4.8	14.1	5.2	15.6	12.3	7.8	7.8	3.7	
	どちらとも言えない	N	11	13	9	22	19	30	4	17	3	11	8	9	22	3	28	10	6	6	6	
		%	9.4	11.1	7.7	18.8	16.2	25.6	3.4	14.5	2.6	9.4	6.8	7.7	18.8	2.6	23.9	8.5	5.1	5.1	5.1	

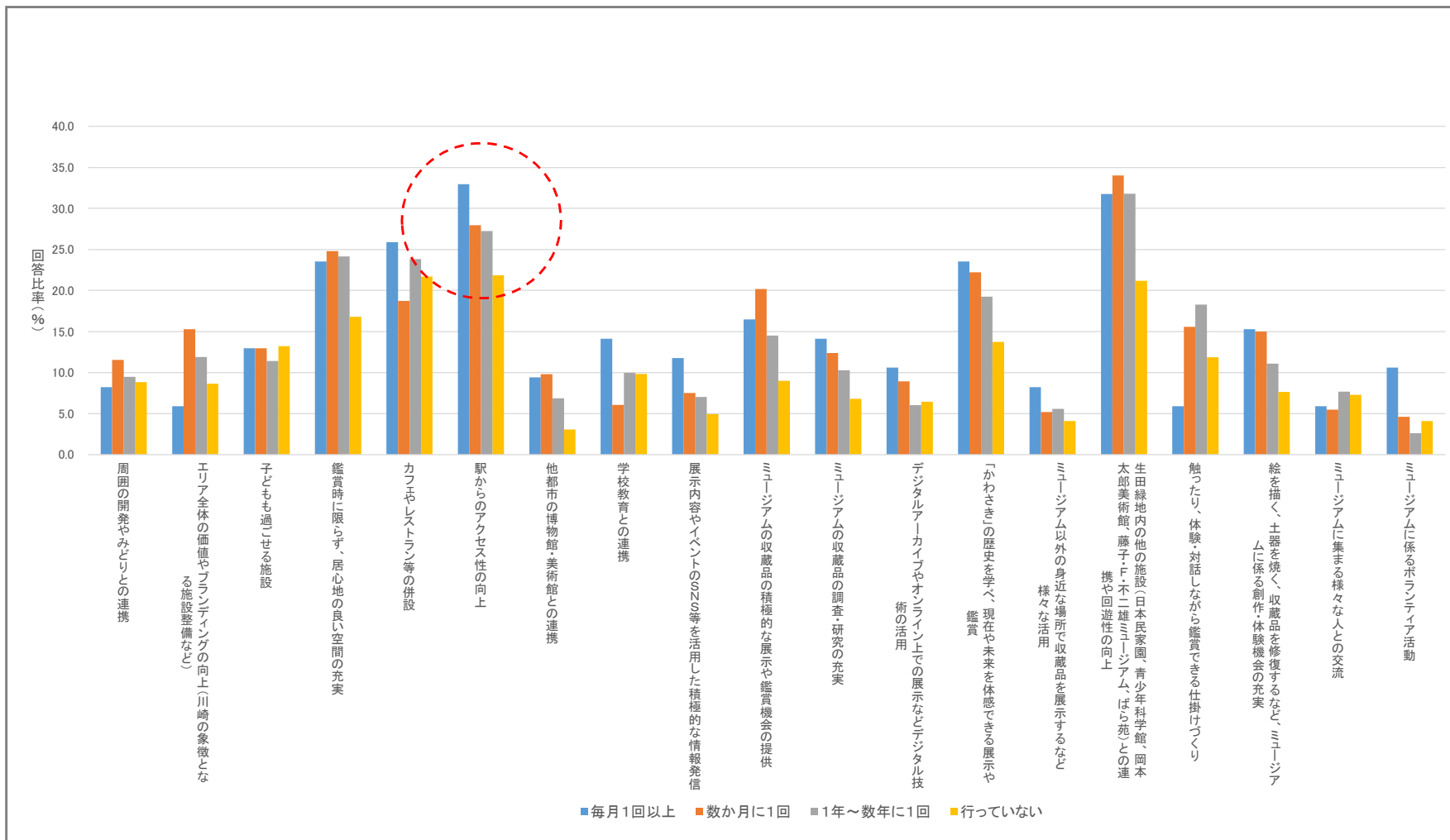
選択肢別の全体%値(平均値)との差



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（博物館・美術館の利用頻度別）

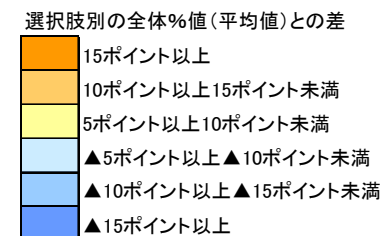
利用頻度の高い層は利便性、快適性を重視

利用頻度が毎月1回以上の人には「駅からのアクセス性の向上」の回答比率が最も高い。



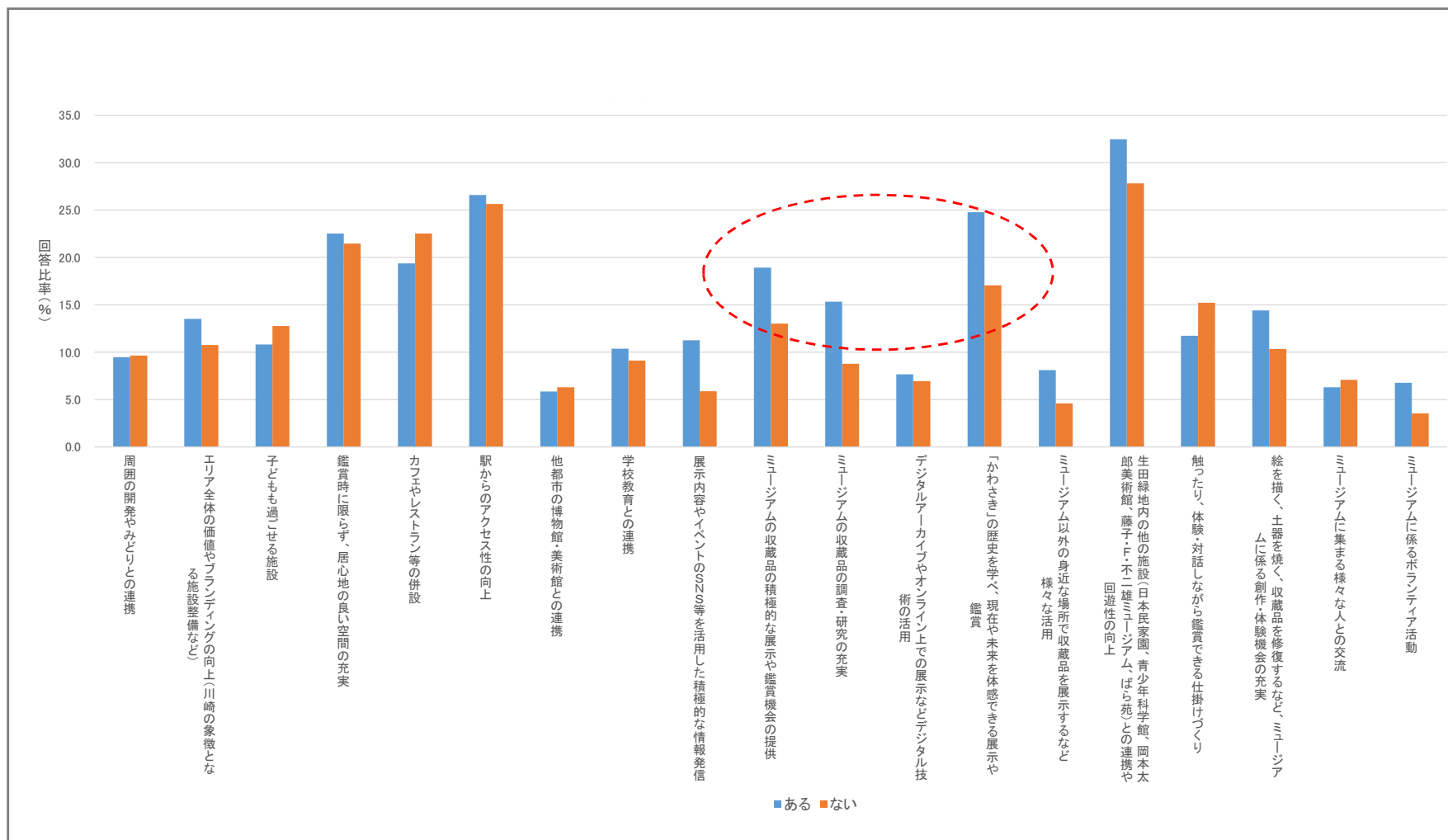
問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（博物館・美術館の利用頻度別）

	該当数	回答	周囲の開発やみどりとの連携	エリア全体の価値やブランドの向上（川崎の象徴となる施設整備など）	子どもも過ごせる施設	鑑賞時に限らず、居心地の良い空間の充実	カフェやレストラン等の併設	駅からのアクセス性の向上	他都市の博物館・美術館との連携	学校教育との連携	展示内容やイベントのSNS等を活用した積極的な情報発信	展示や鑑賞機会の提供	ミュージアムの収蔵品の調査・研究の充実	デジタルアーカイブやオンライン活用上での展示などデジタル技術の活用	「かわさき」の歴史を学べ、現在や未来を体感できる展示や鑑賞	ミュージアム以外の身近な場所で収蔵品を展示するなど様々な場所用	生田緑地内の他の施設（日本民衆園、青少年科学館、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアム、ばら苑）との連携や回遊性の向上	触ったり、体験・対話しながら鑑賞できる仕掛けづくり	修復するなど、ミュージアムに係る創作・体験機会の充実	絵を描く、土器を焼く、収蔵品を修復するなど、ミュージアムに係る創作・体験機会の充実	ミュージアムに集まる様々な人との交流	ミュージアムに係るボランティア活動
全体	1635	N	157	182	204	353	361	421	102	152	108	226	158	115	296	83	465	241	178	114	65	
		%	9.6	11.1	12.5	21.6	22.1	25.7	6.2	9.3	6.6	13.8	9.7	7.0	18.1	5.1	28.4	14.7	10.9	7.0	4.0	
6 Q	毎月1回以上	N	7	5	11	20	22	28	8	12	10	14	12	9	20	7	27	5	13	5	9	
		%	8.2	5.9	12.9	23.5	25.9	32.9	9.4	14.1	11.8	16.5	14.1	10.6	23.5	8.2	31.8	5.9	15.3	5.9	10.6	
	数か月に1回	N	40	53	45	86	65	97	34	21	26	70	43	31	77	18	118	54	52	19	16	
		%	11.5	15.3	13.0	24.8	18.7	28.0	9.8	6.1	7.5	20.2	12.4	8.9	22.2	5.2	34.0	15.6	15.0	5.5	4.6	
	1年～数年に1回	N	58	73	70	148	146	167	42	61	43	89	63	37	118	34	195	112	68	47	16	
		%	9.5	11.9	11.4	24.1	23.8	27.2	6.9	10.0	7.0	14.5	10.3	6.0	19.2	5.5	31.8	18.3	11.1	7.7	2.6	
	行っていない	N	52	51	78	99	128	129	18	58	29	53	40	38	81	24	125	70	45	43	24	
		%	8.8	8.6	13.2	16.8	21.7	21.9	3.1	9.8	4.9	9.0	6.8	6.4	13.7	4.1	21.2	11.9	7.6	7.3	4.1	



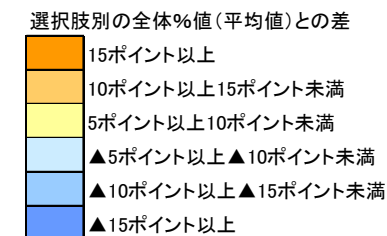
問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている
「新たなミュージアム」について期待すること（活動の有無別）

活動していることがある人は、「かわさきの歴史」や「収蔵品の積極的な展示と鑑賞機会」「調査研究の充実」の回答比率が高い



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている 「新たなミュージアム」について期待すること（活動の有無別）

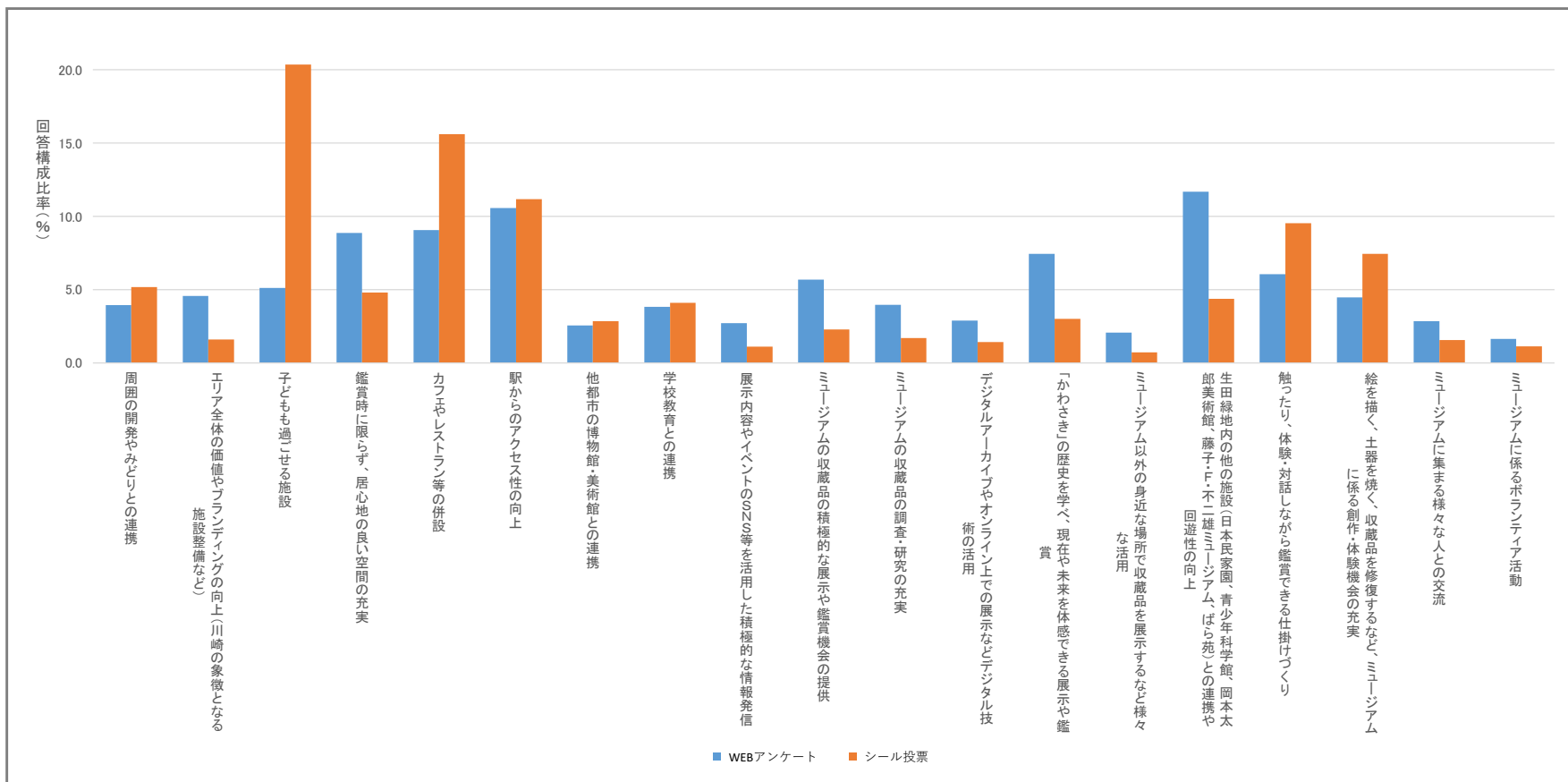
	該当数	回答	周囲の開発やみどりとの連携	エリア全体の価値やブランディングの向上（川崎の象徴となる施設整備など）	子どもも過ごせる施設	鑑賞時に限らず、居心地の良い空間の充実	カフェやレストラン等の併設	駅からのアクセス性の向上	他都市の博物館・美術館との連携	学校教育との連携	展示内容やイベントのSNS等を活用した積極的な情報発信	展示や鑑賞機会の提供	ミュージアムの収蔵品の積極的な	ミュージアムの収蔵品の調査・研究の充実	デジタルアーカイブやオンラインでの展示などデジタル技術の活用	「かわさき」の歴史を学べ、現在や未来を体感できる展示や鑑賞	ミュージアム以外の身近な場所で収蔵品を展示するなど様々な活用	生田緑地内の他の施設（日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアム、ばら苑）との連携や回遊性の向上	触ったり、体験・対話しながら鑑賞できる仕掛けづくり	絵を描く、土器を焼く、収蔵品を修復するなど、ミュージアムに係る創作・体験機会の充実	ミュージアムに集まる様々な人との交流	ミュージアムに係るボランティア活動
全体	1635	N	157	182	204	353	361	421	102	152	108	226	158	115	296	83	465	241	178	114	65	
		%	9.6	11.1	12.5	21.6	22.1	25.7	6.2	9.3	6.6	13.8	9.7	7.0	18.1	5.1	28.4	14.7	10.9	7.0	4.0	
7 Q	ある	N	21	30	24	50	43	59	13	23	25	42	34	17	55	18	72	26	32	14	15	
		%	9.5	13.5	10.8	22.5	19.4	26.6	5.9	10.4	11.3	18.9	15.3	7.7	24.8	8.1	32.4	11.7	14.4	6.3	6.8	
	ない	N	136	152	180	303	318	362	89	129	83	184	124	98	241	65	393	215	146	100	50	
		%	9.6	10.8	12.7	21.4	22.5	25.6	6.3	9.1	5.9	13.0	8.8	6.9	17.1	4.6	27.8	15.2	10.3	7.1	3.5	



問17 「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている「新たなミュージアム」について期待すること（オープンハウス型説明会におけるシール投票との比較）

「小さな子ども連れファミリー層」というシール投票者の特性から、家族で気軽に訪れられ、インタラクティブな体験可能なミュージアムへ期待

- シール投票では、各イベントの来場者である投票者の特性が反映され、「子どもと過ごせる施設」の回答比率が最も高く、次いで「カフェやレストランの充実」「駅からのアクセス性の向上」
- 「体験・対話しながら鑑賞できる仕掛けづくり」「創作・体験機会の充実」の回答比率が高い点も、シール投票の特徴



※シール投票は1人最大3票まで投票可能としたことから、投票数 = 投票者数ではない。そのためこのグラフでは、投票総数に対する当該選択肢の投票数の比率（回答構成比率）となっている。

属性別傾向分析

若年層と高齢者層で対照的な傾向、30歳代は「小さな子ども」の取組に特徴

年代	特徴的な傾向
若年層 (10～20歳代)	<p>交流や体験、次世代人材の育成や地域の未来に向けた取組を重視 歴史・文化の継承や学習に対する評価が比較的低い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機能では教育普及と交流を重視。展示公開、調査研究、収集保存に対する評価は比較的低い。 ● 10歳代は体験型のプログラム、自分のペースで鑑賞できるプログラムを重視。教養講座やワークショップに対する評価が低い。 ● 普段ミュージアムに足を運ぶことのない人と交流できる機会に対する評価が高く、コレクションを活用した学芸員やアーティストとの対話に対する評価が低い。 ● 10歳代で、地域や社会に貢献してみたいと考える人たち、研究員・学芸員・ミュージアム運営スタッフの志望者、若手アーティストやアーティストを目指すひとたちの育成や支援に対する評価が高い。一方、10～20歳代では文化財やその継承に関心がある人たちに対する評価が低い。 ● 地域のにぎわいづくり、アートを活用したまちづくり、社会問題や地域課題の解決、地域経済への貢献を重視する半面、歴史や文化を活用したまちづくりや地域の自然や環境保全活動に対する評価は低い。 ● 生田緑地内の他施設との連携や回遊性に対する評価が低い（30歳代を含む）。
30歳代	<p>小さな子どもを対象としたプログラムや取組を重視する傾向に特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若年層と同様、教育普及を重視する一方、収集保存に対する評価が低い。 ● 小さな子ども連れで参加できるプログラムや子育て世代で交流できる機会に対する評価が全世代で最も高い。 ● 社会貢献では若年層と同様に地域のにぎわいづくりを重視。 ● 対話しながら見学できるプログラムや周りを気にせず鑑賞できるプログラムへの評価が低い。
40～50歳代	<p>回答者全体の傾向と概ね同じ傾向を示す（50歳代の回答者数が多いことも影響）</p>
高齢者層 (60歳代、70歳代以上)	<p>歴史・文化の継承・学習・活用を重視、若年層と対照的な傾向を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 収集・保存機能を他の世代よりも重視。 ● 教養講座や対話しながら鑑賞できるプログラム、自分のペースで鑑賞できるプログラムへの評価が高い。 ● 文化財やその継承に関心がある人たちの育成や支援を重視。 ● 70歳代以上では、さまざまな世代に伝え、ともに学ぶことができる機会に対する評価が高い一方で、普段ミュージアムに足を運ぶことのない人と交流できる機会に対する評価が低い。 ● 地域の自然や環境保全活動、地域の魅力の発信、歴史や文化を活用したまちづくりなどへの評価が高い。 ● 70歳代で生田緑地内の他施設との連携や回遊性に対する評価が高い。

子どものいる人は、教育普及や人材育成を重視 子育て世代の交流や制作体験、子どもと利用できるプログラムや施設にニーズがある 歴史・文化の継承に関する評価が低い

【子どもがいる人に特徴的な傾向】

- 教育普及機能を重視する一方で収集保存に対する評価が低い。
- 子どもの年齢が低いほど教育普及を重視。中学生や大学生の子どもがいる人は、人材育成に対する評価も高い。
- 子どもの年齢が低くなるほど、小さな子ども連れで参加できるプログラムを重視。一方で自分のペースで鑑賞できるプログラムへの評価は低い。
- 中学生や高校生の子どもがいる人では、アーティストの作品制作に参加したり、協力できるプログラムへの評価が高い。
- 子育て世代同士が交流できる機会への評価が高い。小学生や中・高校生の子どもがいる人は、作品制作ができる機会への評価も高い。
体験・体感を共有する機会やコレクションを活用して学芸員等と対話できる機会への評価は比較的低い。
- 対象とすべき人々では、若手アーティストやアーティストを目指す人たちの育成や支援への評価が高く、中学生や高校生がいる人で特に高い。
一方で文化財やその継承に関心がある人たちへの評価は低い。
- 地域のにぎわいづくり、アーティストを活用したまちづくりへの評価が高い。一方で、地域の自然や環境保全活動への評価は低い。
- 生田緑地に関しては、未就学児や小学生のいる人で子どもと過ごせる施設への評価が特に高い。小・中・高校生のいる人では学校教育との連携も重視している。一方で生田緑地内の施設の連携や回遊性の向上に対する評価はやや低い。

コレクションを通じた対話や学びの共有、歴史・文化を活かしたまちづくりなど、これまでの博物館・美術館が果たしてきた、博物館・美術館ならではの役割の充実に対する期待が高い

【関心・行動層※に特徴的な傾向】

※博物館・美術館や文化芸術に関心がある人（どちらかと言えばあるを含む）、博物館・美術館を数か月に1回以上利用する人、博物館・美術館・文化芸術全般に関して普段から行っている活動がある人

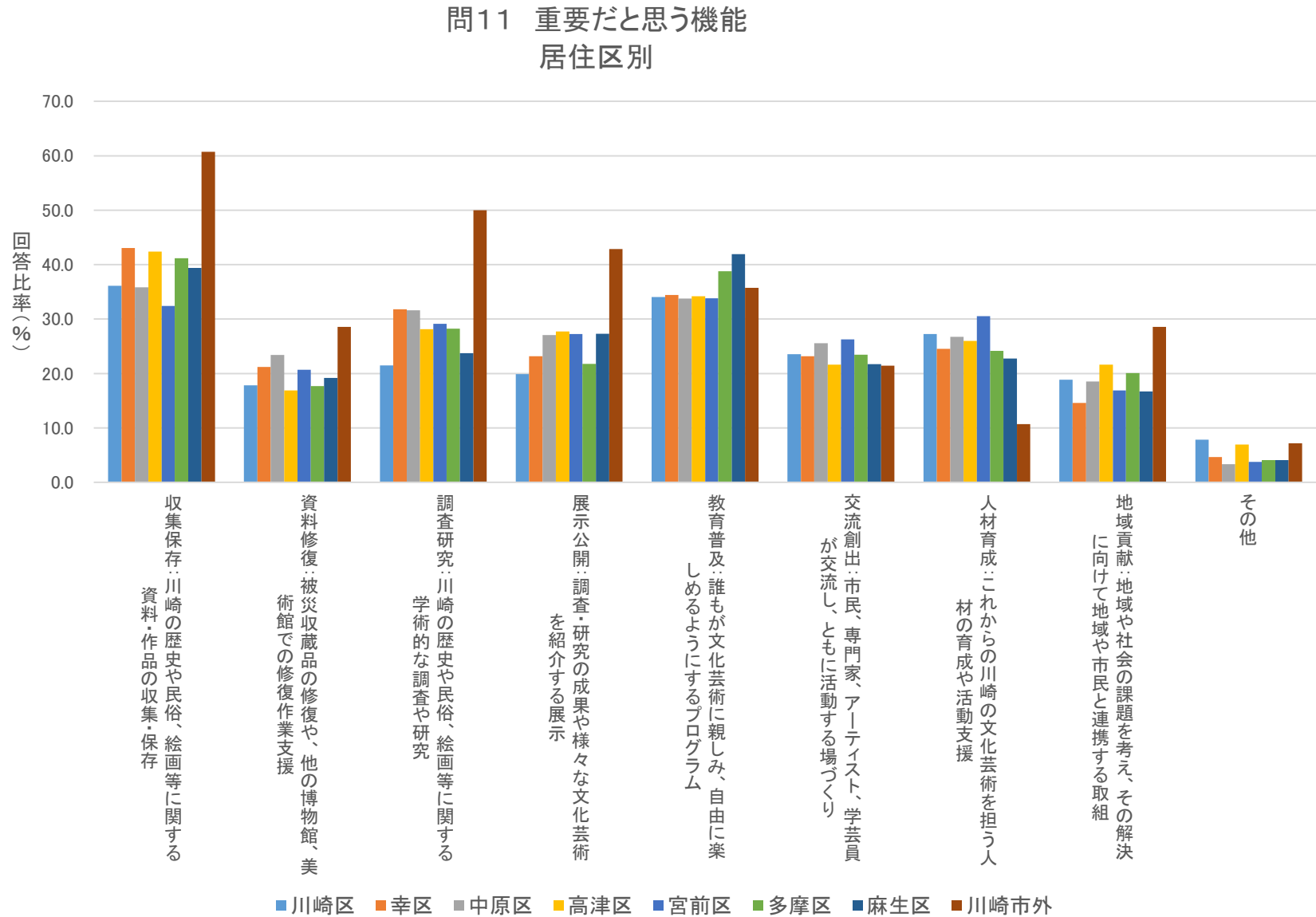
- 全体的に回答比率が高く、新しいミュージアムに対する関心と期待の高さがうかがえる。
- 重視する機能では調査研究、展示公開、教育普及が特に高い。
- 関心のある人、とくに月1回以上博物館・美術館を利用する人では、学芸員等と対話しながら見学できるプログラムへの評価が特に高い。一方で自分のペースで鑑賞できるプログラムへの評価が低い。
- 関心層・行動層はコレクションを活用した鑑賞の場で学芸員やアーティストと対話できる機会への評価が特に高い。また、さまざまな世代に伝え、ともに学ぶ機会への評価が比較的高い。
- ミュージアムや文化芸術を通して、地域や社会に貢献してみたいと考える人たちの育成や支援に関する評価が高い。
- 歴史や文化を活用したまちづくりに対する評価が高い。
- 月1回以上利用する人では、駅からのアクセス性の向上や積極的な情報発信、川崎の歴史や未来を体感できる展示や鑑賞、ミュージアムボランティアに関する評価が高い。

居住区別傾向分析（参考）

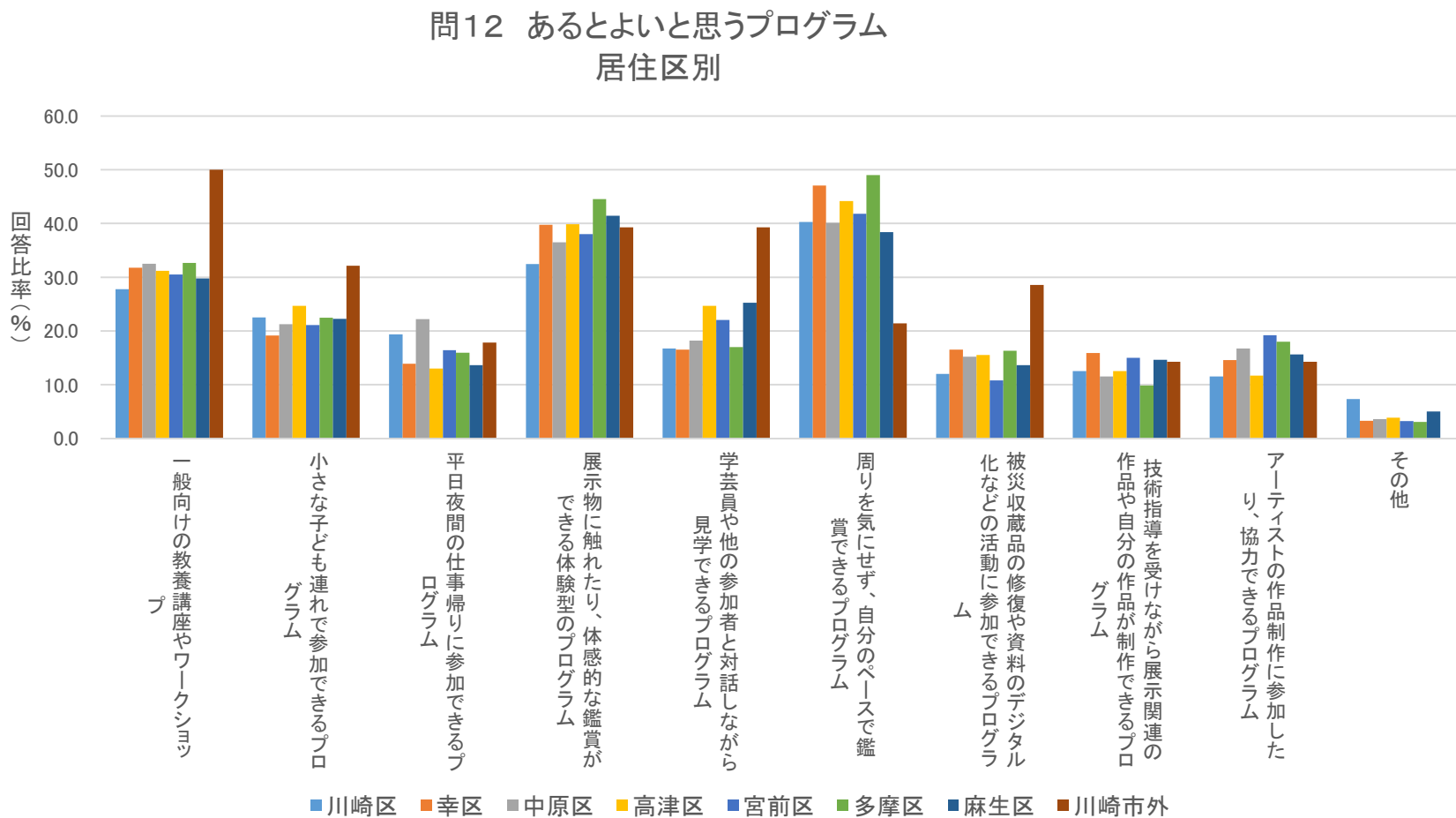
※居住区別クロス集計・分析は、問17を除き居住区による明確な違いがないため割愛した。
集計結果を参考のため添付する。



問11 重要だと思う機能（居住区別）



問12 あるとよいと思うプログラム（居住区別）



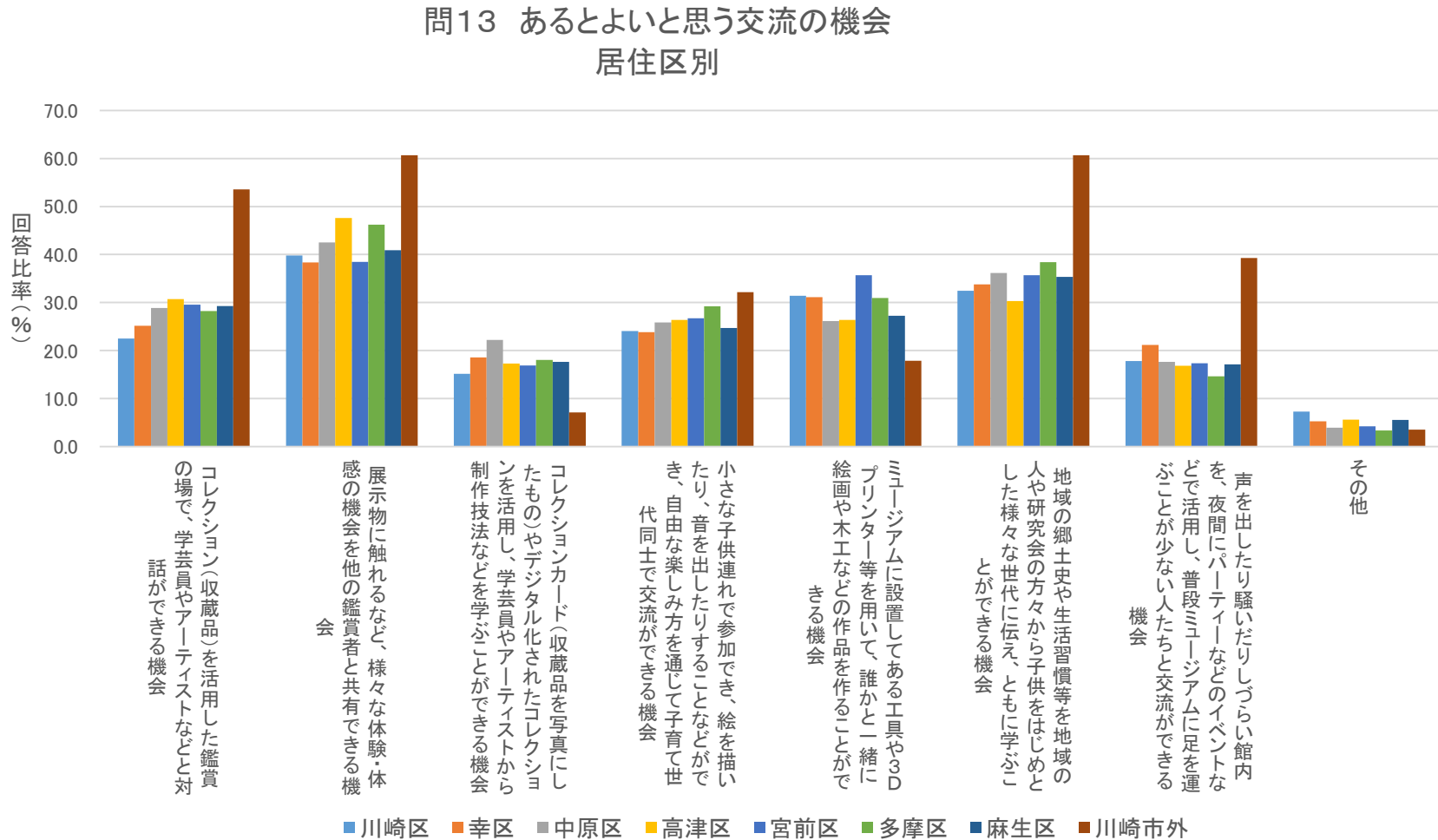
問12 あるとよと思うプログラム（居住区別）

		該当数	回答	一般向けの ワークショップ	小さな子ども 連れで参加で きるプログラム	平日夜間の仕 事帰りに参加で きるプログラム	展示物に触れ たり、体験型 のプログラムの 鑑賞ができる	学芸員や他の 参加者と対話 しながら見学 できるプログラ ム	周りを気にせ ず、自分のペ ー	被災収蔵品の 修復や資料の デジタル化など の活動に参加 できるプログラ ム	技術指導を受け ながら作品が展 示できるプログラ ム	アーティスト、 協力の作品制作 に参加できるラ ム	その他
全体		1635	N	514	363	275	639	332	697	240	209	255	66
			%	31.4	22.2	16.8	39.1	20.3	42.6	14.7	12.8	15.6	4.0
3 Q	川崎区	191	N	53	43	37	62	32	77	23	24	22	14
			%	27.7	22.5	19.4	32.5	16.8	40.3	12.0	12.6	11.5	7.3
	幸区	151	N	48	29	21	60	25	71	25	24	22	5
			%	31.8	19.2	13.9	39.7	16.6	47.0	16.6	15.9	14.6	3.3
	中原区	329	N	107	70	73	120	60	132	50	38	55	12
			%	32.5	21.3	22.2	36.5	18.2	40.1	15.2	11.6	16.7	3.6
	高津区	231	N	72	57	30	92	57	102	36	29	27	9
			%	31.2	24.7	13.0	39.8	24.7	44.2	15.6	12.6	11.7	3.9
	宮前区	213	N	65	45	35	81	47	89	23	32	41	7
			%	30.5	21.1	16.4	38.0	22.1	41.8	10.8	15.0	19.2	3.3
	多摩区	294	N	96	66	47	131	50	144	48	29	53	9
			%	32.7	22.4	16.0	44.6	17.0	49.0	16.3	9.9	18.0	3.1
	麻生区	198	N	59	44	27	82	50	76	27	29	31	10
			%	29.8	22.2	13.6	41.4	25.3	38.4	13.6	14.6	15.7	5.1
	川崎市外	28	N	14	9	5	11	11	6	8	4	4	0
			%	50.0	32.1	17.9	39.3	39.3	21.4	28.6	14.3	14.3	0.0

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

問13 あるとよいと思う交流の機会（居住区別）



問13 あるとよと思う交流の機会（居住区別）

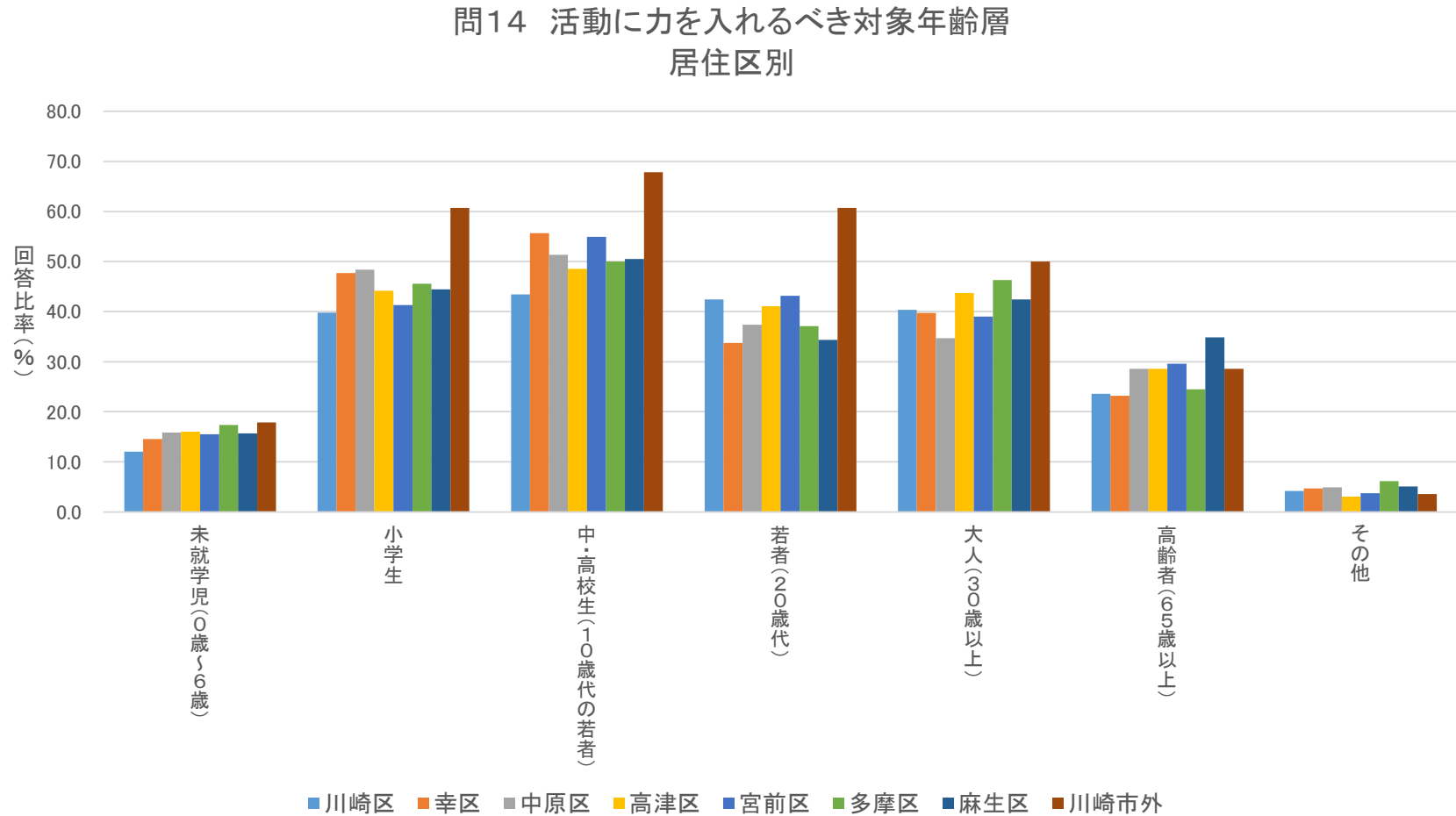
		該当数	回答	コレクション（収蔵品）を活用した鑑賞の場や、学芸員やアーティストなど対話ができる機会	展示物に触れるなどの鑑賞者と共有できる機会	ワークショップや講座など制作技法などを学ぶことができる機会	コレクションカード（収蔵品）やデジタル化されたコレクションの活用し、学芸員と交流が通	描いたり音を出したりする機会	小さな子供連れで参加でき、絵を一緒に描いたり音を出したりする機会	ミュージアムに設置してある作品を一緒に鑑賞する機会	地域の郷土史や生活習慣等を地域の人々と共有できる機会	声を出したり騒いだりしない館内を夜間に活用し、普段の交流に足る機会	その他
全体		1635	N	466	700	296	429	480	578	288	79		
			%	28.5	42.8	18.1	26.2	29.4	35.4	17.6	4.8		
3 Q	川崎区	191	N	43	76	29	46	60	62	34	14		
			%	22.5	39.8	15.2	24.1	31.4	32.5	17.8	7.3		
	幸区	151	N	38	58	28	36	47	51	32	8		
			%	25.2	38.4	18.5	23.8	31.1	33.8	21.2	5.3		
	中原区	329	N	95	140	73	85	86	119	58	13		
			%	28.9	42.6	22.2	25.8	26.1	36.2	17.6	4.0		
	高津区	231	N	71	110	40	61	61	70	39	13		
			%	30.7	47.6	17.3	26.4	26.4	30.3	16.9	5.6		
	宮前区	213	N	63	82	36	57	76	76	37	9		
			%	29.6	38.5	16.9	26.8	35.7	35.7	17.4	4.2		
	多摩区	294	N	83	136	53	86	91	113	43	10		
			%	28.2	46.3	18.0	29.3	31.0	38.4	14.6	3.4		
	麻生区	198	N	58	81	35	49	54	70	34	11		
			%	29.3	40.9	17.7	24.7	27.3	35.4	17.2	5.6		
	川崎市外	28	N	15	17	2	9	5	17	11	1		
			%	53.6	60.7	7.1	32.1	17.9	60.7	39.3	3.6		

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（居住区別）



問14 活動に力を入れるべき対象年齢層（居住区別）

		該当数	回答	未就学児 (0歳～6歳)	小学生	中・高校生 (10歳代の若者)	若者 (20歳代)	大人 (30歳以上)	高齢者 (65歳以上)	その他
全体		1635	N	254	736	831	636	669	452	75
			%	15.5	45.0	50.8	38.9	40.9	27.6	4.6
3 Q	川崎区	191	N	23	76	83	81	77	45	8
			%	12.0	39.8	43.5	42.4	40.3	23.6	4.2
	幸区	151	N	22	72	84	51	60	35	7
			%	14.6	47.7	55.6	33.8	39.7	23.2	4.6
	中原区	329	N	52	159	169	123	114	94	16
			%	15.8	48.3	51.4	37.4	34.7	28.6	4.9
	高津区	231	N	37	102	112	95	101	66	7
			%	16.0	44.2	48.5	41.1	43.7	28.6	3.0
	宮前区	213	N	33	88	117	92	83	63	8
			%	15.5	41.3	54.9	43.2	39.0	29.6	3.8
	多摩区	294	N	51	134	147	109	136	72	18
			%	17.3	45.6	50.0	37.1	46.3	24.5	6.1
	麻生区	198	N	31	88	100	68	84	69	10
			%	15.7	44.4	50.5	34.3	42.4	34.8	5.1
	川崎市外	28	N	5	17	19	17	14	8	1
			%	17.9	60.7	67.9	60.7	50.0	28.6	3.6

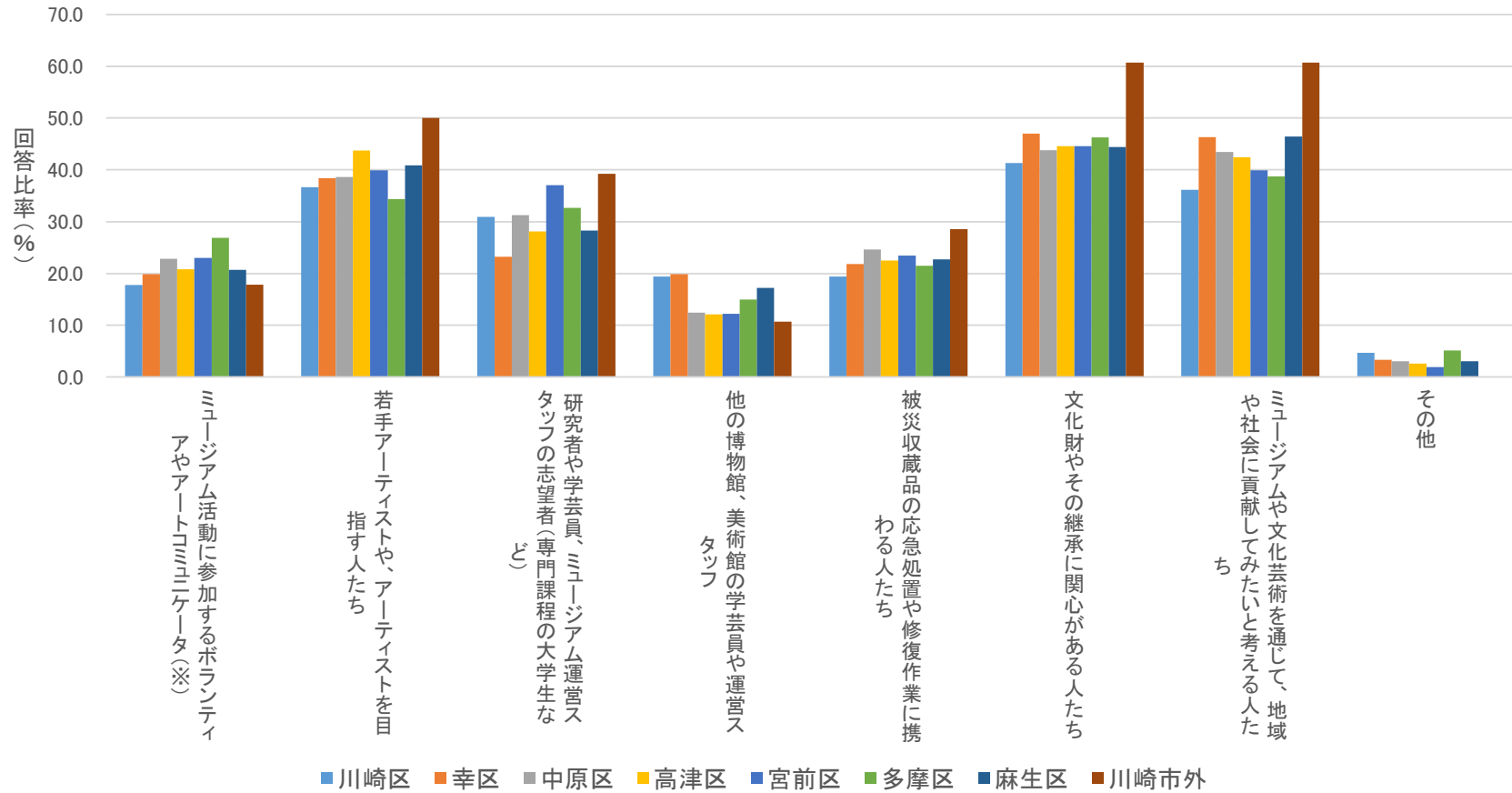
選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（居住区別）

問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象
居住区別



問15 活動や育成支援に力を入れるべき対象（居住区別）

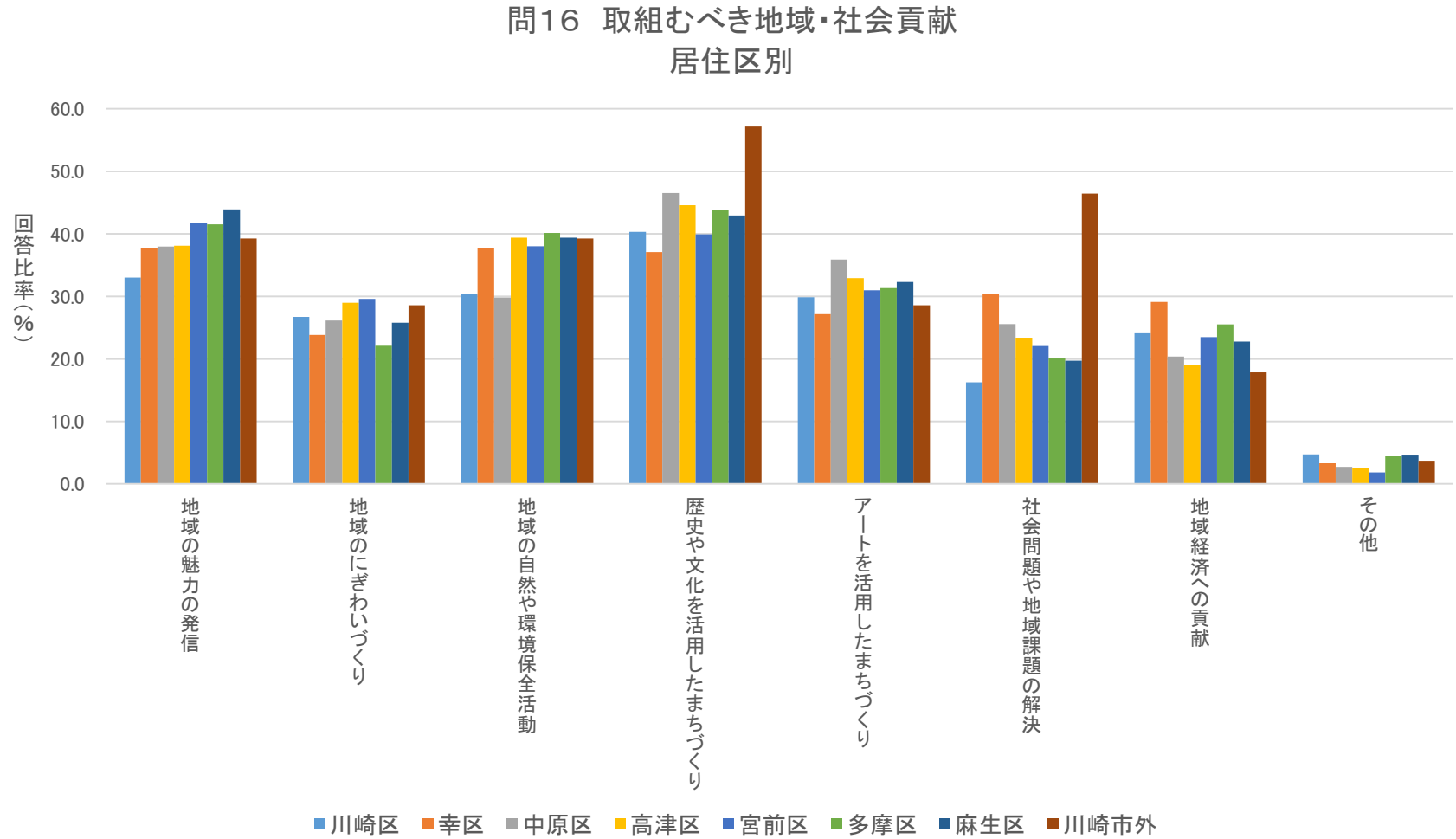
		該当数	回答	ニ ケ ー タ （※）	ポ ラ ン テ ィ ア や ア ー ト コ ミ ュ	ミ ュ ー ジ ア ム 活 動 に 参 加 す る	テ ィ ス ト を 目 指 す 人 た ち	若 手 ア ー テ ィ ス ト や 、 ア ー	門 課 程 の 大 学 生 な ど	研 究 者 や 学 芸 員 、 ミ ュ ー ジ ア	ム 運 営 ス タ フ の 志 望 者 （ 専	他 の 博 物 館 、 美 術 館 の 学 芸 員	や 運 営 ス タ フ	作 業 に 携 わ る 人 た ち	被 災 収 蔵 品 の 応 急 処 置 や 修 復	る 文 化 財 や そ の 継 承 に 関 心 が あ	み た い と 考 え る 人 た ち	ミ ュ ー ジ ア ム や 文 化 芸 術 を 通	そ の 他
全体		1635	N	361	637	504	243	369	733	688	55								
			%	22.1	39.0	30.8	14.9	22.6	44.8	42.1	3.4								
3 Q	川崎区	191	N	34	70	59	37	37	79	69	9								
			%	17.8	36.6	30.9	19.4	19.4	41.4	36.1	4.7								
	幸区	151	N	30	58	35	30	33	71	70	5								
			%	19.9	38.4	23.2	19.9	21.9	47.0	46.4	3.3								
	中原区	329	N	75	127	103	41	81	144	143	10								
			%	22.8	38.6	31.3	12.5	24.6	43.8	43.5	3.0								
	高津区	231	N	48	101	65	28	52	103	98	6								
			%	20.8	43.7	28.1	12.1	22.5	44.6	42.4	2.6								
	宮前区	213	N	49	85	79	26	50	95	85	4								
			%	23.0	39.9	37.1	12.2	23.5	44.6	39.9	1.9								
	多摩区	294	N	79	101	96	44	63	136	114	15								
			%	26.9	34.4	32.7	15.0	21.4	46.3	38.8	5.1								
	麻生区	198	N	41	81	56	34	45	88	92	6								
			%	20.7	40.9	28.3	17.2	22.7	44.4	46.5	3.0								
	川崎市外	28	N	5	14	11	3	8	17	17	0								
			%	17.9	50.0	39.3	10.7	28.6	60.7	60.7	0.0								

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上



問16 取組むべき地域・社会貢献（居住区別）



問16 取組むべき地域・社会貢献（居住区別）

		該当数	回答	地域の魅力の発信	地域のにぎわいづくり	地域の自然や環境保全活動	歴史や文化を活用したまちづくり	アートを活用したまちづくり	社会問題や地域課題の解決	地域経済への貢献	その他
全体		1635	N	642	427	592	704	522	373	376	56
			%	39.3	26.1	36.2	43.1	31.9	22.8	23.0	3.4
3 Q	川崎区	191	N	63	51	58	77	57	31	46	9
			%	33.0	26.7	30.4	40.3	29.8	16.2	24.1	4.7
	幸区	151	N	57	36	57	56	41	46	44	5
			%	37.7	23.8	37.7	37.1	27.2	30.5	29.1	3.3
	中原区	329	N	125	86	98	153	118	84	67	9
			%	38.0	26.1	29.8	46.5	35.9	25.5	20.4	2.7
	高津区	231	N	88	67	91	103	76	54	44	6
			%	38.1	29.0	39.4	44.6	32.9	23.4	19.0	2.6
	宮前区	213	N	89	63	81	85	66	47	50	4
			%	41.8	29.6	38.0	39.9	31.0	22.1	23.5	1.9
	多摩区	294	N	122	65	118	129	92	59	75	13
			%	41.5	22.1	40.1	43.9	31.3	20.1	25.5	4.4
	麻生区	198	N	87	51	78	85	64	39	45	9
			%	43.9	25.8	39.4	42.9	32.3	19.7	22.7	4.5
	川崎市外	28	N	11	8	11	16	8	13	5	1
			%	39.3	28.6	39.3	57.1	28.6	46.4	17.9	3.6

選択肢別の全体%値(平均値)との差

- 15ポイント以上
- 10ポイント以上15ポイント未満
- 5ポイント以上10ポイント未満
- ▲5ポイント以上▲10ポイント未満
- ▲10ポイント以上▲15ポイント未満
- ▲15ポイント以上

4. 設問項目一覽

アンケート設問項目一覧

川崎市の「新たなミュージアム」に関するアンケート

川崎市では、現在、博物館、美術館の複合文化施設として活動してきた市民ミュージアムが令和元年東日本台風により被災し、長期に渡る休館を余儀なくされている状況を受け、「新たなミュージアム」の整備に向けた取組を推進しています。

その取組の中で、「みんなでつくるミュージアム」をテーマに、様々な機会で市民の皆さまからのご意見を伺っています。

そこで、本市の「新たなミュージアム」に必要なと思うことや、期待することなどについて、ぜひあなたのご意見をお聞かせください。

- 「新たなミュージアム」は、市民ミュージアムの特徴を受け継ぎ、博物館、美術館が融合した「川崎らしい」ミュージアムを目指しています。
- 開設候補地は、川崎市多摩区の「生田緑地ばら苑隣接区域」としています。

1.あなたご自身についてお伺いします。当てはまるものをお選びください。

【問1】年齢を教えてください。

- 10歳未満
- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代以上

【問2】性別をお知らせください。

- 男性
- 女性
- その他
- 回答しない

【問3】お住まいの区をお知らせください。

- 川崎区
- 幸区
- 中原区
- 高津区
- 宮前区
- 多摩区
- 麻生区
- 川崎市外

【問4】あなたには子供がいますか？（いくつでも）

- 0歳～6歳（未就学児）がいる
- 小学生がいる
- 中学生がいる
- 高校生がいる
- 大学生、短大生、専門学校生がいる
- 上記にあてはまる子どもはいない
- 子どもはいない
- 回答しない

2. 普段の生活における博物館や美術館との関係についてお伺いします。当てはまるものをお選びください。

【問5】普段から博物館、美術館や、歴史や文化、アートといった文化芸術に興味・関心がありますか？

- ある
- どちらかと言えばある
- どちらかと言えばない
- ない
- どちらとも言えない

【問6】普段、博物館や美術館をどのくらいの頻度で利用していますか？

- 毎月1回以上
- 数か月に1回
- 1年～数年に1回
- 行っていない

アンケート設問項目一覧

【問7】博物館、美術館や文化芸術全般に関係する活動について、普段から行っていることはありますか？

- ある
- ない

【問8】(問7で「ある」と回答された方にお伺いします。)それはどのようなことですか？(いくつでも)

- 関心のあるイベント等の情報はチェックして見るようにしている
- 講座やイベントに参加している
- 自分で研究したり、作品をつくったりしている
- 研究成果や作品を発表・公開している
- ボランティアなどで館の企画や運営に参加している
- その他(自由にご記入ください)

【問9】(問7で「ある」と回答された方にお伺いします。)それはどのような分野ですか？(いくつでも)

- 民俗(民間伝承の風習や風俗、民具など)
- 原始・古代の歴史(土器や石器、古墳出土品など)
- 中世・近世の歴史(江戸時代まで)
- 近・現代の歴史(明治以降)
- 絵画、彫刻、陶芸などの美術
- ポスターや版画などのグラフィック
- 写真
- 漫画
- 映画や映像
- 地域ゆかりの作家や作品
- その他(自由にご記入ください)

【問10】(問7で「ない」と回答された方にお伺いします。)それはどのような理由ですか？(いくつでも)

- 興味・関心がない
- 多忙で時間がない
- 魅力的なコンテンツがない
- 敷居が高く、活動に参加しづらい

その他(自由にご記入ください)

()

3. 川崎市の「新たなミュージアム」の取組についてお伺いします。当てはまるものをお選びください。

【問11】「新たなミュージアム」では次のような機能を備えることを検討しています。あなたはどの機能が重要だと思いますか？(3つまで)

- 収集保存：川崎の歴史や民俗、絵画等に関する資料・作品の収集・保存
- 資料修復：被災収蔵品の修復や、他の博物館、美術館での修復作業支援
- 調査研究：川崎の歴史や民俗、絵画等に関する学術的な調査や研究
- 展示公開：調査・研究の成果や様々な文化芸術を紹介する展示
- 教育普及：誰もが文化芸術に親しみ、自由に楽しめるようにするプログラム
- 交流創出：市民、専門家、アーティスト、学芸員が交流し、ともに活動する場づくり
- 人材育成：これからの川崎の文化芸術を担う人材の育成や活動支援
- 地域貢献：地域や社会の課題を考え、その解決に向けて地域や市民と連携する取組
- その他(自由にご記入ください)

()

【問12】「新たなミュージアム」には、どのようなプログラムがあるとよいと思いますか？(3つまで)

- 一般向けの教養講座やワークショップ
- 小さな子ども連れで参加できるプログラム
- 平日夜間の仕事帰りに参加できるプログラム
- 展示物に触れたり、体感的な鑑賞ができる体験型のプログラム
- 学芸員や他の参加者と対話しながら見学できるプログラム
- 周りを気にせず、自分のペースで鑑賞できるプログラム
- 被災収蔵品の修復や資料のデジタル化などの活動に参加できるプログラム
- 技術指導を受けながら展示関連の作品や自分の作品が制作できるプログラム
- アーティストの作品制作に参加したり、協力できるプログラム
- その他(自由にご記入ください)

()

アンケート設問項目一覧

【問13】「新たなミュージアム」には、どのような交流の機会があるとよいと思いますか？
(3つまで)

- コレクション（収蔵品）を活用した鑑賞の場で、学芸員やアーティストなどと対話ができる機会
- 展示物に触れるなど、様々な体験・体感の機会を他の鑑賞者と共有できる機会
- コレクションカード（収蔵品を写真にしたもの）やデジタル化されたコレクションを活用し、学芸員やアーティストから制作技法などを学ぶことができる機会
- 小さな子供連れで参加でき、絵を描いたり、音を出したりすることなどができ、自由な楽しみ方を通じて子育て世代同士で交流ができる機会
- ミュージアムに設置してある工具や3Dプリンター等を用いて、誰かと一緒に絵画や木工などの作品を作ることができる機会
- 地域の郷土史や生活習慣等を地域の人や研究会の方々から子供をはじめとした様々な世代に伝え、ともに学ぶことができる機会
- 声を出したり騒いだりしづらい館内を、夜間にパーティーなどのイベントなどで活用し、普段ミュージアムに足を運ぶことが少ない人々と交流ができる機会
- その他（自由にご記入ください）
()

【問14】「新たなミュージアム」では、どのような年齢層を対象とした活動に力を入れて取り組むべきだと思いますか？（3つまで）

- 未就学児（0歳～6歳）
- 小学生
- 中・高校生（10歳代の若者）
- 若者（20歳代）
- 大人（30歳以上）
- 高齢者（65歳以上）
- その他（自由にご記入ください）
()

【問15】「新たなミュージアム」は、どのような人たちを対象にして育成や活動支援に取り組むべきだと思いますか。（3つまで）

- ミュージアム活動に参加するボランティアやアートコミュニケーター（※）
- 若手アーティストや、アーティストを目指す人たち
- 研究者や学芸員、ミュージアム運営スタッフの志望者（専門課程の大学生など）
- 他の博物館、美術館の学芸員や運営スタッフ

- 被災収蔵品の応急処置や修復作業に携わる人たち
- 文化財やその継承に関心がある人たち
- ミュージアムや文化芸術を通じて、地域や社会に貢献してみたいと考える人たち
- その他（自由にご記入ください）
()

※アートコミュニケーター

…アートを介した他者との対話によるコミュニケーションを大切にし、新たな価値を見出し、人とアートのつなぎ手として自発的に活動する人々。アートコミュニケーターは、本市が取り組む「アートを介したコミュニティ形成事業」の主体となります。（令和5年12月から参加者募集予定）

【問16】「新たなミュージアム」は、どのような地域・社会貢献に取組むべきだと思いますか？（3つまで）

- 地域の魅力の発信
- 地域のにぎわいづくり
- 地域の自然や環境保全活動
- 歴史や文化を活用したまちづくり
- アートを活用したまちづくり
- 社会問題や地域課題の解決
- 地域経済への貢献
- その他（自由にご記入ください）
()

【問17】「生田緑地ばら苑隣接区域」を開設候補地としている「新たなミュージアム」について、あなたが特に期待することは何ですか？（3つまで）

- 周囲の開発やみどりと連携
- エリア全体の価値やブランディングの向上（川崎の象徴となる施設整備など）
- 子どもも過ごせる施設
- 鑑賞時に限らず、居心地の良い空間の充実
- カフェやレストラン等の併設
- 駅からのアクセス性の向上
- 他都市の博物館・美術館との連携
- 学校教育との連携
- 展示内容やイベントのSNS等を活用した積極的な情報発信
- ミュージアムの収蔵品の積極的な展示や鑑賞機会の提供
- ミュージアムの収蔵品の調査・研究の充実



アンケート設問項目一覧

- デジタルアーカイブやオンライン上での展示などデジタル技術の活用
- 「かわさき」の歴史を学ぶ、現在や未来を体感できる展示や鑑賞
- ミュージアム以外の身近な場所で収蔵品を展示するなど様々な活用
- 生田緑地内の他の施設（日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアム、ばら苑）との連携や回遊性の向上
- 触ったり、体験・対話しながら鑑賞できる仕掛けづくり
- 絵を描く、土器を焼く、収蔵品を修復するなど、ミュージアムに係る創作・体験機会の充実
- ミュージアムに集まる様々な人との交流
- ミュージアムに係るボランティア活動

— ご協力ありがとうございました —

新たなミュージアムに関するWEBアンケート-報告書-

令和6年1月

発行 川崎市市民文化局市民文化振興室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-2294 Fax：044-200-3248

編集 株式会社トータルメディア開発研究所